記。	1日	担当者	所属	 属長	行革担当	本部	会議	行革委員会		
(確認日)		平成23年6月29日	平成23年7月1日			平成23年8月1日		個別意見 有		
取組内容 組織機構の再編(部制の廃止、課・ 係の統廃合等) 体制コード 1-1-			I-1-1-1							
所	·管	総務課人事係			担当者·内線番号	太田秀哉·318				
	H21	検討		H21	-		H21	-		
取	H22		目	H22	-	成 果 数	H22	-		
組 時	H23	実施	標 数	H23	-		H23			
期	H24		値	H24	-	値	H24			
	後期			(単	位:人、%、円など)		(単 [,]	位:人、%、円など)		
平月	成21年度	取り組み内容(D)								
	23年4月の組織再編を見据え、支所での係統合を進めるとともに、政策推進課に自治振興室を設置した。 平成22年度中の実施目標(P)									
部制の	の廃止等	〒、組織再編に伴う準備	を進める	პ .						
平月	成22年度	と取り組み内容(D)								
23年4	23年4月の組織再編に向けた各種例規の整備及び人員配置を実施した。									
取!	組みに	ついての成果(C)								
「部制	」の廃止	ことともに「係」単位から	「室」単何	泣へのオ	に幅な移行が図られた。					
ΣI	ポクク年 度	を評価(所管)(C)		非常	こ良い		C 悪い	1		
Τ1.	<u> Ж</u> 22 + IS		✓ E	8 良い	(計画どおり)		D 非常	は悪い		
人事	異動内示	(を早めるなどにより大	きな混舌	しがなく、	計画どおりの組織再編	偏がなさ	れた。			
取点	〕組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)					
新たな組織における人員数が適正なものであったかの検証が必要である。 また、更に職員数を減していく中での小規模な組織改編が必要となると思われる。										
平原	成23年度	関中の実施目標(P)								
組織再編後の各課業務の検証及び本庁・支所間の業務量の検証。										
亚	₩22年度	要評価(行革担当)(C)			こ良い		C 悪い			
1 /-	~~~~ TS		✓ E	8 良い	(計画どおり)		D 非常	はに悪い		
所管語	果評価に	に同じ。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い							
十成22年及計劃(本部去議)(()	✓ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い							
行革担当評価に同じ。									
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高〈評価する意見等)							
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)								
	□ その他(上記に該当しない個別	□ その他(上記に該当しない個別意見)							
具体的意見·要望(A)									

記	1日	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会		
(確認日)		平成23年7月1日	平成23年7月1日		平成23年7月13日	平成23年8月1日		個別意見 有		
取組内容 係等の統廃合(職員減員分の対応) 体制コード 1-1-1				1-1-1-2						
所	管	下水道課 管理	下水道課 管理業務室				中村	豊昭·214		
	H21	実施		H21	-		H21	-		
取	H22		目標数:	H22	-	成	H22	3係		
組 時	H23		信 数	H23	-	果 数 値	H23	1室、1係		
期	H24		値	H24	-	値	H24			
								位:人、%、円など)		
平月	成21年度	取り組み内容(D)								
-	-									
平月	成22年度	医中の実施目標(P)								
-										
平月	成22年度	取り組み内容(D)								
H23 <i>0</i> .)市組織	改革に合わせ、課内の	係等の	統廃合詞	計画の検討を行った。					
取!	組みに	ついての成果(C)								
		系となった。下水道課と 人員としては総体的に》			かったが、支所の組織。	再編計画	画も合わ	せて考えると、下水道		
	#00/∓ ₱			非常	こ良い		C 悪い	١		
*	以22年及	[評価(所管)(C)	\ <u>\</u>	3 良い	(計画どおり)		D 非常	に悪い		
計画と	どおりとな	ふった。								
取点	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)					
特に流	昆乱も無	〈、想定どおりに平成2	3年度を	迎えるこ	ことができた。					
平月	成23年度	医中の実施目標(P)								
平成2	平成23年度としては、係等の統廃合計画は無い。									
ΨF	成22年度	[評価(行革担当)(C)			こ良い		C 悪い			
1 /-	~ ×	-HIIM (13 7 J — J / (C /	✓ E	3 良い	(計画どおり)		D 非常	はに悪い		
所管語	果評価に	:同じ。								

┃ 平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い								
十成22年及計圖(本部去議)(()	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い								
行革担当評価に同じ。										
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事業 □ 要改善(事業が遅れている、改業 □ その他(上記に該当しない個別:	善が見られないことを指摘する意見等)								
具体的意見·要望(A)										
・係の統廃合について、画一的な割り										

±⊐ :	\	担当者	6F E	属長	行革担当	未	公議	仁堂禾昌人		
記)(確認						本部会議平成23年8月1日		行革委員会 毎		
(414 14	(確認日) 平成23年6月29日 平成23年7月1			平成23年7月22日	十八人とうこ	+0/1/1	個別意見 有			
取組内容 定員適正化計画に基づ〈定員管理の 体制コード 1-2-1-2 実施			-2-1-2							
所	所管 総務課人事係				担当者·内線番号		太田秀哉·318			
	H21	-		H21	945人		H21	945人		
取	H22	-	目	H22	911人	成	H22	899人		
組 時	H23	-	標 数	H23	885人	果 数	H23	863人		
期	H24	-	値	H24	857人	値	H24			
							職員数			
- 平成22年度中の実施目標(P) - 平成22年度取り組み内容(D) 計画どおり、採用者数を退職者数の3割以内とした。 取り組みについての成果(C)										
		見職(勧奨·普通退職)者 	≦がいた □ <i>A</i>			成果が	見られた C 悪い			
平方	以22年度	を評価(所管)(C)	□ B 良い(計画どおり)				D 非常	に悪い		
め、計画 いえなし	画以上Œ , \。	達成するという観点に 職員数の減少化が進 ついての感想(成功理	んでいる	ら。そのた	とめ、安定的な定員管 理					
他の行	他の行革実施項目との整合性が図れていない面があるため、職種により不具合が生じていると感じる。									
平月	成23年度	要中の実施目標(P)								
計画(平成23年度中の実施目標(P) 計画(目標)数値と実数との乖離による影響の検証と今後の数値のあり方についての検証。									
_	+ o o /	;÷≖/≖ //= +++□ \/ \		4 非常1	こ良い	V	C 悪い			
平月	成22年度	を評価(行革担当)(C)			(計画どおり)	Ī		に悪い		
計画は	こ対する	検証・評価の部分が不			,	た。	- 0-11			

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	✓ C 悪い				
十成22千度計圖(本部云議)(C)	□ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い				
汽 车 扣坐部体厂用。						
行革担当評価に同じ。						
	□ 良好(先進的な取り組みや、事業	業内容を高〈評価する意見等)				
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善)	要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)				
	□ その他(上記に該当しない個別)	- 意見)				
具体的意見·要望(A)						

- ・定員削減が主眼であるが、削減計画以上の職員減少は職員への負担が大きくなるので、想定外退職者数も含め て採用人数を計画すべき。
- ・職員数の適正とは、どのようなことから適正と判断されているのか、また定年以外の退職者が出たということは成 果と捉えてよいのか、職員の適正や潜在能力を見いだし課題に積極的に取り組めるように、使命感や達成感が得 られる職場環境をつくることを目指さなければならない。
- ・「職種による不具合が生じている」とあるが、由々しきことなのでレポートがあるべきである。
- ・定員適正化計画に基づいた職員数の減少化が進んでいるが行政サービスの低下を最小限にとどめる対応策も合 せて行う必要がある。また、広い面積を有する村上市の防災、防犯等を考慮し、消防署等の職員については十分 考慮する必要がある。
- ・採用者数を退職者数の3割以内としたとあるが、職種により、不具合が生じているとの反省点があった。職務を効 率よく実施するには、職種ごとの定数管理をしたほうが良いと思われる。
- ・定員管理目標に到達という観点からすれば、数字上は達成なのだろうが本来の適正化という観点からすれば、長 期休職等の職員が多数存在するということは、もっと違う側面からの評価基準が必要ではないか。

記	\ 日	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会	
	忍日)	平成23年6月29日	平成23年	₹7月1日	平成23年7月22日	平成23年8月1日		個別意見 有	
取組内容 定員管理状況の公表 体制コード				1-2-1-3					
所	管	総務課人	事係		担当者·内線番号		太田	日秀哉·318	
	H21 公表			H21	-		H21	-	
取	H22		目	H22	-	成	H22	-	
組 時	H23		標 数	H23	-	某 数	H23	-	
期	H24		値	H24	-	果数値	H24		
後期 (単位:人、%、円など)							(単1	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	(取り組み内容(D)							
	計画を市のホームページにおいて公表した。 平成22年度中の実施目標(P)								
引き線	売き計画	の進捗状況等について	公表し	ていく。					
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
引き約	引き続き計画の進捗状況等について公表していく。								
取り	組みに	ついての成果(C)							
特にな	îl								
平原	成22年度	を評価(所管)(C)		4 非常I 3 良い(こ良い 計画どおり)		C 悪い D 非常	に悪い	
特にな	ì l								
取り	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)				
特にな	ì l								
平月	成23年度	医中の実施目標(P)							
これま	これまでどおり計画の進捗状況等について公表していく								
亚		要評価(行革担当)(C)		非常			C 悪い		
77	w	¢ Π Ι Ι Ι Ι Ι Ι Ι Ι Ι Ι Ι Ι Ι Ι Ι Ι Ι Ι	V	8 良い((計画どおり)		D 非常	に悪い	
所管詞	果評価に	に同じ。							

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い							
十13,22千支計画(本品安議)(C)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い							
行革担当評価に同じ。									
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高〈評価する意見等)							
行革委員会個別意見(C)	□ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見								
	☑ その他(上記に該当しない個別	意見)							
具体的意見·要望(A)									

47		+0.17.45	SC F	7 E	(二十二)(- ±	人 達	たサチロ人	
記入日 (確認日)		担当者	所属長 平成23年7月1日		行革担当	本部会議平成23年8月1日		行革委員会	
(1411)	ω н)	平成23年7月1日	十八人23年	+1711	平成23年7月19日	十八人23年	+0月1日	個別意見 有	
取組	内容	職員数・職員給与の検	証		体制コード	1-2-1-4			
所	·管	財政課行政約	圣営係		担当者·内線番号		高橋洋	一(内線327)	
	H21		_	H21	•	,	H21	-	
取 組	H22	実施	目描	H22	-	成	H22	-	
時	H23		標 数	H23	-	果 数	H23		
期	H24		値	H24	-	値	H24		
							位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)									
- 平成22年度中の実施目標(P)									
組織さ	組織改革ワーキング部会において検討する。								
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
これまでも定年退職者に加え、定年前の早期退職者が増えていることから、定員適正化計画以上に職員数が減ってきているが、平成23年度新規採用者数は、年度末退職予定者数の3割として組織改革ワーキング部会で協議を行った。 なお、職員給与の検証は行っていない。									
4X ·	が正ひたに	ついての成果(C)							
	文職 @7,	【(H22~23 対定員適〕 328千円* 9人=65,9 72,767千円			") 技能職 @6,815千円*	1人=	= 6,815 ⊺	-円	
	#00/T #			+ 非常	こ良い	V	C 悪い		
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	以22年度	[評価(所管)(C)		3 良い((計画どおり)		D 非常	に悪い	
職員数	数につい	ては協議を行ったが、「	職員給与	写につい	ての協議は行わなかっ	った。			
取!	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)				
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A) 職員定員適正化計画で示した目標値以上に職員が減ってきているが、行政サービスの低下につながらないよう 管理が必要。									
平月	成23年度	医中の実施目標(P)							
		哉3割補充を基本として 検討も必要。	行ってい	いことに	なるが、見込みを上回	る退職者	者数とな 	っていることから、新	
亚F	 ポ22年度	[評価(行革担当)(C)		↓ 非常Ⅰ		\	C 悪い		
, ,,	~~~ \			3 良い(計画どおり)		D 非常	に悪い	
rr 441	· □ += /= :=								

所管課評価に同じ。 職員給与の検証については、平成23年度中の実施目標にも書かれていないが、期限を決めて結論を出すよう努めること。

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	☑ C 悪い				
十成22千度計圖(本部去議)(し)	□ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い				
 行革担当評価に同じ。						
1] 单担当計測に同じ。 						
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高〈評価する意見等)				
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善)	善が見られないことを指摘する意見等)				
	□ その他(上記に該当しない個別意見)					
具体的意見·要望(A)						

- ·行政改革には財政改革も含まれるので、最近の民間給与の状況及び物価指数の変動などを踏まえ棒給表の検討も早期に着手する必要がある。
- ・職員給与は社会経済情勢や、財政状況の変化に適用したのもになるよう早急に検証していかなければならない。 また、村上市の行政運営に応じた定員管理に努めなければならない。
- ・「職員給与についての協議は行わなかった。」とあるが、なぜ行わなかったのか。 行えなかった原因がどこにあるのかの掘り下げが足りない。
- ・財政改革は急務な問題なので、定数ばかりに目が行くのでなく、給与体系にも独自に検証すべきである。
- ・「職員給与の協議・検証は行わなかった」とあるが、

何故できなかったのか。

- 合併前の各市町村間の給与体系(水準)の違いで困難なのか。
- 除々にでも「村上市」としての給与水準を図って行くべきと思う。
- ・職員給与の検証及びそれに基づく改革を急ぐべき。特に昇格昇給基準の見直しと、その詳細な公表を強く望む。

記。	\日	担当者	所属	 属長	行革担当	本部	会議	行革委員会			
	2日)	平成23年6月29日		₹7月1日		平成23年8月1日		個別意見 有			
取組	取組内容 職場の状況把握及び改善 体制コード 1-3-1-1			I-3-1-1							
所	·管	総務課人	事係		担当者·内線番号		太田	日秀哉·318			
	H21	実施		H21	-		H21	-			
取 組	H22		目標	H22	-	成甲	H22	-			
時	H23		数	H23	-	果 数	H23	-			
期	H24		値	H24	-	値	H24				
後期 (単位:人、%、円など) (単位:人、							位:人、%、円など)				
平月	平成21年度取り組み内容(D)										
	年末の勤務の代休取得を徹底した。 平成22年度中の実施目標(P)										
1 /-	-X-L- 1 /3										
時期的	内に業務	8の集中する職場の改善	善を検討	する。							
平原	成22年度	夏取り組み内容(D)									
時期的に業務の集中する職場の改善を検討し、人事異動の際に反映											
田口口	1組みに	ついての成果(C)									
特に原	成果は出	さていない									
亚F	式22年度	を評価(所管)(C)			こ良い	V	C 悪い				
1 /-	J, Z Z T IS	2н іш (//і 🖽 / (С /		3 良い	(計画どおり)		D 非常	なに悪い			
取組Ⅰ	こ対して	目に見える成果が出て	いない								
取点	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)						
		負数の削減による職員(固人あた	:りの業績	努量がどのようになって	いるか	把握でき	:ない			
平月	成23年度	医中の実施目標(P)									
組織再編後の各職場の状況の把握											
<u>11</u> E	ポクク任 庄	要評価(行革担当)(C)		非常	• •	V	C 悪い	1			
+1.	スムーナス	▗▄▗⋒░⋒		8 良い	(計画どおり)		D 非常	だに悪い			
組織再	再編もあ	るが、各職場の状況把	握から	改善に向	可け検討すること。						

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	✓ C 悪い					
十成22千度計圖(本部云議)(C)	□ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い					
行革担当評価に同じ。							
1] 半担当計画に同じ。							
	□ 良好(先進的な取り組みや、事業	業内容を高〈評価する意見等)					
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善)	要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)					
	□ その他(上記に該当しない個別)	その他(上記に該当しない個別意見)					
具体的意見·要望(A)							

- ・「職員個人当たりの業務量がどのようになっているのか把握できない」とあるが、1-3-1-2の「担当者の業務量の 増加などの影響が出ている」と矛盾している。
- ・漠然とした感覚ではなく、具体的事務ごとの所要時間・月間処理件数などのサンプル調査を実施し測定する必要 がある。
- ・職員個人の業務量と各職場の状況の把握ができていない状況で、市民サービスを考える事は出来ないはずであ る。またこの問題を棚に上げ定員適正化を議論することはできないのではないか、場当たり的な感じである。地域 の住民や民間企業等との連携を図り、住民サービスの向上に努めなければならない。
- ・定数及び待遇を決定するのに、部門別の業務量を的確に把握することは大前提であるが、なされていないことは 大きな瑕疵である。
- ・「成果が出ていない」とは、検討・取り組み内容に問題があったためか、当分の間その成果が出るためには時間が 必要ということか。職員間に「不平感」といったものはないのか。
- ・職場の状況把握ができていないとの反省点があったが、担当課長が業務量を把握できると思うし、職務を効率よく 実施する人員配置の最前線だと思う。
- ·病欠職員の減少に向けた具体的な対策が必要ではないか。
- ・継続した人事異動の希望や意見を聴取し、環境の変化などを常に把握するような取り組みのシステム化が必要な のではないか。

記力	\ \ 日	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会			
	2日)	平成23年6月29日	平成23年	₹7月1日	平成23年7月22日	平成23年	₹8月1日	個別意見 有			
取組	内容	時差出勤制度等内容の	の周知循	徹底	体制コード		1-3-1-2				
所	·管	総務課人	事係		担当者·内線番号		太田	日秀哉·318			
	H21	実施		H21	-		H21	-			
取	H22		目標	H22	-	成	H22	-			
組 時	H23		標 数	H23	•	果 数 値	H23	-			
期	H24		値	H24	-	値	H24				
	後期			(単1	位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)			
平月	平成21年度取り組み内容(D)										
	機会を捉え周知に努めた。 平成22年度中の実施目標(P)										
	~ 1 /2										
管理耶	職員へσ)周知を徹底し、制度活	用の促	進を図る	5.						
平月	成22年度	取り組み内容(D)									
管理耶	管理職員への周知を徹底し、制度活用を促した										
Ħ∇ι	組みに										
職員に	こ対する	制度の周知・浸透が図									
平月	成22年度	要評価(所管)(C)		非常			C 悪い				
	~ 1 /2	car im (m m) (c)	✓ E	3 良い	(計画どおり)		D 非常	は悪い			
職員に	こ対する	制度の周知・浸透は図	られたと	と思われ	るため						
取!	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)						
本市(いる。	の場合、	職場が多様であり勤務	体制が	特殊なも	らのが多いことから、一	律的な対	対応が困	難な事例が発生して			
		の縮減をしていることか 彡響が出ている。	ら臨時	職員の雇	星用等、正職員人件費(以外の配	面での負	担や担当者の業務量			
平月	成23年度	医中の実施目標(P)									
引き約	引き続き制度の周知徹底に努める										
<u>11</u>	ポクク年 E	要評価(行革担当)(C)		↓ 非常	こ良い		C 悪い				
T 1.	ルムムナル	CBI I叫(IJ 千]ニコ)(C)	▼	8 良い((計画どおり)		D 非常	なに悪い			
	课評価に 人他の部	三同じ。 部分で影響が出ているの	のであれ	ıば、定i	員適正化計画等の検証	Eを行い	、対応に	努めること。			

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い					
十成22千度計圖(本部云議)(C)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い					
行革担当評価に同じ。							
1] 单担当群间に同じ。							
	□ 良好(先進的な取り組みや、事業	業内容を高〈評価する意見等)					
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善)	要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等					
	□ その他(上記に該当しない個別)] その他(上記に該当しない個別意見)					
具体的意見·要望(A)							

- ・「担当者の業務量の増加などの影響が出ている」とあるが、1-3-1-1の「職員個人当たりの業務量がどのように なっているのか把握できない」と矛盾している。
- ・漠然とした感覚ではなく、具体的事務ごとの所要時間・月間処理件数などのサンプル調査を実施し測定する必要 がある。
- ・「本市の場合、職場が多様であり...」という感想が理解しがたい。多様特殊なのであればその部署ごとに対応すれ ばいいのであり、そもそも行政はオンリーワンの存在なのであるから、多様特殊性を理由にするのは問題である。
- ・時差出勤の職員について、出勤・退庁時の広報方法の工夫もあってもいいのでは。
- ・時差出勤などの取り組みにより、臨時職員等の総時間数は増減しているのか。定員を減らしているのに、臨時職 員等の勤務総時間が増加しては、何の意味もなさいと考えられる。

記力	\ \ 日	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会			
	(確認日) 平成23年6月29		平成23年7月1日		平成23年7月22日	平成23年8月1日		個別意見 有			
取組	内容	職員研修(階層別、専	門別)の	受講	体制コード		-4-1-1				
所	·管	総務課人	事係		担当者·内線番号		太田	日秀哉·318			
	H21	実施		H21	-		H21	-			
取	H22		目押	H22	-	成	H22	-			
組 時	H23		標数	H23	•	果 数 值	H23	-			
期	H24		値	H24	-		H24				
	後期			(単1	位:人、%、円など)		(単1	位:人、%、円など)			
平月	平成21年度取り組み内容(D)										
	市町村総合事務組合が主催する階層別·専門別研修を主に、該当職員を受講させた。 平成22年度中の実施目標(P)										
		に沿い、対象者を受講	させる。								
平月	成22年度	取り組み内容(D)									
職員を	を計画ど	おりに受講させた									
Ħ∇ι	組みに	ついての成果(C)									
成果	は職員個	3人のスキルによるもの	が大きり	いことか	ら一概には言えない						
77 5	せつつ任 氏	を評価(所管)(C)		非常	こ良い		C 悪い				
+1.	JX.42+1/5		E S	3 良い((計画どおり)		D 非常	に悪い			
受講 ⁻	予定の研	T修は一通り受講させた	-								
取点	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)						
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A) 合併前の職員採用形態や研修受講形態の違いから、現時点では均等化することが重要と考える											
平月	成23年度	関中の実施目標(P)									
引き続き計画に沿い、対象者を受講させ、均等化を図る											
<u> </u>	ポクク年 庄	要評価(行革担当)(C)		↓ 非常	こ良い		C 悪い				
' 	以44十岁	zaTI叫(1] 半553 コ)(し)	E V	3 良い((計画どおり)		D 非常	に悪い			
	課評価に	こ同じ。 こよる影響を解消するだ	こめには	計画以	上の実施の検討も必要	50					

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い					
十成22千度計劃(本部去議)(()	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い					
 行革担当評価に同じ。							
1] 单担当部侧に同じ。 							
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高〈評価する意見等)					
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善)	要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)					
	□ その他(上記に該当しない個別	その他(上記に該当しない個別意見)					
具体的意見·要望(A)							

- 具体的息兄·安全(A)
- ・義務的研修受講は最低限必要であるが、積極的にスキルアップを希望する職員には『受講料半額補助』などの方法で受講させ、その成果を仕事(職場)にフィードバックしてもらうということも必要でないか。
- ·研修することだけに目線が行っているように感じられる。何のために研修をするのか、受けた研修がどのように自治を高めてい〈事につながっているのか検証を重ねる必要がある。
- ・計画通り受講させることが目的でないので、スキルアップや意識改革のための創意工夫と研修効果や力量の検証 方法の検討システムが必要とされる。4-1-1-4にも「職員のスキルアップが必要」とあるように、各部署で必要とされ る研修の要望に即した研修計画の立案も必要と思われる。
- ・フィードバックと成果のチェックが働いていない。
- ・「研修受講」が目的ではない。あくまでも職員の資質向上が目的である。受講はその手段。受講成果向上のための内部体制の構築が肝要と思う。
- ・専門研修は不足していないか。目指す新市の職員像に近づいているか。他の自治体と研修内容や受講人員を比較するよりも、総合計画で目指す市の青写真を実現できる職員の育成のための、オリジナルな職員育成プログラムの創設を望む。

記	\ FI	担当者	所属	星長	行革担当	本部	会議	行革委員会		
(確認日)		平成23年6月29日	平成23年		平成23年7月22日	平成23年8月1日		個別意見 有		
			-4-1-2							
所	 管	総務課人事	基係		担当者·内線番号		 太田秀哉·318			
771	H21	実施	- W	H21	- -		H21	-		
取	H22	<i>∠</i> ,,,,,	目	H22	_	成	H22	-		
組	H23		標	H23	-	果 数	H23	-		
時 期	H24		数 値	H24	-	 젵	H24			
以 刀	後期				位:人、%、円など)			位:人、%、円など)		
平月		<u></u> 取り組み内容(D)		(1 1	217((75(75 0.2)		(1	1217 (()) () () ()		
	これまでも機会を捉え職員に周知しているが、特に特別な取り組みはしていない。 平成22年度中の実施目標(P)									
		1の有効性を検証し、具	.体的事·	例等を即	月示し周知を図る。					
平月	成22年度	と取り組み内容(D)								
特に征	特に行っていない									
取点	組みに	ついての成果(C)								
特にな	ぶ し									
平月	成22年度	を評価(所管)(C)		・非常D 3 良い(こ良い 計画どおり		C 悪い D 非常) なに悪い		
	み未実施									
取!	組みに	ついての感想(成功理	田 皮省	点なと)	(A)					
「地域活動」については、市職員として積極的に参加すべきと考えるが、その一方では職務時間外のこともあり、 強制的ととらえられないように慎重を期す部分もある。核家族化が進む現状では、プライベートが忙しいということも 理解はできるので、難しいと感じる。										
平月	成23年度	要中の実施目標(P)								
機会を捉えて参加を促すよう、周知を図る										
<u> </u>	 ポ22年 庄	要評価(行革担当)(C)		非常的	• •		C 悪い			
十八	w	cp 叫(] 「]ニコ)(C)		良い((計画どおり)	>	D 非常	なに悪い		
取り組]みを行	っていないので、D評価	iとした。							

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い					
十八人22十及計画(本品公議)(C)	□ B 良い(計画どおり)	☑ D 非常に悪い					
行革担当評価に同じ。							
	□ 良好(先進的な取り組みや、事業	業内容を高〈評価する意見等)					
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善] 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)					
	□ その他(上記に該当しない個別)	その他(上記に該当しない個別意見)					
具体的意見·要望(A)							

・村上市に限ったことではないが、市の職員の「地域活動」については以前より消極的であると感じていた。市の職員達はまちづくりのプロである。このプロの考え方そして技術を地域活動に取り入れることが出来るならば、地域の大きな力になることは間違いない。現在民間企業でさえ地域との結びつきや、地域の自然保護活動などに参加しつつある。市の職員が地域活動に参画していないのは、地域の活動というものが、どのようなものなのかを知らないだけではないだろうか。出来るならば職員一人ひとりにテーマを与え、そのテーマに沿った地域活動に参加させるぐらいの指導力が欲しいものである。評価の中に取り組みを行っていないのでD評価としたと記載されているが、参加していない事が悪いことではなく、地域活動というものがどのようなものなのかを、しっかりと教えて来なかった事が一番に悪いことだと思う。この取り組みについては市の組織全体が今一度真剣に議論する必要がある。職員は積極的に地域の活動に参加し、市民との対話を深め、行政と市民、地域の役割を確認し住民協働社会の構築を目指してほしい。市の職員であるという誇りを持ち地域活動を自ら支えていく位の粋を期待するものである。

- ・取り組みについての感想の全文「地域活動については、市職員として積極的に参加すべきと考えるが、その一方では職務時間外のこともあり、強制的ととらえられないように慎重を期す部分もある。核家族化が進む現状では、ブライベートが忙しいということも理解はできるので、難しいと感じる。」ということをここに書くこと自体が市職員として問題である。
- ・24年度から実践される「協働のまちづくり」事業を契機に参加活動が促進されるだろうと思われるので、職員も徐々にその意識が高揚していくだろうと期待する。
- ・職員の意識の問題だと思うが、地域活動への参加は、協働のまちづくりの第一歩だと思う。 積極的な参加を希望する。
- ・地域活動参加について、職員の意識改革とともに、その評価手法も確立する必要があると思う。既に、様々な地域活動を実践している職員が、自らの時間を割いて献身的に従事している実態があるのだから。

記力	1日	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会	
	②日)	平成23年6月29日	平成23年7月1日		平成23年7月22日	平成23年8月1日		個別意見 有	
取組	取組内容 本庁と支所、支所間の人事異動の積 体制コード 1-4-1-3			I-4-1-3					
所	·管	総務課・人	事係		担当者·内線番号		 日秀哉⋅318		
	H21			H21	-		H21	-	
取	H22	実施	目	H22	-	成	H22	-	
組 時	H23		標 数	H23	-	+ 果 - 数 値	H23	-	
期	H24		値	H24	-		H24		
	後期		·	(単1	位:人、%、円など)	·	(単1	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	取り組み内容(D)		-					
- 平.	- 平成22年度中の実施目標(P)								
		の人事異動で検討す? で検討す?	3,						
平月		 【取り組み内容(D)							
	+成22年度取り組み内各(D) 各支所から本庁への異動については、これまでどおり実施した								
田口口	組みに	ついての成果(C)							
特にな	ふ し								
平月	成22年度	を評価(所管)(C)		A 非常I B 良い(<u>こ良い</u> (計画どおり)		C 悪い D 非常) なに悪い	
本庁で	で培った	スキルを支所で活かす	ような人	、事交流	となっていないため				
取点	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)				
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A) 合併前の各市町村における年齢別職員数の違いや昇任時期の違いなどにより単純な人事異動の実施は困難と 考える。									
平月	成23年度	要中の実施目標(P)							
導入	導入手法の検討								
平月	成22年度	を評価(行革担当)(C)		A 非常I B 良い(こ良い (計画どおり)		C 悪い D 非常	に悪い	
		および支所間の異動に 一体感の醸成のために							

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い							
十成22千皮計圖(本品安磁)(C)	□ B 良い(計画どおり)	☑ D 非常に悪い							
行革担当評価に同じ。									
	□ 良好(先進的な取り組みや、事業	□ 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)							
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)								
	□ その他(上記に該当しない個別意見)								
具体的意見·要望(A)									
人事異動については旧市町村の垣根 ・管理職級の積極的な人事交流を行	Sリカを十分検証し職員の意識改革のだを越え積極的に行う必要がある。 を越え積極的に行う必要がある。 草委員会でも要望してきたところであるだ でいないのに、あたかも合併前の各で	が、残念ながらその成果は認めるには							

±7.			SC E	属長	仁女 担业	- ±	会議	たサチョム		
	入日 忍日)	担当者		■校 ∓ 7月1日	行革担当		<u> </u>	行革委員会		
`	<u> </u>	平成23年6月29日 人事考課制度の創設(考課制度の見直し検言	旧村上		平成23年7月22日 体制コード	十八,23二	個別意見 有			
	^		- /							
РЛ	·管 H21	総務課人員 検討	手1余	H21	担当者·内線番号		AB H21	日秀哉·318		
取	H22	作失言的	目	H22	-	成	H22	-		
組	H23		標	H23	_	果	H23	-		
時	H24		数 値	H24		果 数 値	H24	-		
期	後期		1世		<u>-</u> 位·人 % 円など)	100		位・人 % 円など)		
旧村上市の制度をベースに新しい組織体制に合わせ、制度の見直しを行った。 平成22年度中の実施目標(P)										
係長約	吸以上σ)職員に試行し、制度の	検証を	行う。						
平月	成22年度	取り組み内容(D)								
制度の	制度の試行を行い、検証を行った									
取!	組みに	ついての成果(C)								
制度の	制度の試行により職員間の「評価」に対するギャップがかなりあることがわかった									
平月	成22年度	を評価(所管)(C)		非常((悪い			
				3 良い(計画どおり)		D 非常	に悪い		
試行到	翌年度に	- 組織再編があることか	ら、実態	長をとらえ	える検証を行うことがで	きなかっ	たため			
取!	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)					
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A) 組織改編を挟んでの制度構築・試行は無理がある。再編された組織がある程度安定する状態で制度構築・試行を図るべきと感じた。										
平月	成23年度	要中の実施目標(P)								
再編征	再編後の組織に合わせるための検証をする									
平月	成22年度	E評価(行革担当)(C)	☐ <i>A</i>		こ良い 計画どおり)	✓	C 悪い D 非常			
	课評価に 計画的	:同じ。 に取り組みを行うこと。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	C 悪い						
十成22千支計圖(本部去議)(()	□ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い						
行革担当評価に同じ。								
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高〈評価する意見等)						
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)							
	□ その他(上記に該当しない個別意見)							
具体的意見·要望(A)								
・考課制度導入にあたり、その評価に	価方法の公正化・透明化をはかり、職	せた研修の実施により、制度導入前の						

記	 \日	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会		
	忍日)	平成23年6月29日	平成23年7月1日			平成23年8月1日		個別意見有		
取組	内容		事考課制度(係長以上)の試行、運 体制コード 1-4-2-2							
所	· 管	総務課人	事係		担当者·内線番号		 太田秀哉·318			
	H21		, ,,,,	H21	-		H21	-		
取	H22	試行	目	H22	-	成	H22	-		
組 時	H23	運用	標 数	H23	-	果数	H23	-		
期	H24		値	H24	-	値	H24			
,,,,	後期		<u>i</u>	(単1	位:人、%、円など)	'-	(単・	位:人、%、円など)		
平月	成21年度	取り組み内容(D)					9			
- 平£	- 平成22年度中の実施目標(P)									
		した制度に基づき、係	長級以_	上の職員	しに試行する。					
平月	成22年度	と取り組み内容(D)								
係長約	係長級以上の職員による試行を行った									
取!	〕組みに	ついての成果(C)								
対象	当のほに	ぼ全員が受講することか	べきた							
∏Z.F	ポック年度	を評価(所管)(C)		非常	こ良い		C 悪い	1		
Τ.	X22+1S		✓ E	3 良い((計画どおり)		D 非常	常に悪い		
研修会	会の実施	≣にあわせ、試行(実務)を行う	ことがで	きた					
取!	〕組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)					
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A) 地域性もあるのか支所単位毎に評価のバラつきが見られた。確立された制度として運用するためには職員間の バラつきをなくす必要があり、そのためにはかなりの時間を要すると感じた。										
平月	成23年度	医中の実施目標(P)								
職員同	職員間において制度内容の熟知度に大きな乖離があることから、引き続き研修会及び試行を継続する									
<u> </u>	ポクク年 庄	要評価(行革担当)(C)		↓ 非常	こ良い		C 悪い	1		
+ ,	ルムイナ / 5	ᇎᇚᄤᆟᆛᆍᅸᆿᄼᆝᇈ	▽ E	良い((計画どおり)		D 非常	だに悪い		
		階であるので、 所管課 D運用にあたっては制力				⊁を行う;	こと。			

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い					
十,以22,4,支計圖(本部安議)(C)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い					
行革担当評価に同じ。							
1] 半担当計IIIIに同 0。 							
	□ 良好(先進的な取り組みや、事業	美内容を高〈評価する意見等)					
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善	唇が見られないことを指摘する意見等)					
	□ その他(上記に該当しない個別意見)						
具体的意見·要望(A)							
・考課制度導入にあたり、その評価に	しき状態打破のため、至急の構築を求ら対する考え方の基準作りとそれにあわせ価方法の公正化・透明化をはかり、職員る。	せた研修の実施により、制度導入前の					

記入日		担当者	所属長		行革担当	本部会議		行革委員会	
(確認日)		平成23年7月1日	平成23年	₹7月1日	平成23年7月19日	平成23年	₹8月1日	個別意見 有	
取組	内容	わかりやすい公表方法	よの調査	·研究	体制コード		2-1-1-1		
所	管	財政課財務	务係		担当者·内線番号		長谷部	『俊一(323)	
	H21	調査·研究		H21	-		H21	-	
取	H22		目	H22	-	成	H22	-	
組	H23		標数	H23	-	果数	H23		
時 期	H24		数 値	H24	-	数 値	H24		
241	後期			(単	<u> </u>		(単 ^c	位:人、%、円など)	
平月		 関取り組み内容(D)			<u> </u>		(.	<u></u>	
付記可	財政計画に基づき、実質公債費比率を推計。22年度からHP上で公表する「財政健全化判断比率」に将来推計も付記可能とした。 平成22年度中の実施目標(P)								
「財政 計を付記		判断比率」の公表の際	に、単に	判断比	率の数値のみの公表は	こ留まら	ず、実質	公債費比率の将来推	
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
					()により財政健全化判 実績の乖離など、不透			ただし、目標とした実 が大きいことから付記	
しなかっ						-			
	なお、、実施目標には掲げなかったが、新地方公会計制度に基づ〈財務4表のHP上の公表において概要版を作								
成するなどし、わかりやすい公表方法の検討を行った。 取り組みについての成果(C)									
	新地方公会計制度に基づ〈財務4表について概要版を作成することができた。他の指数、財政状況の公表にも活用していきたい。								
平月	成22年度	を評価(所管)(C)	☐ <i>A</i>	4 非常1 3 良い	こ良い (計画どおり)	✓	C 悪い D 非常	さに悪い	
目標と	とした実質	質公債費比率の公表を	⋮見合わ	せたため	か 。				
取!	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)				
	のアウト [:] 成してい		更版につ	いては、	わかりやすい公表に久	アかせな	いものと	_考え、できるだけ付	
平月	成23年度	要中の実施目標(P)							
HP上	+成23年度中の美胞目標(F) HP上で公表している各情報について概要版又は説明情報の付記を行い、わかりやすい公表を心掛けたい。								
平月	成22年度	[評価(行革担当)(C)		A 非常I B 良い	こ良い (計画どおり)		C 悪い D 非常) ぎに悪い	
	果評価に 現状の				いかりやすい公表の仕 ⁻	」			

平成22年度評価(本部会議)(C)		A 非常に良い	V	С	悪い				
十成22千度計画(本品去議)(こ)		B 良い(計画どおり)		D	非常に悪い				
行革担当評価に同じ。									
	১	良好(先進的な取り組みや、事	業内容	を高	〈評価する意見等)				
行革委員会個別意見(C)	১	☑ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)							
		□ その他(上記に該当しない個別意見)							
具体的意見·要望(A)									
・以前から見ると市報などに掲載される財政関係は、かなり解り易くなってきている。これについては評価していきたい。内部評価ではまだまだの様子なので解りやすい公表を期待します。 ・「財政計画と年次別実績の乖離など、不透明な要素の割合が大きい」だけでは分からないので、説明が欲しい。・公表数値の整合性の確保(表示も含め)に配慮する必要があると思われる。その時々の公表手法があってしかるべきであるが、公表数値を見た市民や関係者が、誤解を招くことの無いようなものでなければ、結果として公表の意義が弱まることとなってしまうのではないか。									

	月	担当者		属長	行革担当	本部		行革委員会	
(確請	忍日)	平成23年7月1日	平成23年7月1日		平成23年7月19日	平成23年8月1日		個別意見有	
取組	内容	補助事業の内容、金額表(2-3-1-2と重複)	<u>東</u> 、効果	等の公	体制コード	2-1-1-2			
所	管	財政課行政約	圣営係		担当者·内線番号		高橋洋	一(内線327)	
	H21	実施		H21	-		H21	-	
取	H22		目	H22	-	成	H22	-	
組 時 期	H23		標数	H23	-	果 数	H23		
	H24		数 値	H24	-	超值	H24		
77)	後期			(単			(単	位:人、%、円など)	
平月									
補助金の今後の方針一覧をホームページで公表したほか、平成22年度補助金交付予定一覧の公表に向けて、 準備を進めた。									
平月	成22年度	要中の実施目標(P)							
平成2	平成22年度補助金の交付予定を8月1日号の市報で公表し、市民に情報提供します。								
平月	成22年度	夏取り組み内容(D)							
8月1日号の市報に挟み込み、補助金交付予定一覧を全戸配布により公表。併せて、ホームページにおいても一 覧を公表した。									
取り組みについての成果(C)									
	初めての実施であったが、公表後に市民からの問い合わせが3件あり、補助制度の内容及び適用の有無など、市 民の行政に対する関心を広げられた。								
平月	成22年度	を評価(所管)(C)		A 非常I B 良い	こ良い (計画どおり)		C 悪い D 非常	に悪い	
計画	どおり公	表を行えた。							
取!	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)				
	取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A) 初めての取り組みであり、多くの市民から意見、問い合わせが来ることを想定したが少なかった。また、議会で一般質問が試みられるなど、一定の成果が得られた。								
平月	成23年度	要中の実施目標(P)							
	引き続き、当初予算の交付予定について一覧により公表を行っていくとともに、新たに前年度の交付実績を取りまとめ、一覧として公表(ホームページ)を行っていく。								
平月	成22年度	要評価(行革担当)(C)		A 非常I B 良い	こ良い (計画どおり)		C 悪い D 非常	はに悪い	
	果評価に 、取り級	:同じ。]みに対する反応が少れ	<u> </u>		,	の仕方の			

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い							
十1,022千皮計圖(本即去俄)(C)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い							
(
行革担当評価に同じ。									
	☑ 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高〈評価する意見等)								
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等								
	□ その他(上記に該当しない個別意見)								
具体的意見·要望(A)									
・市民からの問い合わせ及び回答内容	容を公表してはいかがでしょうか。								
・補助金交付を公表した事の意義は大きく、今後の行政は変わっていくのではと期待するものです。一方市民から									
の反応が少なかった事が、公表の仕方に問題があるのではなく、行政に対して市民の関心が少ないような気がして									

- ならない。市民が生活の中に市政を取り入れていない大きな問題があるような感じがする。もう少し分析し研究する 必要性があるのではないか。
- ・判りやすい公表方法が必要と感じた。
- ・補助金の効果を検証し、公表をしていく必要があるのではないか。

≐□	λ 🗆	担当者	所属	星長	行革担当	木의	会議	行革委員会	
記入日 (確認日)		平成23年7月1日	平成23年7月1日			平成23年8月1日		個別意見 有	
`	内容	公表項目の拡大	1 13220	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	体制コード	1 1225	2-1-1-3		
所	·管	財政課財務	 务係		担当者·内線番号		長谷部	『俊一(323)	
	H21	調査		H21	-		H21	-	
取	H22	検討·実施	目	H22	-	成	H22	-	
組 時 期	H23		標 数	H23	-	果 数	H23		
	H24		値	H24	-	値	H24		
	後期			(単1	位:人、%、円など)		(単1	位:人、%、円など)	
平原	成21年度	取り組み内容(D)							
·新地方公会計制度に基づ〈「財務4表」を新たに公表。 【今後公表を検討する事項】 「財政事情(半期毎の執行状況)」「補正予算」									
平月	成22年度	要中の実施目標(P)							
	十成22年度中の美旭日標(「) 【H22以降に新たに公表する項目】 「決算情報」「決算カード」「財政健全化判断比率」								
平原	成22年度	取り組み内容(D)							
財政健全化判断比率について市報、HPともに公表した。 また、決算情報については市報で公表した。									
取り	組みに	ついての成果(C)							
		は、昨年度との比較を 全化判断比率について				要性を記	認識でき	た。	
平月	成22年度	医評価(所管)(C)		、非常I 3 良い(こ良い ⁻ 計画どおり)		C 悪い D 非常	\ *に悪い	
特にな	むし				,	_			
取点	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)				
担当者であってもわかりに〈い内容が多〈、公表項目の拡大以上にわかりやすい公表の重要性を認識した。									
平原	成23年度	医中の実施目標(P)							
照会の多い当初予算書、補正予算書についてもHP上で公表する。									
平月	 成22年度	医評価(行革担当)(C)		・非常I 3 良い(こ良い :計画どおり)		C 悪い D 非常	<u>)</u> なに悪い	
	果評価に 平成23:	:同じ。 年度中の実施目標につ	いては		,	速やか			

平成22年度評価(本部会議)(C)		Α	非常に良い		С	悪い				
十3,224支計圖(本品安俄)(C)	V	В	良い(計画どおり)		D	非常に悪い				
行革担当評価に同じ。										
		良	好(先進的な取り組みや、事	業内容	を高	〈評価する意見等)				
行革委員会個別意見(C)	$\overline{\mathbf{A}}$	☑ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)								
		そ	の他(上記に該当しない個別	意見)						
具体的意見·要望(A)										
・公表についての体制づくりの努力は										
の誘導意識が弱い。市民が行政その= LYの要性を感じる	ものを	もっ	と身近に感じられるにはとの)よっな!	事を	すれはよいのか今後考えて				
い〈必要性を感じる。 ・公表する媒体としてウェブサイトを用いるのはいいが、そういったものを閲覧できない、いわゆる「情報弱者」との 均衡を考慮しなければ、市役所自らがデジタルデバイドに拍車をかけることとなる。 地域の特性を理解の上、公表										
手法に考慮が必要。										

≐⊐ :	۸ 🗖	担当者	6F E	星星	行革担当	太	会議	行革委員会	
	入日 忍日)	平成23年7月1日	所属長 平成23年7月1日			本部会議平成23年8月1日		10 1 22 22 2	
,	内容	印刷物を閲覧できる体	体制の整備		体制コード			2-1-1-4	
所	·管	財政課行政約	圣営係		担当者·内線番号		高橋洋	羊一(内線327)	
	H21	実施	_	H21	-		H21	-	
取 組	H22		目標	H22	-	成 果	H22	-	
時	H23		数	H23	-	太 数	H23		
期	H24		値	H24	-	値	H24		
	後期	<u> </u> [取り組み内容(D)		(単	位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)	
手始めとして行革大綱、実施計画書について市報で周知して、本庁では政策推進課、各支所では地域振興課で 閲覧できる体制をとりました。 平成22年度中の実施目標(P)									
		· ,							
体制を	を継続し	、各課にも周知を図りま	きす 。						
平月	成22年度	と取り組み内容(D)							
なお、	本庁・支所での閲覧体制は継続した。 なお、各担当で所管する計画などについては、ホームページでの公表を行っている。								
ДХ 1.)組みに	ついての成果(C)							
		双得手段の増加に努め 請報公開条例第17条で		供との位	置付けをしている。)				
平月	成22年度	を評価(所管)(C)		4 非常1 3 良い	こ良い (計画どおり)		C 悪ル D 非常	に悪い	
閲覧物	勿として1	は増えていないが、ホ-	-ムペー	ジ上での	か公表(閲覧)に努めて	いる。			
取!	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)				
	閲覧を常時可能とすることは当然であり、むしろ、各種計画などはすべてホームページで公開し、広〈公表することが必要である。								
平月	成23年度	医中の実施目標(P)							
)閲覧は常時行うととも 画を図書館に集め、常					వ .		
平月	成22年度	医評価(行革担当)(C)		4 非常1	こ良い(計画どおり)		C 悪l) 常に悪い	
	課評価に 人、ホーム	に同じ。 ムページでの計画の公			,	ハので、			

平成22年度評価(本部会議)(C)		Α	非常に良い		С	悪い				
十3,224支計圖(本品安俄)(C)	V	В	良い(計画どおり)		D	非常に悪い				
行革担当評価に同じ。										
		良	好(先進的な取り組みや、事	業内容	を高	〈評価する意見等)				
行革委員会個別意見(C)	$\overline{\mathbf{A}}$	☑ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)								
		そ	の他(上記に該当しない個別	意見)						
具体的意見·要望(A)										
・公表についての体制づくりの努力は										
の誘導意識が弱い。市民が行政その= LYの要性を感じる	ものを	もっ	と身近に感じられるにはとの)よっな!	事を	すれはよいのか今後考えて				
い〈必要性を感じる。 ・公表する媒体としてウェブサイトを用いるのはいいが、そういったものを閲覧できない、いわゆる「情報弱者」との 均衡を考慮しなければ、市役所自らがデジタルデバイドに拍車をかけることとなる。 地域の特性を理解の上、公表										
手法に考慮が必要。										

記入	λ 🗆	担当者	所層	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会	
	7日 忍日)	平成23年6月30日	平成23年7月1日		平成23年7月20日	平成23年8月1日		個別意見 有	
取組	内容	口座振替制度の啓発			体制コード			2-2-1-1	
所	 ·管		対策室		担当者·内線番号		長 研-	- 内線211	
	H21	実施		H21	-		H21	-	
取	H22		目	H22	-	成	H22	-	
組 時	H23		標 数	H23	-	果 数	H23		
期	H24		値	H24	-	値	H24		
	後期			(単	位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	取り組み内容(D)							
市報5月号で口座振替の利用を呼びかける記事を掲載し、その周知を図った。また、長期にわたり振替不能の口座について整理を行った。 平成22年度中の実施目標(P)									
今後li する。	は、 市報	に加え、啓発のための	チラシや	ポスタ-	ーを作成し、金融機関ヤ	か公共施	設に配っ	布し、掲示等をお願い	
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
市報5月号に掲載の他、チラシ等の配布を行い口座振替の周知を図った。									
取り	組みに	ついての成果(C)							
振替ス	不納口座	室の整理、年金特徴の均				替の成功			
平历	成22年度	を評価(所管)(C)		非常			C 悪い		
1 /-	-X 1 /2	CH () ()	V E	3 良い	(計画どおり)		D 非常	なに悪い	
振替署	率の上昇	により振替不納通知 <i>の</i>	発送に	かかる約	圣費、事務の軽減にな	った。			
取以	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)				
口座抗	口座振替率が6割強のため、今後窓口納付の方の切り替えを推進に努める。								
平月	成23年度	医中の実施目標(P)							
市報、 いする。	市報、ホームページによる周知の他、チラシやポスターを作成し、金融機関や公共施設に配布し、掲示等をお願								
	#ao⁄⊤ ⊭	F 並(本 /)ニ マ +ロ ソ / ()		非常1	こ良い		C 悪い	1	
平月	以22牛店	を評価(行革担当)(C)	V	良い	計画どおり)		D 非常	は悪い	
所管詞	果評価に	同じ。							

┃ 平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い							
十成22千支計(本部安議)(()	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い							
行革担当評価に同じ。									
行革委員会個別意見(C)	日本の世界の表面の表面である。								
具体的意見·要望(A)									
各種税・使用料等の納期・引き落とし 振替までの各金融機関との密な連絡		対応があってもいいのではないか。再							

記	日	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会
(確請	忍日)	平成23年6月30日	平成23年	₹7月1日	平成23年7月15日	平成23年8月1日		個別意見 有
取組	内容	口座振替の再振替			体制コード		2	2-2-1-2
所管税務課収納対			付策室		担当者·内線番号		長研	一 内線211
	H21	実施		H21	-		H21	-
取	H22		目	H22	-	成	H22	-
組 時	H23		標 数	H23	-	果 数	H23	
期	H24		値	H24	-	値	H24	
	後期			(単1	位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)
平月	成21年度	取り組み内容(D)						
	平成21年5月から実施している。							
平月	双22年度	医中の実施目標(P)						
継続し	て実施	していく。						
平月	成22年度	取り組み内容(D)						
継続して実施している。								
取!	組みに	ついての成果(C)						
すでに	二通常業	務として定着している。						
77 5	世の年 庄			非常	こ良い		C 悪い	١
+1	以22十岁		E V	8 良い((計画どおり)		D 非常	官に悪い
計画)	通りに実	施された。						
取!	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)			
督促、	通常口	振との間のあわただし	い時間の	の中で職	背員のがんばりで定着し	たと思う	Ď.	
平月	成23年度	臣中の実施目標(P)						
通常業務として誤りをなくし、納税者との行き違いをなくす。								
平成22年度評価(行革担当)(C) □ A 非常に良い □ C 悪い								١
⊤1.	~~ <u>~</u>	:н і іщ (і J — ј= ⊐ <i>)</i> (С <i>)</i>	V	8 良い	(計画どおり)		D 非常	官に悪い
所管語	果評価に	:同じ。						

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い						
十成22千支計(本部安議)(()	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い						
行革担当評価に同じ。								
	□ 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高〈評価する意見等)							
行革委員会個別意見(C)	□ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等							
	☑ その他(上記に該当しない個別意見)							
具体的意見·要望(A)								
具体的意見・要望(A) ・再振替までの各金融機関との密な連絡調整を今後も継続していって欲しい。 ・「督促、通常口振との間のあわただしい時間の中」の作業になるので、オンライン等による消し込みデータのやり 取りなども今後検証していく必要があるのではないか。								

					-					
	HE / CA		所属	属長	行革担当	本部会議		行革委員会		
(確記	忍日)	平成23年6月30日	平成23年	₹7月1日	平成23年7月15日	平成23年	₹8月1日	個別意見 有		
取組	取組内容 市県民税の特別徴収の促進 体制コード 2-2			2-2-1-3						
所	管	税務課市民	税係		担当者·内線番号		今井雅	[仁(内線221)		
	H21	実施		H21	-		H21	-		
取	H22		目	H22	-	成	H22	-		
組	H23		標	H23	-	果	H23			
時 期	H24		数 値	H24	-	数 値	H24			
- 共力	後期				L 位:人、%、円など)			位:人、%、円など)		
平月		 取り組み内容(D)		(- -	<u> </u>		(E17((70(130C)		
平成21年度は、26事業所に訪問して特別徴収の依頼を行った。給与支払報告書の提出依頼を送付するときに依頼文を同封して呼びかけた。(4,800通) 平成22年度中の実施目標(P) 依頼文を作成し、協力可能と思われる事業所への郵送や個別訪問により配布し呼びかけていく。 平成22年度取り組み内容(D)										
頼文を	平成22年度も、45事業所に訪問して特別徴収の依頼を行った。給与支払報告書の提出依頼を送付するときに依頼文を同封して呼びかけた。(4,800通)									
Т Х '.	取り組みについての成果(C)									
訪問し	訪問した45事業所のうち、8事業所が平成23年度から特別徴収へ変更									
77 F	ポック年 庄	[評価(所管)(C)		↓ 非常し	こ良い		C 悪い	1		
十7.	X22+15		N	3 良い((計画どおり)		D 非常	なに悪い		
あったの	かは、良	いと考える。			果が得に〈い状況の中	、特徴に	変更した	と事業所が5社以上		
取!	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)					
特別徴収に変更することでのメリットをもう少しPRすべきと考える。 現在、新潟県内にて個人住民税の特別徴収移行促進に向けた取組検討会を立ち上げ、効果的な取り組みを検討中。										
平月	成23年度	性中の実施目標(P)								
今後も	一十成25年度中の美旭日標(F) 今後も同様の取り組みを継続									
平.	— —— 成22年度	評価(行革担当)(C)	☐ A	・非常I 3 良い(こ良い(計画どおり)		C 悪い D 非常	はに悪い		

所管課評価に同じ。 なお、取り組みについての感想で「特別徴収に変更することでのメリットをもう少しPRすべきと考える」とあるので、 平成23年度は工夫をしてPRするよう努めること。

┃ 平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
十成22千支計圖(本部去議)(C)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事: □ 要改善(事業が遅れている、改: □ その他(上記に該当しない個別	善が見られないことを指摘する意見等)
具体的意見·要望(A)		
取り組みについての感想に「特別徴収収のメリットとは何か。	!に変更することでのメリットをもう少しP	Rすべきと考える。」とあるが、特別徴

47.			SC E	7 E	仁女 担业	↓ ☆7	△举	たサチョム	
記》	ヘ日 忍日)	担当者		属長	行革担当		会議	行革委員会	
n me /	心口 /	平成23年6月30日	平成23年	₹7月1日	平成23年7月15日	平成23年	₹8月1日	個別意見 有	
取組	内容	コンビニ収納等の検討	·実施		体制コード		2	2-2-1-4	
所	管	税務課収納效	付策室		担当者·内線番号		長研	一 内線211	
	H21	調査·検討		H21	-		H21	-	
取	H22		目	H22	-	成甲	H22	-	
組 時	H23	実施	標 数	H23	•	果 数	H23		
期	H24		値	H24	-	値	H24		
	後期			(単1	位:人、%、円など)		(単1	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	取り組み内容(D)		-					
	平成21年度中に、他市の状況、および所要経費について調査を行った。 平成22年度中の実施目標(P)								
十八	以22415	を中の夫加日信(1)							
平成2	23年度実	運施に向けて、具体的な	準備を	進める。					
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
庁内の会議を行い、他市の状況、所要経費、費用対効果について検証し、当市においての24年度からの実施と いう検討結果を得た。									
取!	組みに	ついての成果(C)							
結果は	は、予算	費用対効果と住民サー 化が出来なかったこと。 ので、考え方のベース	から不十	-分なの		うってい?	なかった	納税者の側の効果の	
₩.	せっっケチ			4 非常(こ良い	V	C 悪い		
+ /-	以22年度	を評価(所管)(C)	□ B 良い(計画どおり)			□ D 非常に悪い			
24年月	度からの	実施も見込めないこと	から。						
取り	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)				
費用效	対効果と	住民サービスの向上に	ついて	考えさせ	られた。				
平月	成23年度	要中の実施目標(P)							
	平成23年度中の実施目標(P) 県、他市がコンビニ収納化されている中で、住民からの要望も多くなってきており、住民サービスの向上のためにも少しでも早く実施できるようお願いしていきたい。								
₩ =	世の年 年	F並佈(行某切坐)(C)		非常	こ良い	\	C 悪い		
''	以22年6	を評価(行革担当)(C)		3 良い([計画どおり)		D 非常	に悪い	
取り組	且みは行	われているので、所管	課の評値	面のとお	り、C評価とした。	-			

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	☑ C 悪い								
十成22年及計圖(本部去議)(()	□ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い								
行革担当評価に同じ。										
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高〈評価する意見等)								
行革委員会個別意見(C)	□ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等									
	☑ その他(上記に該当しない個別	意見)								
具体的意見·要望(A)										
「費用対効果を検証」だけでは分からな	ないので、その検証結果を示していただ	ごきたい 。								

≐ ⊐ 1	\	担当者	6F.E	属長	行革担当	太	会議	行革委員会	
記力(確認	7日 忍日)	平成23年6月30日		₹7月1日			五哦 E 8月1日	個別意見 有	
,	双組内容 新潟県地方税徴収機構の活用 体制コード 2-2-1-5								
所	 ·管		付策室		担当者·内線番号		高橋記	式志 内線213	
771	H21	実施	371	H21	- -		H21	-	
取	H22	7 7.02	目	H22	-	成	H22	-	
組 時	H23		標 数	H23	-	果 数	H23		
期	H24		値	H24	-	値	H24		
7.43	後期		į	(単1	位:人、%、円など)	i.	(単·	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	取り組み内容(D)							
	平成21年度は、困難案件38件について、引継ぎを行い、17.7%の収納率となった。 平成22年度中の実施目標(P)								
引き約	売き連携	・活用を図ることにより、	困難事	案の解	決につなげていく。				
平历	成22年度								
市だけ	市だけでは困難な事案について、新潟県と市町村が共同で滞納整理を行う。								
取り	組みに	ついての成果(C)							
	2年度に 率となっ	は、困難案件43件(継続 た。	21件、新	ī規22件)について、引継ぎを行	īll. 17.ī	7% (継糸	売14.9%、新規24.7%)	
77.5	北つつ午日	京本(転答)(C)		非常	こ良い		C 悪い	١	
+	以2245	を評価(所管)(C)	Image: section of the content of the	3 良い((計画どおり)		D 非常	きに悪い	
高額流 理を実施		処理が困難な事案につ	ついて新	潟県地	方税徴収機構で組織す	∱る「特別	刂機動整	理班」で対応し滞納整	
取り	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)				
新潟県と管内の派遣職員が共同して行うことは、それぞれの職員のスキルアップに繋がり、今後の業務にも非常 に役立つ。									
平月	成23年度	医中の実施目標(P)							
引き級	引き続き連携・活用を図り、困難事案の解決につなげていく。								
平月	成22年度	を評価(行革担当)(C)			こ良い (計画どおり)		C 悪い D 非常	に悪い	
所管詞	果評価に	一同じ。							

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
十成22年及計劃(本部去議)(()	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	図 良好(先進的な取り組みや、事業 □ 要改善(事業が遅れている、改善 □ その他(上記に該当しない個別)	善が見られないことを指摘する意見等)
具体的意見·要望(A)		
今後も機構の活用を推進すべきと思う	; ;	

記	1日	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会	
(確認日)		平成23年6月30日	平成23年	₹7月1日	平成23年7月15日	平成23年8月1		日 個別意見 有	
取組	取組内容 収納推進員の活用 体制コード 2-2-1-6				2-2-1-6				
所	管	税務課収納対	付策室		担当者·内線番号		長 研-	- 内線211	
	H21	実施		H21	-		H21	-	
取	H22		目	H22	-	成	H22	-	
組 時	H23		標 数	H23	-	果 数	H23		
期	H24		値	H24	-	値	H24		
	後期			(単1	位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	取り組み内容(D)							
	平成21年5月から1名を増員したことにより、収納率向上につながっている。								
平片	成22年度	[中の実施目標(P)							
		活用した、より効果的	効率的	な徴収値	本制を検討していく。				
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
現年原	現年度催告の回数を増やし、収納推進員による臨戸訪問を増やした。								
取!	組みに	ついての成果(C)							
各税理	見年度分	かにおいて、0.1パーセ	ント程度	の収納	率の向上が見られた。				
77 5	世の2年氏			非常に	こ良い		C 悪い	1	
十/.	1X.424 IS		✓ E	3 良い((計画どおり)		D 非常	は悪い	
現年原	度滞納者	áが減少すれば、滞納 約	操越者 <i>σ</i>)滞納額	にも好影響を与える。				
取点	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)				
特にス	大きなトラ	ラブルも無く順調だった	と思う。						
平月	成23年度	医中の実施目標(P)							
昨年原	平成23年度中の美旭日標(P) 昨年度よりさらに、現年度催告の回数を増やし収納率の向上を目指したい。								
<u> </u>	ポ22年 産			4 非常に	こ良い		C 悪い	1	
+1.	ν-∠- Σ	zn	\ \ 	8 良い((計画どおり)		D 非常	はに悪い	
所管語	果評価に	- :同じ。							

┃ 平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
十成22千支計圖(本部去議)(()	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事業 □ 要改善(事業が遅れている、改業 □ その他(上記に該当しない個別	善が見られないことを指摘する意見等)
具体的意見·要望(A)		
·計画的な納税相談機会の場はどの。 ·実態に即した行政の判断が大切なの		

章□	λ 🗆	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会		
記入日 (確認日)		平成23年6月30日	平成23年7月1日		平成23年7月15日	平成23年8月1日		個別意見 有		
取組	取組内容 市税現年度分収納率の数値目標 体制コード 2-2-1-				2-2-1-7					
所	 ·管		対策室		担当者·内線番号		 長 研一 内線211			
	H21	-		H21	98.0%		H21	97.90%		
取	H22	-	目	H22	98.2%	成	H22	97.97%		
組 時	H23	-	標 数	H23	98.4%	果数	H23			
期	H24	-	値	H24	98.5%	植	H24			
	後期				収納率			収納率		
平月	成21年度	取り組み内容(D)								
	催告、滞納処分等。									
+7.	以22年度	医中の実施目標(P)								
景気(低迷の中	っではあったが、一定程	度の効	果があっ	った。					
平月	成22年度	取り組み内容(D)								
		を増やさないということ	∵で、現年	F度滞納 -	者への早期対応を進む	めた。				
取'.)組みに	ついての成果(C)								
景気化	低迷の中	『前年度を上回ることが	できた。							
平月	成22年度	[評価(所管)(C)			こ良い 計画どおり)		C 悪い D 非常	に悪い		
目標個	直には少	りし届かなかったが、健	闘してい	ると思う	Ò.					
取!	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)					
早期対	取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A) 早期対応の効果が確認できたのでよかった。									
平月	成23年度	医中の実施目標(P)								
現年》	現年滞納者への催告回数を増やし、より早期対応を目指す。									
亚日	ポクク年 庄	[評価(行革担当)(C)		↓ 非常		V	C 悪い	1		
1-7-	~~~~ TS	EHI IM (11 — 1= =1) (C)		3 良い((計画どおり)		D 非常	なに悪い		
- 前年 -	ᅘᄓᅡᄼ	川加納家を確保する問じ	タカカ	行ってい	ハスニとけ 毎似している:	が日畑	数値に	宝かかかったため C		

前年度以上の収納率を確保する取り組みを行っていることは理解しているが、目標数値に届かなかったため、C 評価とした。

なお、他市町村との比較等、客観的な評価をしやすいような工夫もすること。

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	C 悪い						
十成22千及計圖(本即玄賊)(飞)	□ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い						
行革担当評価に同じ。								
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高〈評価する意見等)						
行革委員会個別意見(C)	□ 要改善(事業が遅れている、改	善が見られないことを指摘する意見等)						
	☑ その他(上記に該当しない個別	意見)						
具体的意見·要望(A)								
具体的意見・要望(A) ・市税の収納率向上の取り組みについて、それぞれに目標収納率と収納率を表示すると理解しやすい。 ・実態に即した行政の判断が大切なのでは。 ・不納欠損の取り扱いの資料が無いので不明であるが、その適用には慎重に検討し取り組んでほしい。								

記入日 (確認日)		担当者	所属長		行革担当	本部	会議	行革委員会		
		平成23年6月30日	平成23年7月1日		平成23年7月15日	平成23年8月1日		個別意見 有		
取組内容 市税滞納繰越分収納率の数値目標 体制コード 2-2-1-8			2-2-1-8							
所	管	税務課収納対	税務課収納対策室				長 研-	- 内線211		
	H21	-			担当者·内線番号 20.0%		H21	15.53%		
取	H22	-	目	H22	20.0%	成	H22	16.36%		
組 時	H23	-	標 数	H23	20.0%	果 数	H23			
期	H24	-	値	H24	20.0%	値	H24			
7//3	後期		-		収納率	-		収納率		
平月	成21年度	取り組み内容(D)								
催告、滞納処分等。										
平月	成22年度	医中の実施目標(P)								
景気値	低迷の中	^{中ではあったが、一定程}	度の効	果があっ	た。					
平月	成22年度	取り組み内容(D)								
平成22年度においては、滞納処分として代表的な差押件数は172件を数えた。										
取り	組みに	ついての成果(C)								
470万	円ほどの	D換価額があった。								
T	±00∕⊤ ⊭			非常1	こ良い		C 悪い			
\\ \	以22年房	[評価(所管)(C)	☑ B 良い(計画どおり)			□ D 非常に悪い				
		記えると厳しい折衝が多 納となっている分につい						がってこない。		
取り	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)					
財産詞	取り組みについての感想(成功理由·反省点など)(A) 財産調査の件数を拡大し滞納処分に続けたい。									
平月	成23年度	医中の実施目標(P)								
財産詞	財産調査の範囲と回数を22年度の20パーセント増。									
亚	 廿22年度	[評価(行革担当)(C)		非常!		\	C 悪い			
1 //	~- <u>-</u>			3 良い(計画どおり)		D 非常	に悪い		
積極的	りな取り	組みを行っていることに	は理解し	ているか	、目標数値に届かなた	いったた	め、C評f	価とした。		

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	C 悪い						
一次22千皮叶间(本即安俄)(C)	□ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い						
行革担当評価に同じ。 								
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高〈評価する意見等)						
行革委員会個別意見(C)	□ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等							
	☑ その他(上記に該当しない個別意見)							
具体的意見·要望(A)								
- Ⅰ・納税不能の処理について、進まない	理由はなにか。							
	1て、それぞれに目標収納率と収納率	を表示すると理解しやすい。						
・実態に即した行政の判断が大切なのでは。								
・不納欠損の取り扱いの資料が無いので不明であるが、その適用には慎重に検討し取り組んでほしい。								

記	\ B	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会	
(確認日)		平成23年6月30日	平成23年7月1日		平成23年7月15日	平成23年	₹8月1日	個別意見 有	
取組	取組内容 国保税現年度分収納率の数			室の数値目標 体制コード			2-2-1-9		
所	 ·管	税務課収納対策室			担当者·内線番号	 長 研一 内線211			
	H21	-		H21	91.5%		H21	92.29%	
取	H22	-	目	H22	91.8%	成	H22	92.29%	
組 時	H23	-	標 数	H23	92.2%	果 数	H23		
期	H24	-	値	H24	92.5%	値	H24		
743	後期		<u>'</u>	,	収納率		,	収納率	
平月	成21年度	取り組み内容(D)							
	催告、滞納処分等。								
平片	以22年度	医中の実施目標(P)							
		っではあったが、一定程	度の効	果があっ	った。				
平月	成22年度	[取り組み内容(D)							
新たな	新たな滞納者を増やさないということで、現年度滞納者への早期対応を進めた。								
取!	組みに	ついての成果(C)							
景気(低迷の中	҈ӣ年度と同様の収納፯	率を確保	けること	こができた。				
77 5	世の2年氏	[評価(所管)(C)		非常同	こ良い		C 悪い	١	
+	以22十点		E S	8 良い(計画どおり)		D 非常	官に悪い	
目標値	直をクリア	アしているが、まだまだ	余地がる	あると思	う 。				
取!	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)				
早期対	付応の対	見れないできたのでよ	こかった。						
平月	成23年度	を中の実施目標(P)							
現年河	平成23年度中の美施自標(P) 現年滞納者への催告回数を増やし、より早期対応を目指す。								
<u> </u>	ポクク年 庄	[評価(行革担当)(C)		・ 非常に	こ良い		C 悪い	١	
T 1.	w	(ローロー) (ローロー) (ローローローローローローローローローローローローローローローローローローロー	▼ E	8 良い(計画どおり)		D 非常	だに悪い	
所管語	果評価に	 :同じ。							

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い							
十3,224支計圖(本部安議)(C)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い							
行革担当評価に同じ。									
	□ 良好(先進的な取り組みや、事業	美内容を高〈評価する意見等)							
行革委員会個別意見(C)	□ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等								
	☑ その他(上記に該当しない個別類	意見)							
具体的意見·要望(A)									
⋅実態に即した行政の判断が大切なの	ハて、それぞれに目標収納率と収納率を Oでは。 Dで不明であるが、その適用には慎重に								

記入	λ 🗆	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会		
(確認日)		平成23年6月30日		F7月1日	平成23年7月15日	平成23年8月1日		個別意見 有		
取組	収組内容 国保税滞納繰越分収納率の数値目標 体制コード 2-2-1-10									
所	 管					- 内線211				
	H21	-		H21	20.0%		H21	19.32%		
取	H22	-	目	H22	20.0%	成	H22	18.48%		
組 時	H23	-	標 数	H23	20.0%	果 数 値	H23			
期	H24	-	値	H24	20.0%		H24			
	後期		.—		収納率	.—		収納率		
平月	成21年度	取り組み内容(D)								
	催告、滞納処分等。 平成22年度中の実施目標(P)									
景気化	低迷の中	Pではあったが、一定程	!度の効:	果があっ	った。					
平月	成22年度	取り組み内容(D)								
平成2	平成22年度においては、滞納処分として代表的な差押件数は172件を数えた。									
取!	組みに	ついての成果(C)								
470万	円ほどの	の換価額があった。								
77.0	せつつ年 庄	を評価(所管)(C)		非常的	こ良い		C 悪い			
+	以22十点		☑ B 良い(計画どおり)				D 非常	に悪い		
		!えると厳しい折衝が <i>多</i> 納となっている分につい						がってこない。		
取!	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)					
財産詞	取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A) 財産調査の幅をもう少し広げたかった。									
平月	成23年度	関中の実施目標(P)								
財産詞	中成23年度中の美旭日標(P) 財産調査の範囲と回数を22年度の20パーセント増を目標。									
平月	成22年度	要評価(行革担当)(C)		非常的		N	C 悪い			
1 /-	<i>برا</i> ۱ ––۰۰			8 良い(計画どおり)		D 非常	に悪い		
積極的	りな取り	組みを行っていることに	は理解し	ているか	、目標数値に届かなが	いったた	め、C評f	面とした。		

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	C 悪い							
十10022年12年1四(平印云俄)(C)	□ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い							
行革担当評価に同じ。									
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高〈評価する意見等)							
行革委員会個別意見(C)	□ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等								
	☑ その他(上記に該当しない個別意見)								
具体的意見·要望(A)									
┃ ┃・納税不能の処理について、進まない	理由はなにか。								
	1て、それぞれに目標収納率と収納率	を表示すると理解しやすい。							
実態に即した行政の判断が大切なの		14411 = 1415 1 - 1-1 1 1							
・不納欠損の取り扱いの資料が無いの)で不明であるが、その適用には慎重!	こ検討し取り組んでほしい。							

記	\ B	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会	
	2日)	平成23年7月1日	平成23年7月1日		平成23年7月19日	平成23年8月1日		個別意見 有	
取組内容		使用料等見直し庁内 置	検討組 締	地の設	体制コード		2-2-2-1		
所	 ·管	財政課行政網	圣営係		担当者·内線番号		高橋洋	一(内線327)	
	H21			H21	-		H21	-	
取	H22	実施	目	H22	-	成	H22	-	
組 時	H23		標 数	H23	-	果 数	H23		
期	H24		値	H24	-	値	H24		
	後期		ļ.	(単1	位:人、%、円など)	ļ.	(単	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	取り組み内容(D)							
	-								
平月	成22年度	医中の実施目標(P)							
		定し、ワーキング部会を	:設置し ⁻	ていく。					
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
負担金関係について「財政ワーキング部会」を行ったが、使用料、手数料についてまでの協議には至らなかった。									
取!	組みに	ついての成果(C)							
なし									
77.5	北つつ午日	京本(転答)(C)		非常	こ良い		C 悪い	١	
'' /:	以22平层	[評価(所管)(C)		3 良い((計画どおり)	V	D 非常	に悪い	
取り組	引みを行	わなかったため。							
取!	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	'点など)	(A)				
負担金	取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A) 負担金についての取り組みを進める中で、使用料、手数料の見直しまで検討に至らなかった。								
平月	成23年度	使中の実施目標(P)							
見直し	平成23年度中の実施目標(P) 見直しに向けた事前資料作成から取り組みを進める。								
<u> </u>	世 で 22 年 E	[評価(行革担当)(C)		非常	こ良 _い		C 悪い	1	
⊤1.	~~ <u>~</u> ~			8 良い	(計画どおり)	>	D 非常	はに悪い	
	果評価に 取り組る	:同じ。 ゝについては、 スケジュ	ールを	定めて計	一画的に取り組むこと。				

┃ 平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い							
十成22千支計圖(本部去議)(()	□ B 良い(計画どおり)	☑ D 非常に悪い							
行革担当評価に同じ。									
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	- 業内容を高〈評価する意見等)							
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改	☑ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)							
	□ その他(上記に該当しない個別	意見)							
具体的意見·要望(A)									
ればするほど、当時の事情や考え方を	:知る各市町村の職員は少なくなり、職	ないのはどういう理由からか。 先送りす 員全体の数も少な〈なることから、 その ることのないよう、 早急な取り組みを望							

記	\ 	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会	
	2日)	平成23年7月1日	平成23年7月1日		平成23年7月19日	平成23年	₹8月1日	個別意見有	
取組	内容	使用料·手数料の洗出 定	けとコス	トの算	体制コード		2-2-2-2		
所	 ·管	財政課行政網			担当者·内線番号		高橋洋	≦─(内線327)	
	H21			H21	-		H21	-	
取	H22	実施	目	H22	-	成	H22	-	
組 時	H23		標 数	H23	-	果 数	H23		
期	H24		値	H24	-	値	H24		
,	後期			(単1	位:人、%、円など)	ļ.	(単	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	取り組み内容(D)							
-	10.								
平月	成22年度	医中の実施目標(P)							
		会を設置し、検討を行っ	ていく。						
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
負担部	負担金関係について「財政ワーキング部会」を行ったが、使用料、手数料についてまでの協議には至らなかった。								
取り	組みに	ついての成果(C)							
なし									
₩.	北つつ午日	京本(転答)(C)		非常	こ良い		C 悪い	I	
+ 1	以2245	[評価(所管)(C)		3 良い((計画どおり)	>	D 非常	きに悪い	
取り組]みを行	わなかったため。							
取!	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)				
負担金	金につい	ての取り組みを進める	中で、使	更用料、 -	手数料の見直しまで検	討に至ら	らなかった	た。	
平月	成23年度	臣中の実施目標(P)							
見直し	平成23年度中の実施目標(P) 見直しに向けた事前資料作成から取り組みを進める。								
<u> </u>	世 で 22 年 E	[評価(行革担当)(C)		非常	こ良 _い		C 悪い	1	
Τ.	~~ <u>~</u> ~			8 良い	(計画どおり)	>	D 非常	官に悪い	
	果評価に 取り組る	:同じ。 ヶについては、 スケジュ	ールをス	定めて計	一画的に取り組むこと。				

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	□ B 良い(計画どおり)	☑ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
	□ 良好(先進的な取り組みや、事業	業内容を高〈評価する意見等)
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善)	善が見られないことを指摘する意見等)
	□ その他(上記に該当しない個別:	意見)
具体的意見·要望(A)		
	E知る各市町村の職員は少なくなり、職	はいのはどういう理由からか。 先送りす 員全体の数も少なくなることから、 その ることのないよう、 早急な取り組みを望

記	\ 	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会	
	2日)	平成23年7月1日	平成23年7月1日		平成23年7月19日	平成23年8月1日		個別意見有	
取組	内容	使用料·手数料算出基	準の策	定	体制コード		2-2-2-3		
所	 ·管	財政課行政網	圣営係		担当者·内線番号		高橋洋	≦─(内線327)	
	H21			H21	-		H21	-	
取	H22	実施	目	H22	-	成	H22	-	
組 時	H23		標 数	H23	-	果 数	H23		
期	H24		値	H24	-	値	H24		
	後期		ļ.	(単1	位:人、%、円など)	ļ.	(単	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	取り組み内容(D)							
	10								
平月	成22年度	医中の実施目標(P)							
		会を設置し、検討を行っ	っていく。						
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
負担領	負担金関係について「財政ワーキング部会」を行ったが、使用料、手数料についてまでの協議には至らなかった。								
取!	組みに	ついての成果(C)							
なし									
77.5	せっっケ 庄	京本(転答)(C)		非常	こ良い		C 悪い	I	
+ 1	以22牛房	[評価(所管)(C)		3 良い((計画どおり)	>	D 非常	きに悪い	
取り組]みを行	わなかったため。							
取!	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)				
負担金	金につい	ての取り組みを進める	中で、仮	使用料、 [□]	手数料の見直しまで検	討に至ら	らなかった	た。	
平月	成23年度	臣中の実施目標(P)							
見直し	平成23年度中の実施目標(P) 見直しに向けた事前資料作成から取り組みを進める。								
<u> </u>	<u>ーー</u> ポ22年 庄	[評価(行革担当)(C)		非常	こ良 _い		C 悪い	1	
⊤1.	~~ <u>~</u> ~~			8 良い	(計画どおり)	>	D 非常	官に悪い	
	果評価に 取り組る	:同じ。 ヶについては、 スケジュ	ールを別	定めて計	一画的に取り組むこと。				

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	□ B 良い(計画どおり)	☑ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
	□ 良好(先進的な取り組みや、事業	業内容を高〈評価する意見等)
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善)	善が見られないことを指摘する意見等)
	□ その他(上記に該当しない個別:	意見)
具体的意見·要望(A)		
	E知る各市町村の職員は少なくなり、職	はいのはどういう理由からか。 先送りす 員全体の数も少なくなることから、 その ることのないよう、 早急な取り組みを望

記	\ B	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会	
	2日)	平成23年7月1日	平成23年7月1日		平成23年7月19日	平成23年8月1日		個別意見 有	
取組	内容	減免取扱いの適正化の	の検討		体制コード		2-2-2-5		
所	 ·管	財政課行政約	圣営係		担当者·内線番号		高橋洋	一(内線327)	
	H21			H21	-		H21	-	
取	H22	検討	目	H22	-	成	H22	-	
組 時	H23		標 数	H23	-	果 数	H23		
期	H24		値	H24	-	値	H24		
	後期		ļ.	(単1	位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	取り組み内容(D)							
-	-								
平月	成22年度	医中の実施目標(P)							
ワーキ	トング部	会を設置し、検討を行っ	っていく。						
平月	成22年度	【取り組み内容(D)							
負担金	負担金関係について「財政ワーキング部会」を行ったが、使用料、手数料についてまでの協議には至らなかった。								
取り	組みに	ついての成果(C)							
なし									
17 F	tion 生 氏	F=亚/亚 / 5C 25C \ / C \		非常	こ良い		C 悪い	1	
* /	以22平层	[評価(所管)(C)		3 良い((計画どおり)	>	D 非常	に悪い	
取り組	引みを行	わなかったため。							
取点	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)				
負担金	取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A) 負担金についての取り組みを進める中で、使用料、手数料の見直しまで検討に至らなかった。								
平月	成23年度	使中の実施目標(P)							
見直し	平成23年度中の実施目標(P) 見直しに向けた事前資料作成から取り組みを進める。								
亚				↓ 非常	こ良い		C 悪い		
T).	~~ <u>~</u> ~~	:н I I I I I I I I I I I I I I I I I I I		8 良い	(計画どおり)	✓	D 非常	はに悪い	
	果評価に 減免に	:同じ。 ついては、特に詳細なヨ	現状把握	屋を行う。	必要がある。				

┃ 平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い							
十成22千支計圖(本部去議)(()	□ B 良い(計画どおり)	☑ D 非常に悪い							
行革担当評価に同じ。									
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	- 業内容を高〈評価する意見等)							
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改	☑ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)							
	□ その他(上記に該当しない個別	意見)							
具体的意見·要望(A)									
ればするほど、当時の事情や考え方を	:知る各市町村の職員は少なくなり、職	ないのはどういう理由からか。 先送りす 員全体の数も少な〈なることから、 その ることのないよう、 早急な取り組みを望							

記	入日	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会		
(確言	忍日)	平成23年7月1日	平成23年	₹7月1日	平成23年7月22日	平成23年8月1日		個別意見 有		
取組	取組内容 ごみ収集カレンダーに有料広告を 載			告を掲	体制コード		2-2-3-1			
所	管	財政課 契約	検査室		担当者·内線番号		百武 並	青之(内線322)		
	H21	実施	-	H21	-		H21	-		
取 組	H22		目標	H22	-	成 果 数 値	H22	-		
時	H23		数	H23	-		H23	-		
期	H24		値	H24	-	値	H24	-		
	後期			(単1	位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)		
平原	成21年度	と取り組み内容(D)								
	例年どおり各地区毎の広告枠について業者を選定し実施した。 平成22年度中の実施目標(P)									
現行の	のごみ切	Z集カレンダーの有料広	告につ	いては訪	式行であり、有料広告 <i>σ</i>)制度化	の中で耳	収り扱いを協議する。		
平月	成22年度	取り組み内容(D)								
例年。	例年どおり各地区の広告枠について業者を選定し実施した。									
田口口	1紀고 (-	ついての成果(C)								
全地[⊠のカレ	ンダーに広告を掲載す	ることか	べきた。						
亚日	式22年度	要評価(所管)(C)		非常	こ良い		C 悪い			
1 1	7X, Z Z — 7S		V	3 良い((計画どおり)		D 非常	きに悪い		
全地[⊠のカレ	ンダーに広告を掲載す	ることか	べきた こ	ことによる。					
取!	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)					
計画的	取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A) 計画的に広告審査委員会の開催や事務手続きが行われた。									
平月	成23年度	関中の実施目標(P)								
要綱配	要綱改正により、平成23年度より所管課において取り扱うこととなった。									
<u> </u>	式22年 E	要評価(行革担当)(C)		↓ 非常Ⅰ	こ良い		C 悪い	1		
+1.	ルムム十万	zprim(1) キ 3ピコ)(C)	▼ E	8 良い((計画どおり)		D 非常	官に悪い		
所管語	課評価に	 E同じ。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い						
十成22年及計圖(本部去議)(()	✓ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い						
行革担当評価に同じ。								
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高〈評価する意見等)						
行革委員会個別意見(C)	要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等							
	☑ その他(上記に該当しない個別意見)							
具体的意見·要望(A)								
とはできないものだろうか。	載されているが、ゴミ袋等にも有料広台 などについて、偏りの無い手法を検討原							

記	\ 	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会	
(確認日)		平成23年7月1日	平成23年	₹7月1日	平成23年7月22日	平成23年8月1日		個別意見 有	
取組内容 広告媒体等の調査研究 体制コード			2	2-2-3-2					
所	 管	財政課 契約	検査室		担当者·内線番号		百武立	青之(内線322)	
	H21	検討		H21	-		H21	-	
取	H22		目	H22	-	成	H22	-	
組	H23		標 数	H23	-	果数	H23	-	
時 期	H24		値	H24	-	値	H24	-	
7.43	後期		<u>i</u>	(単	位:人、%、円など)		(単·	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	取り組み内容(D)							
-	-								
平方	以22年总	医中の実施目標(P)							
関係	各課と協	議を行う。							
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
広告。	広告収入の増収方法検討会により、広告媒体となるものについて検討をした。								
取り	組みに	ついての成果(C)							
有料瓜	広告掲載	成可能媒体の候補の抽	出、方法	もの研究	を行い、理解を深める。	ことがで	きた。		
77 =	世の2年氏	を評価(所管)(C)		非常	こ良い	>	C 悪い	١	
+ 1	以22 11 5			3 良い	(計画どおり)		D 非常	官に悪い	
検討る	会は立ち	5上げたが、具体的な作	業を行 [.]	うことが	できなかった。				
取以	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	i点など)	(A)				
今後日	は具体的]な作業に着手していき	たい。						
平月	成23年度	医中の実施目標(P)							
引き級	引き続き検討会で協議を行う。								
77 -	せつつケ 戸	前海(汽艺和坐)(C)		非常	こ良い		C 悪い	١	
半 力	以22年度	を評価(行革担当)(C)	▼	良い((計画どおり)		D 非常	官に悪い	
		取り組みにより、B評価 ュールを定め、計画的に		みを行う	こと。				

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い						
十成22年度計劃(本部去議)(で)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い						
行革担当評価に同じ。								
	<u> </u>	□ 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)						
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)							
	☑ その他(上記に該当しない個別	意見)						
具体的意見·要望(A)								
具体的意見・要望(A) ・「具体的な作業が行えなかった。」とあるが、行えなかった原因の掘り下げが足りない。 ・有料広告媒体の募集及び掲載方法などについて、偏りの無い手法を検討願いたい。								

記	\ B	担当者	所属長		行革担当	本部	会議	行革委員会	
(確認日)		平成23年7月1日	平成23年7月1日		平成23年7月22日	平成23年8月1日		個別意見有	
取組内容 有料広告掲載要綱の改正 体制コード 2-2-3-3				2-2-3-3					
所	·管	財政課 契約	検査室		担当者·内線番号	百武 靖之(内線322)			
	H21	検討		H21	-		H21	-	
取	H22	改正	目	H22	-	成	H22	-	
組 時	H23		標 数	H23	-	果数	H23		
期	H24		値	H24	-	値	H24		
	後期		ļ	(単1	位:人、%、円など)	ļ.	(単	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	取り組み内容(D)							
-	-								
平月	成22年度	医中の実施目標(P)							
)、今後2	牧めて改	マエに向けて検討して い	١<.			
平月	成22年度	と取り組み内容(D)							
広告。	収入の増	曽収方法検討会におい	て協議し	要綱のi	改正を行った。				
取!	組みに	ついての成果(C)							
スケシ	ブュー ル・	どおりに要綱改正が行	われ、広	告による	る収入増への道筋を付	けること	こができた	ت.	
亚目	ポクク午 度	[評価(所管)(C)		非常	こ良い		C 悪い	١	
1 /2	X22 T 13		✓ E	8 良い((計画どおり)		D 非常	きに悪い	
スケシ	ブュール /	どおりに達成できたこと	による。						
取り	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)				
計画的	取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A) 計画的に検討会や事務手続きが行われた。								
平月	成23年度	医中の実施目標(P)							
	十以23十 点中 の天旭日信 (「)								
377	ポクク年 産	[評価(行革担当)(C)		非常	こ良い		C 悪い	1	
 /.	ルムトナタ		✓ E	8 良い((計画どおり)		D 非常	官に悪い	
所管記	果評価に	 :同じ。							

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
十成22年度計劃(本部去議)(で)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事員 □ 要改善(事業が遅れている、改員 □ その他(上記に該当しない個別	善が見られないことを指摘する意見等)
具体的意見·要望(A)		
有料広告媒体の募集及び掲載方法な	どについて、偏りの無い手法を検討願	し <i>\た</i> し\。

	_	10 V +/	rr		/= ++ +B \/	÷.⊓	∧ + ₩	/-#		
	入日 忍日)	担当者		属長	行革担当	本部	会譲 F8月1日	行革委員会		
(1) (1)	心口 /	平成23年7月4日	平成23年	₹7月6日	平成23年7月11日	平成23年	F8H1日	個別意見 有		
取組	内容	新規広告媒体への広	告掲載		体制コード		2-2-3-4			
所	管	政策推進課 情幸	设化推進	室	担当者·内線番号		山田和浩 502			
	H21		-	H21	-	_±	H21	-		
取 組	H22	検討	目標	H22	-	成 果	H22	-		
時	H23	実施	数 _	H23	-	数值	H23			
期	H24		値	H24	-		H24			
	後期			(単1	位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)		
平月	成21年度	[取り組み内容(D)								
山北、 施。	山北、朝日地区に設置してある告知端末機、TV自主放送の広告放送に係る取扱要綱を作成し、広告放送を実施。									
平月	成22年度	使中の実施目標(P)								
広告が	放送手数	双料の増額。								
平月	成22年度	取り組み内容(D)								
機会を図りながら個別に周知 ・イオンから告知端末について問い合わせがあった際に、広告媒体としての利用も可能であることを伝えた。 ・神林地区への事業拡大に伴い、かみはやし農協に対して広告放送が可能であることを伝えた。										
取!	組みに	ついての成果(C)								
		広告収入 12,500円 広告収入 25,500円		上込)						
77.5	せっっケー	京本(系签)(C)		非常	こ良い		C 悪い	١		
'' /:	以22平层	[評価(所管)(C)	☑ B 良い(計画どおり) □ [D 非常	に悪い			
		âの全体 P R は特に行っ たものの、 年間 5 0 件を			頁を受けることができた	0				
取!	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)					
		5り出し等が主なもので 農協と量販店(イオン)				いら拡大	は難しい	1点もある。		
平月	成23年度	型中の実施目標(P)								
	平成23年度中の実施目標(P) 告知放送で広告(有料)ができる旨をPRする。 ただし、広告が主たる放送ではないため、とりあえず年数回のPRにとどめる。									
亚日	ポクク年 庄	[評価(行革担当)(C)		↓ 非常	こ良い		C 悪い			
十7.	~~ <u>~</u> ~~			8 良い	(計画どおり)		D 非常	は悪い		
所管詞	果評価に	- :同じ。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
十成22年度計劃(本部去議)(で)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事員 □ 要改善(事業が遅れている、改員 □ その他(上記に該当しない個別	善が見られないことを指摘する意見等)
具体的意見·要望(A)		
有料広告媒体の募集及び掲載方法な	どについて、偏りの無い手法を検討願	し <i>\た</i> し\。

記力	\	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会	
記入日 (確認日)		平成23年7月1日		<u>₹</u> 7月1日	平成23年7月22日	平成23年8月1日		個別意見 有	
平成23年7月1日 中成23年7月1日 未利用市有地を広告れ 出しを検討			看板設置に貸し		体制コード		2	2-2-3-5	
所	 管	財政課				須貝民雄・325			
	H21			H21	担当者·内線番号 -		H21	-	
取	H22		目	H22	-	成	H22	-	
組 時	H23		標 数	H23	-	果 数	H23		
期	H24		値	H24	-	値	H24		
7//3	後期		-	(単1	位:人、%、円など)		(単1	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	取り組み内容(D)							
-	-								
平月	成22年度	医中の実施目標(P)							
看板記	殳置の 適	麺地を選定しリストを作 り	成し、年	1回公表	きする。				
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
看板記	殳置の 適	動地を選定しリストを作 り	成した。						
取!	組みに	ついての成果(C)							
	作成によ こができぇ		きを概ね	把握する	ることができ、有効利用	のためI	こ整理さ	れた資産情報を保有	
	*			非常1	<u> </u>	V	C 悪い	1	
平月	以22年度	を評価(所管)(C)		3 良い((計画どおり)		D 非常	に悪い	
公表	こ至らな	かったため。							
取点	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)				
			おらず、	より詳約	田で正確な資産情報が	必要です	5 る。		
平月	成23年度	医中の実施目標(P)							
現地記	平成23年度中の美旭日標(P) 現地調査等の実施、公表事項、手段など検討をおこなう。								
平月	戊22年度	要評価(行革担当)(C)		非常		N	C 悪い		
, ,-	1 12			3 良い((計画どおり)		D 非常	なに悪い	
平成2	2年度中	中の実施目標である公園	長ができ	なかった	ため、所管課評価に同	司じ。			

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	C 悪い
十成22千度計劃(本部去議)(()	□ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事: □ 要改善(事業が遅れている、改: □ その他(上記に該当しない個別	善が見られないことを指摘する意見等)
具体的意見·要望(A)		
有料広告媒体の募集及び掲載方法な	どについて、偏りの無い手法を検討願	いたい。

記	\ 	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会
(確認日)		平成23年7月1日		₹7月1日	平成23年7月22日	平成23年8月1日		個別意見 有
取組内容 その他広告媒体利用の検討 体制コード 2-2-3-6					2-2-3-6			
所	 管	財政課 契約	検査室		担当者·内線番号	百武 靖之(内線322)		
	H21			H21	-		H21	-
取	H22	検討	目	H22	-	成	H22	-
組 時	H23		標 数	H23	-	果数值	H23	-
期	H24		値	H24	-	値	H24	-
	後期			(単1	位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)
平月	成21年度	取り組み内容(D)						
-								
亚	ポック午 度	重中の実施目標(P)						
十八	1,444	で中の天心口伝(「)						
関係部	各課と協	議を行う。						
平月	成22年度	医取り組み内容(D)						
未実施	衐							
	_							
Ħ∇।	り組みに	ついての成果(C)						
77.	<u> УМД 07 ГС</u>	20. C07/32/R(C)						
45.1								
なし								
平月	成22年度	[評価(所管)(C)		非常(• •		C 悪い	
				3 良い((計画どおり)	V	D 非常	だに悪い
未実施	色のため)						
取以	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)			
特にな	⊋l							
₩.	せつつ 年 氏	要中の実施目標(P)						
一	1X20+1S	を中の夫旭日伝(「)						
	4. 14. Am T	- 1000 / tm - 1++++ + /		14411 -	_, , ,			
以 策}	政策推進課及び関係課との協議を行い今後検討していく。							
亚目	ポクク年 度			↓ 非常			C 悪い	
1 -73	~~ <u>~~</u> T/S	си і іш (I J — J= ⊒ <i>)</i> (С)		8 良い((計画どおり)	V	D 非常	は悪い
	m.t.							
	果評価に		- 田▽ ≀1幺日	みを行う	. .			
'ውመ\	なお、スケジュールを定め、計画的に取り組みを行うこと。							

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い						
十成22年度計劃(本部去議)(で)	□ B 良い(計画どおり)	☑ D 非常に悪い						
行革担当評価に同じ。								
行革委員会個別意見(C)		□ 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等) □ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)						
	☑ その他(上記に該当しない個別意見)							
具体的意見·要望(A)								
有料広告媒体の募集及び掲載方法な	どについて、偏りの無い手法を検討願	いたい。						

記入日		担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会	
(確記	忍日)	平成23年7月1日			個別意見 有				
取組	組内容 広告収入の数値目標 体制コード 2-2-3-7		2-2-3-7						
所	管	財政課 契約	約検査室 担当者·内線番号				百武 靖之(内線322)		
	H21	-		H21	290千円		H21	328千円	
取	H22	-	目	H22	350千円	成	H22	350千円	
組 時	H23	-	標数	H23	400千円	果数	H23		
期	H24	-	数 値	H24	450千円	値	H24		
77)	後期				広告収入			広告収入	
平月		取り組み内容(D)							
ごみた	ごみカレンダー分の広告収入。								
平月	成22年度	E中の実施目標(P)							
328 T									
半月	页22年度	[取り組み内容(D)							
ごみた	コレンダ-	-分の広告収入(H22決	₹算額35	60千円)					
取点	ク組みに	ついての成果(C)							
ごみか]レンダ-	-分の目標額(H22決算	草額350 ⁻	千円)を追	達成できた。				
77 5	せつつ任 氏	[評価(所管)(C)		非常に	こ良い		C 悪い	1	
Τ.	, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>		E S	3 良い(計画どおり)		D 非常	官に悪い	
ごみた	コレンダ-	- 分の目標額を達成で	きたこと	による。					
取!	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)				
計画的	的に広告	審査委員会や事務手	続きが行	売われた	0				
平月	成23年度	使中の実施目標(P)							
400千	400千円								
77 -	ポクク年 戸	[評価(行革担当)(C)		非常!	こ良い		C 悪い	1	
+ /-	以44十岁	(1」半5º3/(C)	Image: section of the content of the	3 良い(計画どおり)		D 非常	官に悪い	
所管記	果評価に	:同じ。							

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い						
十成22年度計劃(本部去議)(で)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い						
行革担当評価に同じ。								
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事業 □ 要改善(事業が遅れている、改善 □ その他(上記に該当しない個別	善が見られないことを指摘する意見等)						
具体的意見·要望(A)								
具体的意見·要望(A) 有料広告媒体の募集及び掲載方法などについて、偏りの無い手法を検討願いたい。								

記》	\ \ 日	担当者	所属	 属長	 行革担当	本部	会議	行革委員会	
(確認日)		平成23年7月1日	平成23年7月1日		平成23年7月22日	平成23年8月1日		個別意見 有	
取組	双組内容 財産台帳の再整備 体制コード 2-2-4-1			2-2-4-1					
所	·管	財政課			担当者·内線番号		須貝	民雄・325	
	H21	実施		H21	-		H21	-	
取 組	H22		目描	H22	-	成	H22	-	
曲時	H23		標 数	H23	-	果 数 值	H23		
期	H24		値	H24	-		H24		
	後期			(単	位:人、%、円など)		(単1	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	取り組み内容(D)							
	財産台帳の内容の調査を行い、公有財産管理システムとして電算化の導入に着手した。 平成22年度中の実施目標(P)								
システ	⁻ ム搭載	のデータ量を増やすた	め、法務	8局での	調査等を実施する。				
平月	成22年度	と取り組み内容(D)							
	法務局データや課税台帳データとの不一致調査また現地調査を行い、合併前の決算ベースで財産台帳のデータ 化を実施した。								
取点	ク組みに	ついての成果(C)							
		去務局データ等の不一 リ用∪地図データ閲覧だ							
	#00/F#			非常	<u></u> こ良い		C 悪い		
半 片	以22年度	を評価(所管)(C)	☑ B 良い(計画どおり)			□ D 非常に悪い			
計画 た。	可どおり耳	双り組みをおこなった。	また、GI	S地図テ	・一タ閲覧システムの導	入により	〕事務処	理の効率が上がっ	
取!	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)				
緊急雇用創出事業を活用し、業務委託等により、集中的に作業を行ったことで取り組みが適切に行われた。									
平月	成23年度	医中の実施目標(P)							
不一	不一致となった財産台帳データの調査等を実施する。								
717	ポクク年 産			非常1	こ良い		C 悪い		
' 	ルムム十 /5	ᆂᇚᄤᆟᆛᆍᅸᆿᄼᆝᇈ	✓ E	3 良い	(計画どおり)		D 非常	に悪い	
所管語	裸評価に								

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い						
十成22千度計圖(本部去議)(()	✓ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い						
行革担当評価に同じ。								
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高〈評価する意見等)						
行革委員会個別意見(C)	□ 要改善(事業が遅れている、改成)	善が見られないことを指摘する意見等)						
	☑ その他(上記に該当しない個別	意見)						
具体的意見·要望(A)								
具体的意見・要望(A) ・公有財産管理システムで管理するデータに、備品等のデータはあるか。 ・公有財産には備品等も含まれて〈ると思うので、備品等の状況についても記載願いたい。								

±¬ .	<u> </u>		C.E.E		仁某也小	本部会議行革委員会			
記入日 (確認日)		担当者	所属長 平成23年7日1日		行革担当 平成23年7月22日			行革委員会 個別意見 有	
(### #	1,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		個別意見 有						
取組内容 公有財産の取扱い方領			計·基準	の策定	体制コード		2-2-4-2		
所	管	財政課			担当者·内線番号		須貝	民雄・325	
	H21	策定		H21	-		H21	-	
取	H22		目	H22	-	成	H22	-	
組 時	H23		標数	H23	-	果 数 値	H23		
期	H24		値	H24	-		H24		
743	後期		i.E	(単1	位:人、%、円など)	i.E	(単1	位:人、%、円など)	
平月		取り組み内容(D)			,		, , ,	,	
	他市の指針等の調査を実施。 平成22年度中の実施目標(P)								
財産的	台帳の整	発備完了後策定したいた	こめ、他で	市の指針	計を参考に準備を進め	る。			
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
未実施	色								
取!	組みに	ついての成果(C)							
亚目	ポクク年 度	評価(所管)(C)		非常	こ良い	\	C 悪い		
+ 1.	IX.42 11 IS		□ B 良い(計画どおり)			□ D 非常に悪い			
	台帳と法 めなかっ		対発見	され、ベ	ースとなる財産台帳の	緻密化	を優先し	取り組む必要があり	
取!	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	'点など)	(A)				
ベースとなる財産台帳の緻密化を優先し取り組む必要がある。									
平月	成23年度	医中の実施目標(P)							
ベースとなる財産台帳の緻密化を優先し取り組み、作業の進行状況に応じ、公有財産の取扱い方針・基準の策 定に向け準備を進める。									
<u> </u>	サクク年 庄	[評価(行革担当)(C)		↓ 非常	こ良い	V	C 悪い	\	
+ /.	ルムトナタ			良い((計画どおり)		D 非常	に悪い	
未実が 同じ。	――	ーーーーことで、本来はD評価だ	が、財産	 経台帳の	緻密化を優先し取り組	 む必要:	があった	ため、所管課評価に	

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	図 C 悪い						
十成22千度計劃(本部去議)(()	□ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い						
行革担当評価と同じ。								
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高〈評価する意見等)						
行革委員会個別意見(C)	□ 要改善(事業が遅れている、改善)	善が見られないことを指摘する意見等)						
	☑ その他(上記に該当しない個別意見)							
具体的意見·要望(A)								
具体的意見・要望(A) ・公有財産管理システムで管理するデータに、備品等のデータはあるか。 ・公有財産には備品等も含まれて〈ると思うので、備品等の状況についても記載願いたい。								

記力	<u></u>	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会		
	2日)	平成23年7月1日		₹7月1日	平成23年7月22日		₹8月1日	個別意見 有		
取組	担内容 遊休資産の調査 体制コード 2-2-4-3				2-2-4-3					
所	·管	財政課	!		担当者·内線番号		須貝	民雄・325		
	H21			H21	-		H21	-		
取	H22	実施	目標	H22	-	成	H22	-		
組 時	H23		標 数	H23	-	果 数 値	H23			
期	H24		値	H24	-	値	H24			
	後期			(単1	位:人、%、円など)		(単1	位:人、%、円など)		
平月	成21年度	取り組み内容(D)								
	財産台帳の再整備に合わせて、一部遊休資産・売却資産の洗い出しに着手した。									
+1	以22十层	[中の実施目標(P)								
売却可	可能な遊	休資産を調査しリストを	を作成す	⁻ る。						
平月	成22年度	取り組み内容(D)								
売却可	可能な資	産のリストを作成した。								
取!	組みに	ついての成果(C)								
リスト た。	作成によ	い売却可能な資産を排	巴握する	ことがで	き、売却に向け整理さ	れた資産	産情報を	保有することができ		
T7 F	#00/T #			非常し	こ良い		C 悪い	I		
'' '	以22年沒	[評価(所管)(C)	▼	3 良い((計画どおり)	□ D 非常に悪い				
計画	どおり取	り組みをおこなった。								
取!	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)					
売却何	西格の時	宇点修正や詳細な物件 (情報把抓	屋に努め	る必要がある。					
平月	成23年度	を 中の実施目標(P)								
適正な価格を把握するため、価格評価を随時見直す。また詳細な物件情報の収集を行う。										
亚F	 朮22年度	[評価(行革担当)(C)		非常			C 悪い			
1 /-	~- <u>-</u>	EHI IM (17 +1==1)(C)	✓ E	8 良い((計画どおり)		D 非常	常に悪い		
所管詞	果評価に	:同じ。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い						
十成22年度計劃(本部去議)(で)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い						
行革担当評価に同じ。								
		良好(先進的な取り組みや、事業内容を高〈評価する意見等)						
行革委員会個別意見(C)	<u> </u>	善が見られないことを指摘する意見等) 						
	☑ その他(上記に該当しない個別意見)							
具体的意見·要望(A)								
売却可能な資産とは、どの程度まで分査されていますか。)詳細が分かるよう		が事務機器や什器備品等、十分に精						

記力	\ \ 日	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会		
	2日)	平成23年7月1日	平成23年	F7月1日	平成23年7月22日	平成23年	₹8月1日	個別意見 有		
取組	内容	遊休財産の有効活用の	の検討	検討 体制コード			2-2-4-4			
所	·管	財政課			担当者·内線番号		須貝	民雄・325		
	H21			H21	-		H21	-		
取	H22	実施	目	H22	-	成	H22	-		
組 時	H23		標数	H23	-	果 数 値	H23			
期	H24		値	H24	-	値	H24			
	後期			(単	位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)		
平月	平成21年度取り組み内容(D)									
- 平点	- 平成22年度中の実施目標(P)									
		土地を選定し遊休財産	をとしての	D有効活	用を検討する。					
平月	成22年度	と取り組み内容(D)								
売却ス	不可能な	土地の選定は特に行っ	っていな	い。貸付	けの申請のあるものにつ	いては	貸付を写	実施した。		
取!	組みに	ついての成果(C)								
新規貸	貸付件数	対16件 H22年度土地貸		·						
平月	成22年度	要評価(所管)(C)		非常		$\overline{\mathbf{v}}$	C 悪い			
				艮(ハ)	(計画どおり)	Ш	D 非常	だに悪い		
売却を	生不可能	とする理由が不明確で	゚゙あるが、	土地の	選定をおこなっていな	, \ .				
取!	〕組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)					
普通財産は売却不可能な土地はないと考える。売却を不可能とする理由を明らかにし土地の選定を行うためには、詳細な現地調査等を実施する必要がある。										
平月	成23年度	要中の実施目標(P)								
財産領	財産台帳の緻密化、現地調査等に取り組み、財産台帳整備完了後に遊休財産の選定を進める。									
_	₽ oo ← →			非常し	こ良い	V	C 悪い	1		
平月	成22年度	を評価(行革担当)(C)			(計画どおり)			に悪い		
	果評価に 現地調	:同じ。 査等による検討の結果	として、			 l分)を図				

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	C 悪い					
十成22年及計劃(本部去議)(()	□ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い					
行革担当評価に同じ。							
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高〈評価する意見等)					
行革委員会個別意見(C)	□ 要改善(事業が遅れている、改善)	善が見られないことを指摘する意見等)					
	☑ その他(上記に該当しない個別意見)						
具体的意見·要望(A)							
売却不可能な土地とは、どのようなもの	のでしょうか。 詳細が分かるように記載	願いたい。					

記入	\ \ 日	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会	
	忍日)	平成23年7月1日	平成23年7月1日		平成23年7月22日	平成23年8月1日		個別意見 有	
取組	内容	売却処分地の選定			体制コード	2-2-4-5			
所	管	財政課			担当者·内線番号		須貝	民雄・325	
	H21			H21	-		H21	-	
取 組	H22	選定	目標	H22	-	成甲	H22	-	
時	H23		数	H23	-	果 数 値	H23	-	
期	H24		値	H24	-	値	H24	-	
	後期			(単	位:人、%、円など)		(単1	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	取り組み内容(D)							
	財産台帳の再整備に合わせて、一部遊休資産・売却資産の洗い出しに着手した。 平成22年度中の実施目標(P)								
,		,	ぎを進め、	、売却処	℄分地のリストを作成す	る。			
平月	成22年度	と取り組み内容(D)							
売却可	可能な資	 を作成した。							
取!	組みに	ついての成果(C)							
リスト た。	作成に。	い売却可能な資産を排	≞握する	ことがで	き、売却に向け整理さ	れた資産	奎情報を	保有することができ	
ΨF	ポクク年度			非常	こ良い		C 悪い		
Τ/.	, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>		V	3 良い	(計画どおり)		D 非常	に悪い	
計画	どおり取	り組みをおこなった。							
取点	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)				
売却伯	売却価格の時点修正や詳細な物件情報把握に努める必要がある。								
平月	成23年度	医中の実施目標(P)							
適正な価格を把握するため、価格評価を随時見直す。また詳細な物件情報の収集を行う。									
377	ポクク年 産	E評価(行革担当)(C)		非常	こ良い		C 悪い		
+ ,	ルムイナ / 5	ᆂᇚᄤᆟᆛᆍᅸᆿᄼᆝᇈ	▽ [3 良い	(計画どおり)		D 非常	に悪い	
所管語	果評価に								

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い						
十成22年度計劃(本部去議)(で)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い						
行革担当評価に同じ。								
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事業 □ 要改善(事業が遅れている、改善 □ その他(上記に該当しない個別)	善が見られないことを指摘する意見等)						
具体的意見·要望(A)								
具体的意見·要望(A) 売却可能な資産リストは公表されていますか。詳細が分かるように記載願いたい。								

記入	λĦ	担当者	所属	 属長	行革担当	本部	会議	行革委員会	
	2日)	平成23年7月1日		₹7月1日		平成23年	₹8月1日		
取組	内容	売却処分の実施			体制コード		2-2-4-6		
所	管	財政課	Į		担当者·内線番号		須貝民雄·325		
177	H21]	H21	-	_1	H21	-	
取 組	H22	実施	目標	H22	3%	成里	H22	0.08	
時	H23		数	H23	5%	果 数	H23		
期	H24		値	H24	10%	値	H24	かれば仕次立のまtost	
77.5	後期	<u> </u> [取り組み内容(D)		処分可	能な遊休資産の売却数		処分可	能な遊休資産の売却数	
用途原インタ	用途廃止を決定した財産の売却。 インターネットを利用した公有財産の売却。 平成22年度中の実施目標(P)								
売却可	可能地の	リストを作成し市民への	の広報を	き行う。					
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
法定约 不用 &	売却可能地のリストを作成し、売却の求め申請があったものについて売却を行った。 法定外公共物が用途廃止となった土地については、速やかに売却を行った。 不用となった車両はホームページにより公告を行い売却を図った。								
取り	組みに	ついての成果(C)							
売却丬		地(法定外用途廃止)		313,226	64,038円 土地(他事 円 建物 1件 539,76 50円		3件 3	34,680,348円	
平月	成22年度	[評価(所管)(C)		4 非常I 3 良い	こ良い (計画どおり)		C 悪l D 非常) まに悪い	
売却可	可能地の	リスト広報が実施でき	なかった	- 0					
取以	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)				
売却値	取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A) 売却価格の時点修正や詳細な物件情報把握に努める必要がある。								
平月	成23年度	中の実施目標(P)							
]産については、ホーム ストの不動産の詳細な			:行い入札を実施する。 B握し、公表事項、手段	など検言	対をおこ	なう。	
平日	成22年度	[評価(行革担当)(C)	=	↓ 非常I		V	C 悪い		
, ,			<u> </u>	3 良い	(計画どおり)		D 非常	ぎに悪い	

平成22年度中の実施目標である「売却可能地のリストを作成し市民への広報」が行われなかったので、所管課評価に同じ。

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	☑ C 悪N				
十/0.22年及計圖(本品去議)(C)	□ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い				
行革担当評価に同じ。						
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高〈評価する意見等)				
行革委員会個別意見(C)	□ 要改善(事業が遅れている、改善)	善が見られないことを指摘する意見等)				
	☑ その他(上記に該当しない個別意見)					
具体的意見·要望(A)						
「売却処分の実施」とありますが、その願いたい。	評価はどのような算定根拠をもとにし ⁻	ていますか。詳細が分かるように記載				

記入	日	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会	
(確認	忍日)	平成23年6月14日	平成23年	6月30日	平成23年7月11日	平成23年	F8月1日	個別意見有	
取組	取組内容 農業振興地域の見直し			体制コー			2	2-2-5-3	
所	管	農林水産課 農	業振興室	Z	担当者·内線番号		加藤	泰(内線345)	
	H21	検討·実施		H21	-		H21	-	
取	H22		目	H22	-	成	H22	-	
組 時	H23		標数	H23	-	果 数	H23		
期	H24		数 値	H24	-	値	H24		
74.1	後期			(単1	位:人、%、円など)	112	(単	位:人、%、円など)	
平万	龙21年度	 取り組み内容(D)			·				
農業振興地域整備計画の見直し・策定に向けて基礎資料のデータ収集及び調査資料の作成を依頼。									
平瓦	发22年度	中の実施目標(P)							
新村」	上市とし ⁻	ての農業振興整備計画	の策定	を行う。					
平反	戊22年度	取り組み内容(D)							
	旧市町村毎に策定されていた5つの農業振興整備計画を統合するとともに、平成21年度実施した基礎調査を基に 農業振興整備計画の見直しを行った。								
取り	組みに	ついての成果(C)							
		末をもって、農業振興整 E度中の見直し作業がテ			√作業が終了予定であ [∙]	ったが、!	県との事	前相談が長引いてい	
W	°°°°	一种(50条)(6)		非常に	良い	✓	C 悪い		
\\ \b	X22 年	評価(所管)(C)	B	良い(計画どおり)		D 非常	に悪い	
		業振興整備計画の統 農用地区域の変更にな			21、22年度の2ヶ年でテ	も了させ	る予定で	であったが、完了してい	
取り	組みに	ついての感想(成功理的	由·反省.	点など)	(A)				
農業振興整備計画の統合・見直しを進めるための準備・認識不足があったこと。また、担当者が見直しを始めてからの2ヶ年で3人が交代するなどそれぞれの担当者が制度の内容等を理解するための時間を要したことが遅れた原因である。									
平瓦	艾23年度	中の実施目標(P)							
農業排	長興整備	計画の見直しの完了。							
377 =	けつつ午 市	評価(行革担当)(C)	A	非常は	良い	~	C 悪い		
	x44十垓 	·····································		良い(計画どおり)		D 非常	に悪い	
予定と		業が完了しなかったの↑	で、所管	悪の評値	 画のとおり、C評価とした	-0			

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	✓ C 悪い							
十成22千发計圖(本部安徽)(で)	□ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い							
行革担当評価に同じ。									
	□ 良好(先進的な取り組みや、事業	美内容を高〈評価する意見等)							
行革委員会個別意見(C)	□ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等								
	☑ その他(上記に該当しない個別)	意見)							
具体的意見·要望(A)									
担当者の交代(2年で3人)との反省かる。人事異動の配慮があっても良かっ	゙あったが、このようなことが見直し作業 たのではないか。	の遅れの一因であることは、残念であ							

記力	\ 日	担当者	所属	 属長	行革担当	本部	会議	行革委員会	
	2日)	平成23年6月22日		6月23日	平成23年7月11日	平成23年	₹8月1日	個別意見 有	
取組	内容	用途地域の見直し			体制コード	2-2-5-4			
所	·管	都市整備課詞	計画室		担当者·内線番号		大	西敏・5 1 2	
	H21			H21	-		H21	-	
取 組	H22	検討·実施	目標	H22	-	成田	H22	-	
時	H23		数	H23	-	果 数	H23		
期	H24		値	H24	-	値	H24		
	後期			(単作	位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)	
半月	成21年度	[取り組み内容(D)							
- 平.f	- 平成22年度中の実施目標(P)								
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,							
用途均	也域の見	! 直し業務委託を発注し	、関係	幾関との	協議、土地利用調整会	会議等を	行い計画	画案を作成する。	
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
用途均	也域の見	見直し業務委託を発注し	、関係	幾関との	協議、土地利用調整会	会議等を	行い計画	画案を作成。	
取!	組みに	ついての成果(C)							
郑市	計画家記	議会で作業状況の報告	た行った	<u>_</u>					
H) I)	可凹色的	找┰┖╟╪╢╜╜╫╻	Œ1] JK	-0					
平月	成22年度	[評価(所管)(C)	□ A 非常に良い			□ C 悪い □ D 非常に悪い			
		,	V E	3 艮い	(計画どおり)	Ш	D 非常	まに悪い	
概ねる	予定通り	の取り組みができた							
取!	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)				
				,					
-									
平月	成23年度	性中の実施目標(P)							
計画領	十成23年度中の実施日標(F) 計画案についての住民説明会及び関係者説明会の実施								
<u> </u>	ポクク年 柱	[評価(行革担当)(C)	A	非常	こ良い		C 悪い	1	
+ /.	以44十岁	(기부5일리)(도)	V E	8 良い	(計画どおり)		D 非常	だに悪い	
A	·⊞ ∸क /≖ ।=								

所管課評価に同じ。

なお、都市計画審議会については、会議の内容や結果などの公表が行われておらず不透明なため、「計画案についての住民説明会及び関係者説明会の実施」について、十分な説明を実施すること。

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い					
十成22千度計圖(本部云議)(C)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い					
汽 车 扣坐部体厂 同じ							
行革担当評価に同じ。							
	□ 良好(先進的な取り組みや、事業	業内容を高〈評価する意見等)					
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善)	要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)					
	□ その他(上記に該当しない個別)	その他(上記に該当しない個別意見)					
具体的意見·要望(A)							

共作的总元 安主(^)

・用途地域の見直しをされているが、どの地域でもこれまで市街地の外に商業施設が移り、市街地の商店街にシャッター通りが広がってしまった。現在国の施策としてシビックコアーが叫ばれ、商店を町の中に呼び戻す方向に動いている。郊外に用途を広げるとどのような町になっていくのかをしっかりと見極め、合わせて村上市らしい景観が確立される用途の見直しをしなければならない。また、景観条例化などを合わせて地域住民との意見交換や説明をやっていく必要性を強く感じる。

・合併に伴い各種事業・計画の見直しを行う場合は、対象範囲も広域となることなどから、その事務手続きなどできる限り公表しながら進めることが、その後の計画推進をスムーズに行う重要な要素になるのではないか。説明会なども、開催日や時間の設定など、関係者の立場に立った設定を考慮してほしい。

<u>+</u> '	\	扣 业本	FF F	属長	行某扣业	★ 立7	△諡	仁艺禾里人	
記入日 (確認日)		担当者			行革担当	本部会議平成23年8月1日		行革委員会	
(注重)	Ю Ц)	平成23年6月22日	平成23年	-0月23日	平成23年7月11日	十八八23年	-8月1日	個別意見 有	
取組	内容	都市計画事業の見直	b .		体制コード	2-2-5-5		2-2-5-5	
所	管	都市整備課詞	十画室		担当者·内線番号		大	5 9 9 1 2 5 1 2	
	H21	検討·実施		H21	-		H21	-	
取	H22		目	H22	-	成	H22	-	
組品	H23		標数	H23	-	果	H23		
時 期	H24		数 値	H24	-	数 値	H24		
77)	後期				<u></u> 位∶人、%、円など)			位:人、%、円など)	
平月									
業務委	都市計画マスタープラン策定に合わせ、都市計画事業の見直し方針の検討を行った。又平成22年度計画見直し 業務委託の発注準備を行った。								
平点	以22年及	[中の実施目標(P)							
-									
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
		l直し業務委託を発注し ついての成果(C)	、関係植	幾関との	協議、土地利用調整会	会議等を	行い計画	画案を作成。	
4X '.	が位のに	フロCの成 木 (C)							
都市	計画審詞	議会で作業状況の報告	を行った						
<u>₩</u> F	ポック年 度	評価(所管)(C)		非常!	こ良い		C 悪い		
Τ/	以22十13		☑ E	3 良い([計画どおり)		D 非常	に悪い	
		の取り組みができた							
取点	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)				
-									
平月	成23年度	中の実施目標(P)							
計画家	案につい	ての住民説明会及び関	——— 関係者訪						
平5	— —— 成22年度	評価(行革担当)(C)	☐ A		こ良い 計画どおり)		C 悪い D 非常		

所管課評価に同じ。 なお、都市計画審議会については、会議の内容や結果などの公表が行われておらず不透明なため、「計画案に ついての住民説明会及び関係者説明会の実施」について、十分な説明を実施すること。

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い							
十/0.22年及計圖(本品去議)(C)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い							
行革担当評価に同じ。									
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高〈評価する意見等)							
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)								
	□ その他(上記に該当しない個別	意見)							
具体的意見·要望(A)									
限り公表しながら進めることが、その後		となどから、その事務手続きなどできる 要素になるのではないか。説明会など)。							

記入	\ 	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会	
(確認日)		平成23年6月30日	平成23年7月1日		平成23年7月20日	平成23年8月1日		個別意見 無	
取組	取組内容 都市計画税の課税区域等の見直し 体制コード 2-2-5-6			2-2-5-6					
所	管	資産税値	系		担当者·内線番号		浅野:	宏 内線226	
1	H21	検討		H21	-		H21	-	
取 組	H22		目標	H22	-	成甲	H22	-	
時	H23	実施	数	H23	-	果 数	H23		
期	H24		値	H24	-	値	H24		
	後期			(単1	位:人、%、円など)		(単1	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	取り組み内容(D)							
	都市計画税検討プロジェクトにより全庁的に検討を進めた。								
平凡	以2245	医中の実施目標(P)							
平成2	2年度中	Pに市としての方針を決	定する。						
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
都市記	都市計画税検討プロジェクトにより全庁的に検討し方針を決定する。								
取り	組みに	ついての成果(C)							
都市記	計画税検	討プロジェクトで検討し	人、庁内(の検討約	且織でも検討した結果、	都市計	画税は原	≹止とし <i>た</i> 。	
亚	ポック年 底			非常	こ良い		C 悪い		
十八	1X44+15	(F) 目 (C)	\sqrt{\sq}\sqrt{\sq}}}}}}}}}} \sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sq}}}}}}}} \sqrt{\sq}}}}}}}}}} \sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sq}}}}}}}}} \sqrt{\sqrt{\sq}}}}}}} \sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sq}}}}}}} \sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sq}}}}}}} \sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sq}}}}}}} \sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\sqrt{\	8 良い((計画どおり)		D 非常	なに悪い	
		7トで慎重な検討が行れ		-					
取!	り組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)				
平月	成23年度	怪中の実施目標(P)							
平月	成22年度	[評価(行革担当)(C)		非常			C 悪い		
. ,-	, , ,		✓ E	8 良い((計画どおり)		D 非常	は悪い	
計画と	どおり結	論を出せたので、B評値	面とした。						

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
十成22千度計劃(本部去議)(()	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事: □ 要改善(事業が遅れている、改: □ その他(上記に該当しない個別	善が見られないことを指摘する意見等)
 具体的意見·要望(A)		感光)
	度に向けての要望がある場合に記載)	

記力	\ \ 日	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会	
	2日)	平成23年7月1日	平成23年	₹7月1日	平成23年7月19日	平成23年	₹8月1日	個別意見 無	
取組	内容	個別の補助金交付要約	綱の制定	Ē	体制コード		2-3-1-1		
所	·管	財政課行政約	圣営係		担当者·内線番号		高橋洋	一(内線327)	
	H21	制定		H21	-		H21	-	
取 組	H22		目標	H22	-	成	H22	-	
曲時	H23		標 数	H23	•	果 数	H23		
期	H24		値	H24	-	値	H24		
	後期			(単1	位:人、%、円など)		(単1	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	取り組み内容(D)							
	担当課に指示をし、2件を残して制定されました。								
平片	以22年度	医中の実施目標(P)							
残り <i>σ</i>	2件を急	策定します。また、新規:	補助金川	こついて	もすべて制定します。				
平月	成22年度	と取り組み内容(D)							
金事業	「補助金等に関する基本指針」及び「補助金等交付基準」を超える補助金交付を行う事業については、その補助 金事業の必要性、効果を明確にしたうえで、行財政改革本部会議に諮って方針を決定した。								
取!	ク組みに	ついての成果(C)							
平成2	21年度と	の当初予算比較で、交	付件数	18件、	補助金額4,600万8千月	円増とな	っている	١٠	
77 -	せつつ任 氏	を評価(所管)(C)		非常	こ良い		C 悪い		
+1.	XZZ+15	2計1四(<i>F</i>)(日)(C)	E S	3 良い((計画どおり)		D 非常	は悪い	
補助領	金交付事	『業の制定、又は改正に	こあたっ	ては、交	付基準に則って行うこ	とが認記	戦されてい	,1る。	
取点	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)				
年度による国県補助事業の取り組みによって補助金額の増減はあるものの、補助金等交付基準による方針が意識づけられてきている。									
平月	成23年度	関中の実施目標(P)							
引き続き、「補助金等に関する基本指針」及び「補助金等交付基準」による方針をもって判断する。									
亚		要評価(行革担当)(C)		非常	こ良い		C 悪い	1	
十7.	~~ <u>~</u> ~	си і іщ (і J Т ј= ⊐) (С)	▼	8 良い((計画どおり)		D 非常	は悪い	
所管語	果評価に	 に同じ。							

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
十成22千度計劃(本部去議)(()	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事: □ 要改善(事業が遅れている、改: □ その他(上記に該当しない個別	善が見られないことを指摘する意見等)
 具体的意見·要望(A)		感光)
	度に向けての要望がある場合に記載)	

47		+D 1// +/	CT E	-	/= 	→ ÷7	· ∧ · ×	/-++ Z -D_A	
	入日 忍日)	担当者		属長 ∓7月1日	行革担当 平成23年7月19日		会議 E 8月1日	行革委員会	
,	内容	平成23年7月1日 補助事業の内容、金8 表(2-1-1-2と重複)			体制コード	十成231		個別意見 有 2-3-1-2	
所	 管	財政課行政総			担当者·内線番号		———————————— ←—(内線327)		
	H21	実施		H21	-		H21	-	
取	H22		目	H22	-	成	H22	-	
組 時	H23		標 数	H23	-	果 数	H23		
期	H24		値	H24	-	値	H24		
後期 (単位:人、%、円など) (単位:人、%、円など)								位:人、%、円など)	
平月	成21年度	と取り組み内容(D)							
補助3 1日号)	補助金の今後の方針一覧をホームページで公表したほか、平成22年度補助金交付予定一覧の公表(市報は8月 1日号)に向けて、準備を進めました。								
平月	成22年度	関中の実施目標(P)							
平成2	2年度補	脚金の交付予定を8月	1日号の	の市報で	公表し、市民に情報提	供します	⊢ 。		
平月	成22年度	と取り組み内容(D)							
8月1日号の市報に挟み込み、補助金交付予定一覧を全戸配布により公表。併せて、ホームページにおいても一 覧を公表した。									
取!	組みに	ついての成果(C)							
		であったが、公表後に する関心を広げられた。	市民から	らの問い	1合わせが3件あり、補助	助制度の)内容及	び適用の有無など、市	
平月	成22年度	を評価(所管)(C)		4 非常I 3 良い(こ良い(計画どおり)		C 悪い D 非常	\ ぎに悪い	
		表を行えた。							
取!	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)				
初めて	初めての取り組みであり、多くの市民から意見、問い合わせが来ることを想定したが少なかった。								
平月	成23年度	を中の実施目標(P)							
	引き続き、当初予算の交付予定について一覧により公表を行っていくとともに、新たに前年度の交付実績を取りまとめ、一覧として公表(ホームページ)を行っていく。								
₩.	世の2年 中	京河(市) (元学:17 半) (C)		非常	こ良い		C 悪い	1	
'' /:	以22干房	を評価(行革担当)(C)	\sqrt{\sq}\ext{\sqrt{\sq}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}}	3 良い	(計画どおり)		D 非常	きに悪い	
	果評価に 、取り組	:同じ。 引みに対する反応が少な	 なかった	と思われ		 の仕方の		―――――――――――――――――――――――――――――――――――――	

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
十成22千度計劃(本部去議)(()	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事業 □ 要改善(事業が遅れている、改善 □ その他(上記に該当しない個別:	善が見られないことを指摘する意見等)
具体的意見·要望(A)		
補助金の効果測定の基準づくりも併せ	けて取り組むべきではないか。	

	人日	担当者		属長	行革担当		会議	行革委員会
(確記	忍日)	平成23年7月1日	平成23年	₹7月1日	平成23年7月19日	平成23年	₹8月1日	個別意見有
取組	内容	負担金の見直し			体制コード	2-3-1-3		
所	管	財政課行政網	圣営係		担当者·内線番号		高橋洋	一(内線327)
	H21	見直し		H21	-		H21	-
取	H22		目	H22	-	成	H22	-
組 時	H23		標 数	H23	-	果 数	H23	
期	H24		値	H24	-	値	H24	
743	後期		,,	(単	位:人、%、円など)	,	(単1	位:人、%、円など)
平月	成21年度	取り組み内容(D)					<u> </u>	
	全国の先進的取り組み事例についてホームページで研究する程度にとどまり、見直しに着手できませんでした。 平成22年度に行財政改革推進プロジェクトでワーキング部会を組織し、研究・構築することとしました。							
平月	成22年度	医中の実施目標(P)						
財政は	牧革ワー	・キング部会で見直しを	行いまで	す。				
平月	成22年度	取り組み内容(D)						
「財政改革ワーキング部会」を設置し、見直しに向け、負担金を多〈所管している課を対象に内容ヒアリングを行う とともに、すべての負担金について内容確認の調査を行った。								
取り組みについての成果(C)								
各担的	各担当で負担金の内容を確認し、その必要性を改めて検証することで事務事業の改善が図られる。							
- TT -	#00 <i>/</i> T #			4 非常1	<u></u> こ良い	V	C 悪い	1
平方	以22年度	を評価(所管)(C)		3 良い	(計画どおり)		D 非常	に悪い
見直し	んに向け	た現状の内容把握等を	そ行った	ものの、	実際の見直しまで進め	られなか	かった。	
取り	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)			
今後の	今後の見直しの具体的方針や検証制度の構築へつなげていくことが課題である。							
平月	成23年度	を中の実施目標(P)						
見直しの具体的方針及び検証制度の構築を進める。								
平月	成22年度	[評価(行革担当)(C)		4 非常I 3 良い	こ良い (計画どおり)	\ 	C 悪い D 非常	さに悪い
	果評価に 検討に	:同じ。 あたっては、 期限を定め	りて結論	iを出す。	ように努めること。			

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	☑ C 悪い						
十成22年及計劃(本部去議)(()	□ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い						
行革担当評価に同じ。								
	□ 良好(先進的な取り組みや、事							
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)							
	□ その他(上記に該当しない個別	意見)						
具体的意見·要望(A)								
見直しを取り組みにあげているのに、	見直せなかったのは問題である。							

≐ ⊐ 1	\ \	担当者	6F E	属長	行革担当	太	会議	行革委員会
	入日 忍日)	平成23年7月1日		東区 ₽7月1日			五哦 ₹8月1日	
· ·	内容	検証する制度の構築	1 122	1,311	体制コード	1 7220		2-3-1-4
所管 財政課行政経営係 担当者·内線番号 高橋洋一(内線:						 = (内線327)		
	H21	研究		H21	-		H21	-
取 組	H22		目 標	H22	-	成田	H22	-
時	H23	創設·実施	数	H23	-	果 数	H23	
期	H24		值	H24	-	値	H24	
	後期			(単作	位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)
平成21年度取り組み内容(D) 平成22年度に行財政改革推進プロジェクトでワーキング部会を組織し、研究・構築することとしました。 平成22年度中の実施目標(P)								
1 /-	1,LLL T 13							
財政は)と単ワー	・キング部会で研究しま	す。					
平月	成22年度	関リ組み内容(D)						
「財政改革ワーキング部会」を設置し、見直しに向け、負担金を多〈所管している課を対象に内容ヒアリングを行う とともに、すべての負担金について内容確認の調査を行った。								
取り	ク組みに	ついての成果(C)						
各担論	当で負担	望金の内容を確認し、そ	の必要は	生を改め	って検証することで事務	事業のi	改善が図	₫ら れる 。
平月	战22年度	を評価(所管)(C)		・非常		V	C 悪い	
	-X 1 /3	ентім (771 ш.) (с)		8 良い((計画どおり)		D 非常	宮に悪い
見直し	しに向け	た現状の内容把握等を	そ行った [:]	ものの、	実際に見直しまで進め	られなか) [、] った。	
取以	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)			
今後の見直しの具体的方針や検証制度の構築へつなげていくことが課題である。								
平历	成23年度	要中の実施目標(P)						
見直しの具体的方針及び検証制度の構築を進める。								
平局	 成22年度	を評価(行革担当)(C)			こ良い 計画どおり)		C 悪い D 非常	に悪い
	果評価に 検討に	ニ同じ。 あたっては、 期限を定め	って結論	を出す。	ように努めること。			

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	✓ C 悪い							
十/0.22千支計圖(本品去議)(C)	□ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い							
行革担当評価に同じ。									
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高〈評価する意見等)							
行革委員会個別意見(C)	□ 要改善(事業が遅れている、改善)	□ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)							
	☑ その他(上記に該当しない個別	意見)							
具体的意見·要望(A)									
検証する制度の構築とはなにか。例えように記載願いたい。	.ば5年おきに負担金を見直す場合のホ	剣証方法といったことか。詳細が分かる							

記	lΒ	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会
	忍日)	平成23年7月1日	平成23年	₹7月1日	平成23年7月22日	平成23年	₹8月1日	個別意見 有
取組	内容	「業務仕様書·業務執	行状況」	の点検	体制コード		2	2-3-2-1
所	管	財政課 契約	検査室		担当者·内線番号		百武 並	青之(内線322)
	H21	実施		H21	-		H21	-
取	H22		目	H22	-	成	H22	-
組 時	H23		標 数	H23	-	果 数	H23	
期	H24		値	H24	-	値	H24	
	後期 (単位:人、%、円など) (単位:人、%、円;							
平月	成21年度	取り組み内容(D)						
-								
平月	成22年度	性中の実施目標(P)						
			具体的な	検討を過	≝める中で、仕様書の₹	考え方の	統一化	を図る。
平月	成22年度	[取り組み内容(D)						
入札制	入札制度の一部改正は実施したが、委託業務の仕様書まで見直しができなかった。							
取!	組みに	ついての成果(C)						
なし								
平月	成22年度	野禰(所管)(C)		非常的			C 悪い	
				3 良い(計画どおり)	V	D 非常	だに悪い
取り組]みが行	われていない。						
取!	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)			
特にな	ĵl							
平月	成23年度	世中の実施目標(P)						
準備割	半成23年度中の実施自標(F) 準備契約·長期継続契約の事務の具体的な検討を進める中で、仕様書の考え方の統一化を図る。							
<u> </u>	世22年度			非常	こ良 _い		C 悪い	1
⊤1.	~~ <u>~</u>			8 良い((計画どおり)	>	D 非常	官に悪い
	果評価に 取り組 <i>る</i>	:同じ。 ⊁が遅れているため、¶	₹急な実	施を進め	かること 。			

┃ 平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
十成22千支計圖(本部去議)(C)	□ B 良い(計画どおり)	☑ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事業 □ 要改善(事業が遅れている、改業 □ その他(上記に該当しない個別	善が見られないことを指摘する意見等)
具体的意見·要望(A)		
・委託業務全体の仕様書を定めるとい ・業務執行状況の点検とは。 ・詳細が分かるよう記載願いたい。	うことか。	

記	\ B	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会
	忍日)	平成23年7月1日	平成23年	₹7月1日	平成23年7月22日	平成23年	₹8月1日	個別意見有
取組	内容	「経費の節減・業務の 討・実施	効率化」	の検	体制コード		2	2-3-2-2
所	管	財政課 契約検査室 担当者・内線番号 百武 道					青之(内線322)	
	H21			H21	-		H21	-
取	H22	検討·実施	目	H22	-	成	H22	-
組 時	H23		標 数	H23	-	果 数	H23	-
期	H24		値	H24	-	値	H24	-
後期 (単位:人、%、円など) (単位:人、%、円7								
平月	成21年度	取り組み内容(D)						
-								
平月	成22年度	怪中の実施目標(P)						
			算書の	考え方の	D統一化を図り、適正な	作品格設	定となる	ようにする。
平月	成22年度	と取り組み内容(D)						
入札制度の一部改正は実施したが、委託業務の積算書の考え方の統一化まで見直しができなかった。								
取り	組みに	ついての成果(C)						
なし								
平原	成22年度	[評価(所管)(C)		4 非常に 3 良い(こ良い :計画どおり)		C 悪い D 非常	\ ぎに悪い
取り組]みが行	われていない。					- " "	
取点	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)			
特にな	ï l							
平月	成23年度	臣中の実施目標(P)						
業務値	業務仕様書の検討を考える中で、積算書の考え方の統一化を図り、適正な価格設定となるようにする。							
<u> </u>	 廿22年 庠	[評価(行革担当)(C)		非常			C 悪い	
Τ.	~~ <u>~</u> ~~	:н і іщ (і J — ј= ⊐ <i>)</i> (С <i>)</i>		8 良い	(計画どおり)	>	D 非常	官に悪い
	果評価に 取り組る	:同じ。 ⊁が遅れているため、¶	₹急な実	施を進め	かること 。			

平成22年度評価(本部会議)(C)		A 非常に良い		C 悪N
十,以22,牛皮計圖(本即安議)(C)		B 良い(計画どおり)	▽	D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。				
行革委員会個別意見(C)		良好(先進的な取り組みや、事業 要改善(事業が遅れている、改業 その他(上記に該当しない個別)	善が見ら	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
具体的意見·要望(A)				
・具体的な委託業務の想定は。・詳細が分かるよう記載願いたい。				

記力	\ \ 日	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会	
	2日)	平成23年7月1日	平成23年	₹7月1日	平成23年7月19日	平成23年	₹8月1日	個別意見 有	
取組	内容	公用車必要台数の調	查		体制コード		2-3-3-1		
所	·管	財政課財務	务係		担当者·内線番号		長谷部	『俊一(323)	
	H21	調査		H21	-		H21	-	
取 組	H22		目標	H22	-	成	H22	2台移管	
曲時	H23		標 数	H23	-	果 数	H23		
期	H24		値	H24	-	値	H24		
	後期			(単	位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	取り組み内容(D)							
	公用車の稼働率(時間帯、時間等)を月別に調査した。 平成22年度中の実施目標(P)								
稼働፯	率の低い	1分散管理車両を、有効	加活用可	能な集団	中管理車両(総務課管	理) へ移	管。		
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
料につ	公用車の稼働率(時間帯、時間等)調査は総務課で継続して実施している。その調査内容をもとに公用車リース 料について当初予算査定を行った。								
取点	ク組みに	ついての成果(C)							
		N分散管理車両2台を、 ことからスムーズに公					へ移管し	た。また、使用状況が	
	#00 <i>/</i> F #			4 非常1	こ良い		C 悪い	1	
半 /:	以22年度	を評価(所管)(C)	☑ B 良い(計画どおり)			□ D 非常に悪い			
特にな	ൂ し								
取点	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)				
	各課の分散管理車両については、職員ポータル上で予約入力し、更に有効活用を図ることにより公用車の必要 台数を削減することは可能と思われる。これには各課職員の十分な理解が不可欠となる。								
平月	成23年度	関中の実施目標(P)							
公用耳	公用車の稼働率(時間帯、時間等)調査は総務課で継続して実施する。								
平F	成22年度	要評価(行革担当)(C)		非常			C 悪い		
1 /-	-~- I	CHI IM (13 7-13—1) (C)	✓ E	3 良い	(計画どおり)		D 非常	に悪い	
所管詞	果評価に	に同じ。							

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い						
十/0.22千支計圖(本即去議)(C)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い						
行革担当評価に同じ。								
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高〈評価する意見等)						
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)							
	□ その他(上記に該当しない個別	意見)						
具体的意見·要望(A)								
職員ポータルシステムなるものがあるより経費の削減が可能なものが見出tが必須)		€りや出張人員削減など、その活用に べき。(ただし、これも職員の意識改革						

記)	 \	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会
	(T++T) (T)			F7月1日	平成23年7月19日	平成23年8月1日		個別意見 有
取組内容 公用車リースと購入経 討・実施			費の比	較検	体制コード	2-3-3-2		
所管 財政課財務			 务係		担当者·内線番号		長谷音	『俊一(323)
	H21			H21	-		H21	-
取組	H22	検討·実施	目	H22	-	成	H22	-
	H23		標 数 _	H23	-	果 数	H23	
時 期	H24		値	H24	-	数 値	H24	
743	後期		Ĺ	(単1	位:人、%、円など)	-	(単	位:人、%、円など)
平原	成21年度	取り組み内容(D)						
-								
平方	成22年度	医中の実施目標(P)						
-								
平原	成22年度	取り組み内容(D)						
公用車の稼働率は総じて高く、メンテナンス等や経費の平準化についても考慮した。また、車両購入に対しての特定財源(補助金)は皆無である状況から、一部特殊車両を除いては車両リースを基本として予算査定にあたった。								
取り組みについての成果(C)								
2-3-3-1公用車必要台数の調査とあわせスムーズな予算査定に役立った。								
平局	成22年度	[評価(所管)(C)		・非常I 3 良い(こ良い 計画どおり)		C 悪い D 非常	に悪い
特になし								
取以	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)			
車両リースとすることにより、購入に比べて導入基準が甘くなることがないように、2-3-3-1公用車必要台数の調査とあわせて予算査定を実施していきたい。								
平月	成23年度	医中の実施目標(P)						
なし。(同様の方針で予算査定を実施)								
<u> </u>	ポ22年 産	要評価(行革担当)(C)		↓ 非常Ⅰ	• •		C 悪い	
干川	ルムムナルス	zn 叫(1) 千 3ピコ)(じ)	▼ E	8 良い((計画どおり)		D 非常	なに悪い
所管詞	果評価に	ーーーー に同じ。						

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
十/从22千支計圖(本即去議)(С)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高〈評価する意見等)
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改	善が見られないことを指摘する意見等)
	□ その他(上記に該当しない個別	意見)
具体的意見·要望(A)		
職員ポータルシステムなるものがあるより経費の削減が可能なものが見出tが必須)		€りや出張人員削減など、その活用に べき。(ただし、これも職員の意識改革

≐⊐ 1	\ \	担当者	6F E	星巨	行革担当	太	会議	行革委員会	
	<u> </u>		所属長 平成23年7月1日		平成23年7月11日	平成23年8月1日			
取組内容 パソコン必要台数等の				17711	体制コード	1 12020	2-3-3-3		
所	 ·管	政策推進課 情幸		室	和浩 502				
	H21	調査	X103F-C	H21	担当者·内線番号 -		H21	-	
取	H22		目	H22	-	成	H22	-	
組 時	H23		標 数	H23	-	果数	H23	-	
期	H24		値	H24	-	値	H24	-	
,,,,	後期		<u>i</u>	(単1	位:人、%、円など)	i.	(単1	位:人、%、円など)	
平月	平成21年度取り組み内容(D)								
現有管理PCの台数の把握を行った。 今後の退職等による職員の減員と機器更新期間との調整を行い、次年度の更新台数を決定した。									
平月	页22年度	医中の実施目標(P)							
22年度の更新台数をまとめ、予算化のもと機器更新を行う。									
平月	成22年度	と取り組み内容(D)							
リース終了に伴うパソコンの入替 170台 財務会計電子決裁システム導入に伴う施設(学校、保育園など)へのパソコン増設 60台									
取り組みについての成果(C)									
古いパソコンの入替により事務効率が向上した。 今までパソコンが不足していた施設へ追加配布ができた。									
77.5	七つつ年度	を評価(所管)(C)		非常	こ良い		C 悪い		
1 7.	以22415	を計1曲(<i>F</i>)(で)	V E	3 良い((計画どおり)		D 非常	に悪い	
必要な場所(人)に必要な台数を配布できた。									
取!	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)				
職員が減ることにより管理台数が減ると思っていたが、臨時職員の増加や端末が別に必要になるシステムが追加になることにより、あまり減っていない。									
平月	平成23年度中の実施目標(P)								
引き続き、必要台数を調査しながら毎年の入替台数に反映させていく。									
平月		を評価(行革担当)(C)		・非常1 3 良い(こ良い 計画どおり)		C 悪い D 非常	に悪い	
所管語	果評価に	に同じ。							

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い					
十八人22十及計画(本品云磁)(C)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い					
行革担当評価に同じ。							
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高〈評価する意見等)					
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善)	善が見られないことを指摘する意見等)					
	□ その他(上記に該当しない個別	意見)					
具体的意見·要望(A)							
	端末となるマシンを法的に別々にする! :・導入できるかどうかを、市として独自 \も検証する必要があるし、マシンのス	に検証するのが先ではないか。臨時					

記	λ 🗆	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会	
	(TEET O		平成23年6月15日		平成23年7月11日		₹8月1日	個別意見 無	
取組	l内容	村上海水場の句括した民間を			民間委託の 体制コード		2-3-4-1		
所	管	水道局 管理	業務室		担当者·内線番号				
	H21	検討		H21	-		H21	-	
取	H22	実施	目	H22	-	成	H22	-	
組 時	H23		標 数	H23	-	果数	H23		
期	H24		値	H24	-	値	H24		
	後期			(単	位:人、%、円など)		(単1	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	取り組み内容(D)							
平成22年度運転開始する新村上浄水場の運転管理、施設監視及び維持管理業務を包括して1社に委託することとし、債務負担行為により指名競争入札、業者選定を行った。									
平月	成22年度	医中の実施目標(P)							
村上浄水場の包括的委託は継続し、他施設において実施可能か検討する。									
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
村上浄水場の包括的業務委託を単年度の委託期間で実施した。 平成23年度の長期継続契約に向け、債務負担行為により指名競争入札、業者選定を行った。									
取り組みについての成果(C)									
管理業務等を包括的に1社に委託することにより責任の明確化、緊急時の即時対応が図られている。 施設管理職員の負担軽減が図られた。									
亚	式22年度	を評価(所管)(C)		非常	こ良い		C 悪い	١	
+1.	JX. Z. Z. + IS	2計(M) 目 / (C)	<u>-</u>	3 良い	(計画どおり)		D 非常	だに悪い	
委託業者の責任の明確化、施設管理職員の負担軽減が図られている。 長期継続契約への移行により、長期的に安定的な契約ができることから、事務の簡素化、効率化が図られ、また、入札の競争性の向上により契約金額の抑制が図られた。									
取!	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)				
特になし									
平月	成23年度	関中の実施目標(P)							
期継続	契約へ、	水道施設15箇所の施 また指名競争入札の またついて、直営で管理	実施に向	付て研	究、協議していく。			委託してきているが、長 ・引き続き検討してい	
37 5	ポクク年 柱	要評価(行革担当)(C)		非常1	こ良い		C 悪い	1	
T1.	·&とと 十 IS	cm (1 十]ニコ / (C)	V E	8 良い	(計画どおり)		D 非常	官に悪い	

所管課評価に同じ。 なお「他地区の施設について、直営で管理しているところもあることから、アウトソーシング可能か引き続き検討」 は、期限を定めて検討を行うよう努ること。

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
十成22千度計劃(本部去議)(()	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事: □ 要改善(事業が遅れている、改: □ その他(上記に該当しない個別	善が見られないことを指摘する意見等)
 具体的意見·要望(A)		感光)
	度に向けての要望がある場合に記載)	

記入日		担当者	所属長		行革担当	本部	本部会議行革委員		.会
(確認日) 平成23年6月15日		平成23年6月15日		平成23年7月11日	平成23年8月1日 個別意		個別意見	無	
取組内容 効率的な業務委託の		検討·実	施	体制コード		2	2-3-4-2		
所	管	水道局 管理	業務室		担当者·内線番号		三鉛	₿正人 · 231	
	H21	検討·実施		H21	1.0%		H21	1.6%	
取	H22		目	H22	2.0%	成	H22	2.0%	
組時	H23		標数	H23	3.0%	果 数	H23		
期	H24		値	H24	4.0%	値	H24		
	後期			委託	料縮減の数値目標		委託	料縮減の数値	目標
平月	成21年度	取り組み内容(D)							
平成23年度の機構改革に向けた本庁、支所の業務量の検討を行った際に、同一業務の集中一括発注の検討を 行った。神林地区において、これまで職員が直営で行ってきた簡水施設の保守点検業務を効率的な民間委託を実 施した。									
平月	成22年度	医中の実施目標(P)							
引き紙	引き続き効率的な業務委託を検討・実施する。								
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
平成23年度の機構改革に向けて本庁、支所の業務整理を行った。支所職員の業務負担軽減を図るために支所 業務の内、契約業務等について本庁に集約することとした。 今年度は、平成23年度の契約に向け、準備を行った。 同一業務の平成23年度本庁集中一括発注に向けて準備を行った。									
取り組みについての成果(C)									
平成23年度当初の煩雑な契約業務を本庁に集約したため、支所職員の業務負担軽減となっている。									
平成2	23年度当	4初の煩雑な契約業務	を本庁に	二集約し7	たため、支所職員の業	務負担輔	経減となっ	っている。	
					たため、支所職員の業 こ良い	務負担輔	経減とな [。] C 悪い		
		4初の煩雑な契約業務 ほ評価(所管)(C)		非常		務負担		<u> </u>	
平月	成22年度			4 非常1 3 良い(こ良い 計画どおり)		C 悪い D 非常	<u> </u>	
平縣	成22年度 委託を本	ま評価(所管)(C)	□ /	A 非常1 3 良い(の負担軽	こ良い 計画どおり) 経減と業務委託の効率・		C 悪い D 非常	<u> </u>	
平所 業務。 取「 支所」 担当し	成22年度 委託を本 〕組みに こおりて	延評価(所管)(C) 京庁に集約することで支	□ / I	A 非常I B 良い(の負担軽 i点など) 課建設領 B見直し	こ良い 計画どおり) 経減と業務委託の効率 (A) 管理室職員は、水道業 の同一歩調を取ってい	□ □ 化が図 ² 務のほ;	C 悪い D 非常 られた。	に悪い	
業務を取りを対しています。	成22年度 委託を本)組みに こおり、 けた支所	(で)	□ / I	A 非常I B 良い(の負担軽 i点など) 課建設領 B見直し	こ良い 計画どおり) 経減と業務委託の効率 (A) 管理室職員は、水道業 の同一歩調を取ってい	□ □ 化が図 ² 務のほ;	C 悪い D 非常 られた。	に悪い	
平 業務 取り 支当に 平 約 契約	成22年度 委託を本 り組みいり、支 成23年度 成23年度	を評価(所管)(C) で (C) で (C) の	田・反省 田・反省 を行い、	A 非常I B 良い(の負担軽 (点など) 課建設(まで) まで) まで) まで)	こ良い 計画どおり) 経減と業務委託の効率 (A) 管理室職員は、水道業 の同一歩調を取っていた と思う。	□ □ 化が図ら 務のほ; ただけれ	C 悪い D 非常 れた。 かにず、近に 検討して	が で悪い な道業務、建設 い将来の支所3	5人体
平野業務を関し、対象を対し、対象を対し、対象を対し、対象を対し、対象を対し、対象を対し、対象を対し、対象を対し、対象を対し、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	成22年度委託を本り組みいて、対応では、対応では、対応では、対応では、対応では、対応では、対応では、対応では	を評価(所管)(C) 「庁に集約することで支 ついての感想(成功理 水道業務を担当する選下水、建設部門において 所業務負担の軽減が一 を中の実施目標(P) 「「集約について検証を に至るまでの料金に関	田・反省 田・反省 を行い、 はずる一	A 非常 I B 良い (の の負担軸 (点など) 説課建直して でいける 引き続業 A 非常 I	こ良い 計画どおり) 経減と業務委託の効率・ (A) 管理室職員は、水道業 か同一歩調を取っていた と思う。 ・効率的な業務委託のを 務を包括的に委託してい	□ □ 化が図ら 務のほ; ただけれ	C 悪い D 非常 かれた。 かに、 がば、近い 検討して の の た。	に悪い ば業務、建設 い将来の支所3	5人体
平野業務を関し、対象を対し、対象を対し、対象を対し、対象を対し、対象を対し、対象を対し、対象を対し、対象を対し、対象を対し、対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	成22年度委託を本り組みいて、対応では、対応では、対応では、対応では、対応では、対応では、対応では、対応では	を評価(所管)(C) 「庁に集約することで支 ついての感想(成功理 水道業務を担当する選 下水、建設部門において 所業務負担の軽減が一 関中の実施目標(P)	田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	A 非常 I B 良い (の の負担軸 (点など) 説課建直して でいける 引き続業 A 非常 I	こ良い 計画どおり) 経減と業務委託の効率・ (A) 管理室職員は、水道業の同一歩調を取っていたと思う。 ・効率的な業務委託のである。	□ □ 化が図ら 務のほ; ただけれ	C 悪い D 非常 られた。 かに、下 がは、近い 検討して 順の先進	に悪い ば業務、建設 い将来の支所3	5人体

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
十成22千度計劃(本部去議)(()	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事: □ 要改善(事業が遅れている、改: □ その他(上記に該当しない個別	善が見られないことを指摘する意見等)
 具体的意見·要望(A)		感光)
	度に向けての要望がある場合に記載)	

li/.								
取組内容 産業等活性化支援補助制度の創設 体制コード 2-3-5-1 所管 商工観光課商工振興係 担当者・内線番号 本間研二(内線353) H21								
所管 商工観光課商工振興係 担当者・内線番号 本間研二(内線353) H21	月							
H21 創設・実施								
取組時期 H22 H23 H24 H24								
組 時期								
時期 H24 数値 H24 数値 H24 数値 H24 大物(単位:人、%、円など) 数値 H24 平成21年度取り組み内容(D) 産業見本市等出展事業費補助金 1件 82千円、商店街賑わい創出支援事業 1件 300千円産業人材育成支援事業 3件 100円千円3件の内訳 村上商工会議所(5企業6人)、荒川商工会(1企業2人)、神林商工会(1企業2人) 平成22年度中の実施目標(P) 平成22年度中の実施目標(P) 平成22年度事業の補助対象事業の認定審査は終了している。引き続き、補助制度(平成23年度事業)をPFいく。								
期 H24 値 H24 ー 値 H24 (単位:人、%、円など) 平成21年度取り組み内容(D) 産業見本市等出展事業費補助金 1件 82千円、商店街賑わい創出支援事業 1件 300千円産業人材育成支援事業 3件 100円千円3件の内訳 村上商工会議所(5企業6人)、荒川商工会(1企業2人)、神林商工会(1企業2人)平成22年度中の実施目標(P) 平成22年度事業の補助対象事業の認定審査は終了している。引き続き、補助制度(平成23年度事業)をPFいく。								
平成21年度取り組み内容(D) 産業見本市等出展事業費補助金 1件 82千円、商店街賑わい創出支援事業 1件 300千円 産業人材育成支援事業 3件 100円千円 3件の内訳 村上商工会議所(5企業6人)、荒川商工会(1企業2人)、神林商工会(1企業2人) 平成22年度中の実施目標(P) 平成22年度事業の補助対象事業の認定審査は終了している。引き続き、補助制度(平成23年度事業)をPFいく。								
産業見本市等出展事業費補助金 1件 82千円、商店街賑わい創出支援事業 1件 300千円 産業人材育成支援事業 3件 100円千円 3件の内訳 村上商工会議所(5企業6人)、荒川商工会(1企業2人)、神林商工会(1企業2人) 平成22年度中の実施目標(P) 平成22年度事業の補助対象事業の認定審査は終了している。引き続き、補助制度(平成23年度事業)をPFいく。	ど)							
産業人材育成支援事業 3件 100円千円 3件の内訳 村上商工会議所(5企業6人)、荒川商工会(1企業2人)、神林商工会(1企業2人) 平成22年度中の実施目標(P) 平成22年度事業の補助対象事業の認定審査は終了している。引き続き、補助制度(平成23年度事業)をPFいく。								
平成22年度事業の補助対象事業の認定審査は終了している。引き続き、補助制度(平成23年度事業)をPFいく。	産業人材育成支援事業 3件 100円千円 3件の内訳 村上商工会議所(5企業6人)、荒川商工会(1企業2人)、神林商工会(1企業2人)							
li/o								
亚产00万亩四0707,中京7D)	平成22年度事業の補助対象事業の認定審査は終了している。引き続き、補助制度(平成23年度事業)をPRしている。							
平成22年度取り組み内容(D)								
·産業見本市等出展事業費補助金2件142千円 ·産業元気づくり事業補助金3件176千円 ·商店街賑わい創出支援事業1件300千円 ·産業人材育成支援事業1件60千円(村上3企業6人)								
取り組みについての成果(C)								
·新たに産業元気づくり事業(新商品開発)への取り組みが3件と増えた。 ·産業見本市等出展事業や産業人材育成事業を活用する事業所が増えてきた。								
平成22年度評価(所管)(C) □ A 非常に良い □ C 悪い ☑ B 良い(計画どおり) □ D 非常に悪い								
・実施2箇年目として、申請する事業所増えてきた。 ・産業元気づくり事業において、新商品開発されたものが実際店頭に並んでいる。								
取り組みについての感想(成功理由·反省点など)(A)								
従来、申請期限を10月末にしていたが、要綱改正により、特別な事情な場合であれば年度末までの受付を可にしたことで、より活用しやすい補助制度となった。								
平成23年度中の実施目標(P)								
平成23年度事業の補助対象事業の認定審査は終了している。引き続き、補助制度(平成24年度事業)をPFいく。なおより使いやすい補助制度として要綱改正等も視野に入れて進めていく。	≀して							
平成22年度評価(行革担当)(C)								
+/// → P 良い(計画どおり) □ D 非常に悪い								

所管課評価に同じ。 「より使いやすい補助制度として要綱改正等も視野に入れて進めていく」とあるが、その際には、これまでの効果・ 実績を十分検証し、安易な改正とならないよう留意すること。

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い					
十/0.22年及計圖(本品去議)(C)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い					
行革担当評価に同じ。							
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高〈評価する意見等)					
行革委員会個別意見(C)	□ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)						
	☑ その他(上記に該当しない個別	意見)					
具体的意見·要望(A)							
	をにはいろいろあるが、対象が中小零約る限り短期間であることも、非常に有意としてほしい。						

記	 \日	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会
	(T++T) (T)			6月20日	平成23年7月13日	平成23年8月1日		個別意見有
取組内容 地域づくり支援補助制			度の創設		体制コード		2-3-5-2	
所管 自治振興課 自			治振興	 室	担当者·内線番号		佐藤	憲昭(331)
	H21			H21	-		H21	-
取	H22	創設·実施	目	H22	-	成	H22	-
組 時	H23		標 数	H23	-	果 数	H23	
期	H24		値	H24	-	値	H24	
	後期			(単1	位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)
平月	成21年度	と取り組み内容(D)						
- 平成22年度中の実施目標(P)								
平方	以22年長	を中の美加日信(ア)						
自治抗	辰興室に	おいて検討していく。						
平月	成22年度	と取り組み内容(D)						
・平成24年度から交付する「まちづくり交付金」に包含することで見直しを行った。								
取!	取り組みについての成果(C)							
・補助金制度そのものの変更								
亚月	ポクク年度	を評価(所管)(C)			こ良い		C 悪い	
1 /-	<i>1</i> ,,∠∠ + 1,3,		✓ E	3 良い((計画どおり)		D 非常	に悪い
・提案(公募)型補助金制度の必要性はあると考えるが、今後の少子高齢化や地域コミュニティの育成を考えた場合、地域の特色を生かし切る交付金としての考え方がよりベターであるとの認識に立ち包含したものである。また、 実施年度については、地域まちづくり組織の設置について1年後としたため、結果として1年延びた。								
取!	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)			
・公金としての活用を考えた場合、一生懸命事業を行うところとそうでないところも、一括交付する交付金はいかがなものかと異論もあった。しかし、あくまでも交付金は、地域活性化の種火であり、事業費すべてをまかなうことを想定したものではない。今後とも市担当職員が地元を誘導したり、協働の意味を周知したりして地域住民が主役のまちづくりを行っていけると考えている。								
平月	成23年度	医中の実施目標(P)						
・特になし								
亚F	 戊22年度	要評価(行革担当)(C)		非常			C 悪い	
1 /-	~- <u>-</u> -TIS	EHIIM(I] →J==]/(C)	✓ E	8 良い	(計画どおり)		D 非常	はに悪い
゙゚まち	づくり交	付金」に包含すると判断	折したとい	ハうことな	こので、所管課の評価の	のとおり、	B評価。	とした。

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
十成22千支計圖(本部去議)(C)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事員 □ 要改善(事業が遅れている、改善 □ その他(上記に該当しない個別	善が見られないことを指摘する意見等)
具体的意見·要望(A)		
まちづくり交付金の活用結果とその取 につながるのではないでしょうか。	り組み内容を一覧表示した結果コンテ	ストを市民に配布してみるのも活性化

記)	\	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会
	2日)	平成23年6月14日	平成23年	6月20日	平成23年7月13日	平成23年	₹8月1日	個別意見 有
取組	内容	地域コミュニティ活動取 創設	加成金制	度の	体制コード		2	2-3-5-3
所	管	自治振興課 自	治振興	室	担当者·内線番号		佐藤	憲昭(331)
	H21			H21	-		H21	-
取 組	H22	創設	目標	H22	1	成田	H22	-
時	H23	実施	数	H23	-	果数値	H23	
期	H24		値	H24	-	値	H24	
	後期			(単1	位:人、%、円など)		(単1	位:人、%、円など)
平历	成21年度	取り組み内容(D)						
- 平6	成22年度	を中の実施目標(P)						
自治排	長興室に	おいて検討していく。						
平月	成22年度	取り組み内容(D)						
·助成金	・助成金から地域住民が自由な発想で自由に活用できる交付金として再検討を行った。							
取り	組みに	ついての成果(C)						
		の意見を取り入れなか けでな〈、生活不便地域						については、人口や
平月	成22年度	[評価(所管)(C)		+ 非常			C 悪い	
				3 良い	(計画どおり)	Ш	D 非常	だに悪い
成23年	3月28日	いては、市民協働のま に「村上市地域まちづ に関する施行日は平成	くり組織	及び地域	域まちづくり交付金の多			
取以	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)			
	・当初計画では平成23年度からの実施で計画したが、村上地区の分館制度廃止に伴う分館長等の任期の理由等により、1年実施を延長したものである。結果的に、地域住民の不安の解消に繋がったものと思われる。							
平原	平成23年度中の実施目標(P)							
·交付金	金の使用	については、公金の性	格を鑑る	みガイド	ラインを策定し、均衡を	5る交付:	金の利用	月の促進に寄与する。
平反	成22年度	[評価(行革担当)(C)		A 非常1 3 良い(こ良い (計画どおり)		C 悪い D 非常	に悪い
)実施が遅れた点でいえ か進まなかった経緯か)「地域₹	まちづくり)組織」の設立に向け

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
十成22千度計劃(本部去議)(()	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事業 □ 要改善(事業が遅れている、改善 □ その他(上記に該当しない個別	善が見られないことを指摘する意見等)
具体的意見·要望(A)		
重要課題とあげる割には、遅々として	いる感が拭えない。	

		le vi da	5		/= 	1 40	4 144	
	八 日、	担当者		属長	行革担当	本部		行革委員会
(加生市	忍日)	平成23年6月29日	平成23年	₹7月1日	平成23年7月22日	平成23 ^年	₹8月1日	個別意見有
取組	内容	「接遇マニュアル」の作	成		体制コード		3	3-1-1-1
所	管	総務課人	事係		担当者·内線番号		太田	日秀哉·318
	H21	実施		H21	-	_15	H21	-
取 組	H22		目標	H22	-	成	H22	-
時	H23		数	H23	-	果 数	H23	-
期	H24		値	H24	-	値	H24	
	後期			(単	位:人、%、円など)		(単1	位:人、%、円など)
平月	成21年度	取り組み内容(D)						
平成2 り組みI	21年9月1	に市民窓口サービス推 協議している。 この会詞	進会議 義の中で	(事務局ご接遇マ	:市民課)が設置され、 ニュアルについても併っ	市民窓にせて作成	コサービ はすること	゚スの向上に向けた取 :を計画している。
平月	成22年度	医中の実施目標(P)						
市民深	窓口サー	・ビス推進会議にて計画	画されて	いる接近	喝マニュアル作成の 具理	見化を図	る。	
平月	成22年度	取り組み内容(D)						
年度征	年度後半に予定していたが、突発業務(震災関連)により実施できず							
Ħ∇ι	組みに	 ついての成果(C)						
未実施	色のため	成果等なし		<u>, -1⊢ ≻</u> ±4, ı	- -		C = 1.1	
平月	成22年度	[評価(所管)(C)		A 非常I B 良い(こ良い (計画どおり)		C 悪い D 非常	<u>)</u> ぎに悪い
	他のため		1			1		
取!	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	i点など)	(A)			
る。					てきていることから、接:			
合職エ	易にめい	(官埋職の官埋のト	こ必要は	じノトハイ	(スをすることや、自己を	妌鎖によ	リカハ -	-していくものと思う。
平月	成23年度	臣中の実施目標(P)						
次回到	次回実施時期を再検討							
377	ポクク年 竜	[評価(行革担当)(C)		非常	こ良い		C 悪い	
+ /:	以44十岁	▗▄▘▗▄▘▗▄▗▗▗▗		3 良い	(計画どおり)	>	D 非常	に悪い
所管詞	果評価に	:同じ。						

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い				
十成22千度計劃(本部云議)(()	□ B 良い(計画どおり)	✓ D 非常に悪い				
 行革担当評価に同じ。						
	□ 良好(先進的な取り組みや、事業	業内容を高〈評価する意見等)				
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等					
	□ その他(上記に該当しない個別意見)					
具体的意見·要望(A)						
		·				

- ・市職員は、サービス業に従事しているという意識が欠如しているのではないだろうか。
- ・最低限窓口で市民に接する機会のある職員には外部研修を受講する必要があるのではないか。
- ・接遇マニュアルが必要かどうかはともかく、現在の本庁職員の接遇のあり方を疑問視する意見が多いことは、従来実施の研修では不十分だという裏返しではないか。なぜ行革の取り組み項目に一項目起こして出てきているのかということも考慮のうえ、対策を講じてほしい。
- ・急激に職員数が減少していく中、その意識改革と職員の能力向上の対策は急ぐべき課題ではないか。接遇アンケートについては、実施している期間中の周知も、精度向上に寄与するのではないか。
- ・行政職員としての自覚に問題がある取り組みとなっており、住民サービスの目線が不足しているように感じる。

記	\ B	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会
	2日)	平成23年6月29日	平成23年	₹7月1日	平成23年7月22日	平成23年	₹8月1日	個別意見 有
取組	内容	役職に応じた職員研修	8の実施	į	体制コード		3	3-1-1-2
所	·管	 総務課人事	事係		担当者·内線番号		太田	 日秀哉⋅318
	H21	検討		H21	-		H21	-
取	H22	実施	目	H22	-	成	H22	-
組 時	H23		標 数	H23	-	果数	H23	-
期	H24		値	H24	-	値	H24	
	後期			(単1	位:人、%、円など)	ļ.	(単1	位:人、%、円など)
平月	成21年度	取り組み内容(D)						
		総合事務組合が主催す 医中の実施目標(P)	る階層別	川研修を	主に職員を受講させた	. 0		
		今後も受講させる。						
平月	成22年度	と取り組み内容(D)						
予定と	どおり研	修受講させた						
取点	組みに	ついての成果(C)						
研修引	受講によ	り、職員個人のスキル	アップか	図られ、	業務遂行に反映される	ているも	のと思れ	つれる
平月	成22年度	[評価(所管)(C)		A 非常I B 良い(こ良い (計画どおり)		C 悪い D 非常) に悪い
計画と	どおりで	あることから						
取点	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)			
合併前	合併前の各市町村の考え方により受講対象者の年齢等にバラつきがある。							
平月	平成23年度中の実施目標(P)							
前年同様、階層別研修の受講により対応								
亚		要評価(行革担当)(C)		↓ 非常Ⅰ			C 悪い	
T1.	~~ <u>~</u> ~	си і іщ (і J Т ј= ⊐ <i>)</i> (С <i>)</i>	V	8 良い	(計画どおり)		D 非常	に悪い
	果評価に 、合併し		こめには	計画以.	上の実施の検討も必要	<u> </u>		

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い						
十/从22十/支叶间(本印云硪)(飞)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い						
行革担当評価に同じ。								
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高〈評価する意見等)						
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)							
	□ その他(上記に該当しない個別	意見)						
具体的意見·要望(A)								
ケートについては、実施している期間に	D意識改革と職員の能力向上の対策は 中の周知も、精度向上に寄与するので 取り組みとなっており、住民サービスの	はないか。						

記力	\ \ 日	担当者	所属	 属長	行革担当	本部	会議	行革委員会	
	2日)	平成23年6月29日	平成23年	₹7月1日	平成23年7月22日	平成23年	₹8月1日	個別意見有	
取組	内容	民間企業等、外部研修	影制度の	検討	体制コード		3	3-1-1-3	
所	·管	総務課人	事係		担当者·内線番号		太田	日秀哉·318	
	H21	検討		H21	-		H21	-	
取	H22	結論	目	H22	-	成	H22	-	
組 時	H23		標 数	H23	•	果 数 値	H23	-	
期	H24		値	H24	-	値	H24		
	後期			(単	位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	取り組み内容(D)							
- 平5	- 平成22年度中の実施目標(P)								
作成	予定とし	ている「接遇マニュアル	小の内容	字をふま.	え検討する。				
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
「接遇	「接遇マニュアル」の作成にまで至らなかったことから実取組なし								
取り	組みに	ついての成果(C)							
未実施	施である	ことから成果なし							
亚月	ポクク年度	を評価(所管)(C)		非常			C 悪い		
1 /-	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			3 良い	(計画どおり)	V	D 非常	に悪い	
計画に	こ対し未	実施であるため							
取点	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)				
	800人超の職員数で、複数の職種が存在する中で、どの職場のどのような職員が外部研修を受け、どのような効果をもたらすのか不明瞭な状態での検討はいかがなものかと感じる								
平月	成23年度	医中の実施目標(P)							
現状と	現状とこれからの職員数の動向等をふまえ、当面の間実施しないという方向で検討する								
<u> </u>	ポクク年 E	要評価(行革担当)(C)		非常	こ良い		C 悪い	\	
十八	ルムムナル	(ロ)		3 良い	(計画どおり)	>	D 非常	は悪い	
		「のとおり、D評価とした 能力向上、意識改革と		付けて	いるものであることを踏	まえて村	検討する	こと。	

┃ 平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に	良い		C 悪い		
十成22年及計圖(本部安議)(C)	□ B 良い(言	十画どおり)	১	D 非常に悪い		
 行革担当評価に同じ。						
1]手担当計画に同じ。						
	□ 良好(先進	的な取り組みや、事業	業内容を	高〈評価する意見等)		
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等					
	□ その他(上	記に該当しない個別	意見)			
具体的意見·要望(A)						

- ・市職員は、サービス業に従事しているという意識が欠如しているのではないだろうか。
- ・最低限窓口で市民に接する機会のある職員には外部研修を受講する必要があるのではないか。
- ・「外部研修制度」の目的意義は何なのかをしっかり見極め、本当に必要か否かを検討すればよいと思う。 職員数の動向はあまり考える必要はないと思う。
- ・急激に職員数が減少してい〈中、その意識改革と職員の能力向上の対策は急ぐべき課題ではないか。接遇アン ケートについては、実施している期間中の周知も、精度向上に寄与するのではないか。
- ・行政職員としての自覚に問題がある取り組みとなっており、住民サービスの目線が不足しているように感じる。

記	\日	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会
	忍日)	平成23年6月29日	平成23年	₹7月1日	平成23年7月22日	平成23年	₹8月1日	個別意見 有
取組	内容	接遇に対しての職員の 施	自己評	価の実	体制コード		3	3-1-1-4
所	管	総務課人	事係		担当者·内線番号		太田	日秀哉·318
	H21			H21	-		H21	-
取	H22	実施	目	H22	-	成	H22	-
組 時	H23		目標数:	H23	-	成 果 数 値	H23	
期	H24		値	H24	-	値	H24	
	後期			(単1	位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)
平月	成21年度	取り組み内容(D)						
-	D 4							
平月	及22年度	医中の実施目標(P)						
		ている「接遇マニュアル	小に基つ	ぎ、平原	艾23年度に実施する 。			
平月	成22年度	取り組み内容(D)						
特にな	特になし							
取!	組みに	ついての成果(C)						
未実施	色のため	成果なし						
77.5	せっっケ 庄	京本(転答)(C)		非常	こ良い		C 悪い	l
'' /:	以22平层	[評価(所管)(C)		8 良い((計画どおり)	V	D 非常	に悪い
計画に	こ対して	未実施のため						
取点	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)			
未実施	他のため	特になし						
平月	成23年度	医中の実施目標(P)						
「接遇	「接遇マニュアル」作成にまで至らなかったことから、未定である							
亚	 ポ22年 庄	[評価(行革担当)(C)			• •		C 悪い	
1 7.	~~~~ TS	си г іщ (г л — л= =1 / (С /		8 良い((計画どおり)	✓	D 非常	に悪い
所管詞	果の評価	iのとおり、D評価とした	0					

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い							
十成22年及計劃(本部去議)(()	□ B 良い(計画どおり)	☑ D 非常に悪い							
行革担当評価に同じ。									
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高〈評価する意見等)							
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)								
	□ その他(上記に該当しない個別	意見)							
具体的意見·要望(A)									
ケートについては、実施している期間に	D意識改革と職員の能力向上の対策は 中の周知も、精度向上に寄与するので 取り組みとなっており、住民サービスの	はないか。							

47		+D \// +/	CC E	=	/= tt +n.\/	→ ÷0	'∧ '	/-++ -
	入日 勿口 \	担当者		属長	行革担当		会議	行革委員会
(17注点	忍日)	1 772-0 1 7 7 3 7 1		¥7月1日	平成23年7月22日	平成23年	₹8月1日	個別意見有
取組	内容	接遇に対しての市民ア 施	クンケー	トの実	体制コード	3-1-1-5		
所	管	総務課 総務・危	機管理	室	担当者·内線番号		川村勇	治(内線313)
	H21			H21	-		H21	-
取	H22		目	H22	-	成	H22	96%
組 時	H23	実施	標 数	H23	80%	果数	H23	
期	H24		値	H24	-	値	H24	
241	後期				<u></u>			アンケート目標
平月		取り組み内容(D)			7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	<u> </u>		7 7 7 100
		・ビス推進会議(事務局 医中の実施目標(P)	∵市民談	果)におい	1て平成22年度中に実	施予定。		
市民の	の求める	窓口サービスについて	、アンク	「一トを写	尾施し、サービス向上に	向けた	協議を進	きめることとした。
平月	成22年度	取り組み内容(D)						
ケートを	市民窓口サービス推進会議(事務局:市民課)において、5/17~6/11までの4週間、本庁及び各支所窓口でアンケートを実施した。 取り組みについての成果(C)							
アンケ	「一トにこ	ついては窓口において	劦力でき	る方ので	みお願いした。(回答者	*数 367	人(うち	白紙回答 14人)
亚目	ポクク年 度	[評価(所管)(C)		非常	こ良い		C 悪い	
Τ/.	, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>		E S	☑ B 良い(計画どおり)		□ D 非常に悪い		
		できたことは非常によれ も果に偏っているのでは				ぎきる方の	のみお願	fi いしたため、回答内容
取!	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)			
	アンケート結果を受けて市民窓口サービス推進会議から提案要望事項を提出されたが、市民窓口サービス推進会議が要望を取りまとめるだけとなってしまい、窓口サービス向上の中心となるような会議とはならなかった。							
平月	成23年度	怪中の実施目標(P)						
				4 非常(<u>こ</u> 良い		C 悪い	
平月	成22年度	[評価(行革担当)(C)			<u>(</u> 計画どおり)			' に悪い
前倒し	で実施	したということで、B評値	<u>ー</u> 西とした。		れば 何のためにマン	<u> </u>		

ただし、アンケートの結果を協議し反映していかなければ、何のためにアンケートを取ったか分からないので、協力していただいた市民のためにも窓口サービスの向上につながるような取り組みを行うこと。 なお、取りまとめたアンケートの結果については、市民のアンケートに対する意識を深める意味から公表を行って

いくよう努めること。

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い						
十成22千皮叶间(本即安娥)(飞)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い						
行革担当評価に同じ。 								
	□ 良好(先進的な取り組みや、事業	業内容を高〈評価する意見等)						
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)							
	☑ その他(上記に該当しない個別意見)							
具体的意見·要望(A)								
 ・22年度評価(行革担当)でよいと思う								
・急激に職員数が減少していく中、その意識改革と職員の能力向上の対策は急ぐべき課題ではないか。接遇アン								
ケートについては、実施している期間に	中の周知も、精度向上に寄与するので	はないか。						
・行政職員としての自覚に問題がある取り組みとなっており、住民サービスの目線が不足しているように感じる。								

記入日 (確認日)		担当者	担当者 所属長		行革担当	本部会議		行革委員会	
		平成23年6月20日 平成23年6月2		₹6月28日	平成23年7月13日	平成23年8月1日		個別意見有	
取組内容		「ワンストップサービス」の実現			体制コード		3-1-2-1		
所	所管 市民課 市民年金室		年金室		担当者·内線番号		伊与部久子 291		
	H21	検討		H21	•		H21	-	
取	H22		目標	H22	•	成	H22	-	
組時	H23	実施	数	H23	•	果 数 値	H23		
期	H24		値	H24	•	値	H24		
			位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)			
平月	平成21年度取り組み内容(D)								

平成21年9月に「窓口サービス推進会議」を設立し、市民の側に立った窓口サービスのあり方を、課の配置状況案内板の表示など、それぞれの意見を集約した。新年度においても引き続き実施する。

平成22年度中の実施目標(P)

市民アンケートを実施して市民の要望を反映させたい。

「窓口サービスアンケート」の実施。集計。あるべき窓口サービスについての方向性を検討。

平成22年度取り組み内容(D)

昨年度同様、『窓口サービス推進会議』で検討を続け、その中で窓口サービスに対する市民の要望を聞き取るため にアンケートを実施した。

アンケートの結果を受け、本庁はスペースに余裕がないため、職員が書類を持って次の窓口に案内することと、2階以外の担当課職員は市民課に呼ぶことによりお客様に負担を掛けない窓口サービスを実施した。支所においてはH23組織再編で比較的スペースに余裕ができるため、カウンターの一部を利用したワンストップサービスへの対応を行った。

取り組みについての成果(C)

窓口サービスアンケートの実施により、市民の求める窓口サービスのあり方が見えてきた。

本庁では職員が先に立ってご案内することと2階以外の担当課職員は市民課に呼ぶことによりお客様に負担感を 持たれないようにした。 支所ではワンストップサービスへの対応により、職員が動くことでお客様の負担軽減に努める

また、高齢者や体の不自由な方には、カウンターでなくとも待合椅子でも受付するなど気配りをした。

平成22年度評価(所管)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
平成22年度評価(所官)(C)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い

市民の求める窓口サービスのあり方が見えてきたことにより、改善すべきことがわかってきた。

その結果、お客様に積極的に声掛けして用件を聞きだし、早〈目的の窓口にご案内し、用件が間違いな〈果たせる ようにサポートすることができた。

取り組みについての感想(成功理由·反省点など)(A)

窓口担当者が一丸となってこの窓口アンケートの実施結果を踏まえた対応に取り組んだこと。

毎月定例の打ち合わせ会議を行い、新しい知識の習得や、情報共有を図ることにより職員の資質向上に努めたこと。

平成23年度中の実施目標(P)

_支所はワンストップサービスを実行するとともに、組織再編に伴い戸籍住基の窓口で簡易な税務証明も発行してい _

本庁はスペース確保が困難であるため、引き続き職員が書類を持ってお客様を案内して歩く方法で負担感を持たれないようにしていく。

職員の研修に努め、お客様の満足度向上に努める。

 平成22年度評価(行革担当)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
十成22千度計圖(1] 丰宣当)(0)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
所管課評価に同じ。		
平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い □ B 良い(計画どおり)	□ C 悪い □ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)		喜が見られないことを指摘する意見等)
	☑ その他(上記に該当しない個別)	<u>意見)</u>
具体的意見·要望(A)		
度の訪庁で完結できるよう決裁システ	両できると思う。今後は、各種手数料など ムから再度細部を検討してほしい。横断 トービスのひとつと考えられるのではない	f的な業務のワンストップから単一業務

記入				行革担当	本部	行革委員会			
(確記	忍日)	平成23年6月20日	平成23年	6月29日	平成23年7月13日	平成23年	F8月1日	個別意見 無	
取組	内容	総合案内の設置(本庁	()		体制コード			3-1-2-2	
所	管	市民課·市民	年金室		担当者·内線番号		伊与部	部久子 291	
	H21	実施		H21	-		H21	-	
取 組 時	H22		且	H22	-	成	H22	-	
	H23		標 数	H23	-	果 数	H23		
期	H24		値	H24	-	値	H24		
	後期		·	(単	<u></u>	.—	(単·	位:人、%、円など)	
平瓦	t21年度	取り組み内容(D)							
正面ダ も用意し 「窓口	平成21年度から実施している。 正面玄関に近いこともあり、来庁される市民の方には担当する課、係のところへ早〈行〈ことができ、また観光パンフ も用意してあるので市外からの観光客にも好評である。 「窓口サービス推進会議」で検討。								
平瓦	X22年 度	[中の実施目標(P)							
		実施する。 〈アンケート」の実施。集	計。ある	ぶき窓	ロサービスについてのフ	方向性を	検討。		
平点	뷫22年度	取り組み内容(D)							
前年度同様に実施した。 ロビーの来庁者に積極的に声掛けをするように心がけた。. 取り組みについての成果(C)									
総合第	案内窓口	を利用する来庁者が増	加してき	きた。					
平瓦	戈22年 度	評価(所管)(C)	☐ A		こ良い 計画どおり)		C 悪い D 非常		
		責極的に声を掛けるよう)向上に寄与した。	に心がに	ナたことに	こより、まごつ〈来庁者)	こ対して	適切な案	₹内を行うことができ、	
取り約	且みにつ	いての感想(成功理由・	反省点:	など)(A)					
来庁者の問い合わせにすぐ答えられるよう日々研鑽した。									
平点	t23年度	[中の実施目標(P)							
昨年同様に実施する。									
平瓦	t22年度	評価(行革担当)(C)	A B		こ良い 計画どおり)		C 悪い D 非常		
	果評価に 更なる周	同じ。 引知と充実を図り「ワンス	 ストップサ	ービスの	 D実現(3-1-2-1)」にも	つながる	よう努め)ること。	

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い						
十,以22千及計圖(本即去議)(こ)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い						
行革担当評価に同じ。								
	□ 良好(先進的な取り組みや、事業	美内容を高〈評価する意見等)						
行革委員会個別意見(C)	□ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)							
	□ その他(上記に該当しない個別類	意見)						
具体的意見·要望(A)								
(取り組み内容に対する意見や、来年原	度に向けての要望がある場合に記載)							

記入日		担当者	所属長		行革担当	本部会議		行革委員会				
(催記	忍日)	平成23年7月1日	平成23年7月1日		平成23年7月22日	平成23年8月1日		個別意見 無				
取組	内容	窓口表示板の設置			体制コード	3-		3-1-2-3				
所	管	総務課 総務・危	機管理	室	担当者·内線番号		川村勇	治(内線313)				
	H21	実施		H21	-		H21	-				
取	H22		目	H22	-	成	H22	-				
組	H23		標数	H23	-	果	H23					
時 期	H24		数 値	H24	-	数 値	H24					
7/ /J	後期			(単1				位:人、%、円など)				
平月												
従来の執務室ごとの表示、正面ホールの各課(係)表示に加え、各階の階段室(エレベーター脇)に各課(係)の表示を追加した。 「窓口サービス推進会議」で検討。 平成22年度中の実施目標(P)												
			耒計。あ	るべき窓)方向性	を検討。 					
平月	成22年度	取り組み内容(D)										
「窓口サービスアンケート」の実施。集計。あるべき窓口サービスについての方向性を検討した。 取り組みについての成果(C)												
4人 7 m位の行こうで「このルル木(こ)												
窓口刀	アンケー	トの結果は、窓口が分			回答は少なかった。(記			·				
平月	成22年度	[評価(所管)(C)		非常		V	C 悪い					
				3 良い((計画どおり)		D 非常	なに悪い				
今回の窓口アンケートの結果では判断しづらい。												
取以	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)							
アンケート結果を受けて市民窓口サービス推進会議から提案要望事項を提出されたが、市民窓口サービス推進 会議が要望を取りまとめるだけとなってしまい、窓口サービス向上の中心となるような会議とはならなかった。												
十九	以と3千段	性中の実施目標(P)										
平月	成22年度	評価(行革担当)(C)			(計画どおり)			<u>'</u> に悪い				
				- 2000	(=, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -,			- , = , 0, 7 ·				

所管課評価に同じ。 なお、取りまとめたアンケートの結果については、市民のアンケートに対する意識を深める意味から公表を行って いくよう努めること。

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	☑ C 悪い
十100.224皮計圖(本即安俄)(C)	□ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高〈評価する意見等)
行革委員会個別意見(C)	□ 要改善(事業が遅れている、改善)	善が見られないことを指摘する意見等)
	□ その他(上記に該当しない個別	意見)
具体的意見·要望(A)		
(取り組み内容に対する意見や、来年	度に向けての要望がある場合に記載)	

±⊐	۸ 🗖	担当者	6F E	星巨	行革担当	木並	公 議	行革委員会
記入日 (確認日)		平成23年6月20日	所属長 平成23年6月29日		7	本部会議		13 1 2/2
(中田中心口)		平成23年6月20日	平成23年6月29日		平成23年7月13日	平成23年8月1日		10 加思兄 有
取組	l内容	延長窓口等の充実・検	検証		体制コード		3-1-3-1	
所	管	市民課・市民	年金室		担当者·内線番号		伊与語	鄂久子 291
	H21	実施·検討	_	H21	-		H21	-
取	H22		目標	H22	-	成	H22	-
組 時	H23		標 数	H23	-	果数	H23	
期	H24		値	H24	-	値	H24	
	後期			(単	位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)
平月	成21年度	取り組み内容(D)						
本庁は、毎週火曜、木曜、支所は木曜に午後7時まで実施している。利用人数の多少の変動はあるものの市民にも定着してきたものと思われる。平成21年度は利用人数1,116人、件数は1,353件であった。平成20年度利用件数は987件であり、(利用人数の集計データなし)利用数は増加の傾向にある。 「窓口サービス推進会議」で検討。								
平月	成22年度	性中の実施目標(P)						
今後	前年度同様に実施する。 今後は、延長時間や回数そして利用者の少ない各支所での延長窓口の必要性などが検討課題となっている。利 用実績を踏まえて効率的に実施できるよう検証していく必要がある。							
平月	成22年度	取り組み内容(D)						
本庁は、毎週火曜、木曜、支所は木曜に午後7時まで実施している。制度が定着してきて本庁の利用者数は増加傾向にある。平成22年度は利用人数1,179人、件数は1,537件であった。 県内市町村の延長窓口実施状況を調査し集計した。								
取り	〕組みに	ついての成果(C)						
利用	者数で前	年度比5.6%の増加で	あった。					
平月	成22年度	評価(所管)(C)		4 非常1 3 良い	こ良い(計画どおり)		C 悪い D 非常	l tに悪い
		し利用者数も増加した。 『口の実施方法を検討 [・]		の資料	をそろえた。			
取!	〕組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)			
市広報誌に延長窓口の情報を掲載し利用を促進した。 電話照会の際に、延長窓口のPRをした。								
平月	成23年度	中の実施目標(P)						
前年度同様に実施する。 各支所での延長窓口の必要性を引き続き検証していく。 延長窓口全体のシステムを見直し、より利用しやすい延長窓口の構築を目指し検討する。								
平月	成22年度	評価(行革担当)(C)		4 非常I 3 良い(こ良い (計画どおり)		C 悪い D 非常) なに悪い
					····		41 11	

所管課評価に同じ。 ただし、これだけでは支所の内容が不明のため、その部分を明らかにし、平成23年度中の実施目標については、 先延ばしになることのないように期限を定めて方針をまとめるよう努めること。

┃ 平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
十成22千支計圖(本部去議)(C)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事業 □ 要改善(事業が遅れている、改業 □ その他(上記に該当しない個別	善が見られないことを指摘する意見等)
具体的意見·要望(A)		
・支所の延長窓口の利用について、実 ・詳細が分かるよう記載願いたい。	:施の曜日設定の検討はしているのか。	

	入日、	担当者		属長	行革担当	本部会議		行革委員	会	
(作售司	認日)	平成23年6月20日		年7月1日	平成23年7月11日	平成235	₹8月1日	個別意見	有	
取組	l内容	住民票、各種税証明等 の設置	等自動交	き付機	体制コード	3-1-3-2				
所	管	政策推進課 情報化推進室、	市民課 市	民年金室	担当者·内線番号	山田	和浩 50	2、伊予部久子	2 9 1	
	H21	検討		H21	-		H21	-		
取	H22		目	H22	-] 成	H22	-		
組 時	H23	実施	標数	H23	-	果 数	H23	-		
期	H24		値	H24	-	値	H24	-		
	後期		1	(単1	位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円な	ょ ど)	
平月	式21年度	要取り組み内容(D)								
おける	住民票等の発行については、自動交付機のほかにコンビニ交付も可能となってきている。当市としては時間外における交付数などの調査を行い、今後どのような方法で対応するか各システムのセミナー等により研修を行った。「窓口サービス推進会議」で検討。									
平月	成22年度	要中の実施目標(P)								
今後の	どのよう	なシステムを導入してい	1ったら。	よいかを	、必要性も含めさらに	検討して	し 1く。			
平月	成22年度	夏取り組み内容(D)								
戸籍: したもの	システム Dであっ	ス推進会議」から提出さ 更新に伴いコンビニ交 たため見送る。	付につい	ハても検	討したが、補助を受ける	るために				
巾氏i た。	課では、	市役所来庁者を対象と	した窓口	コサーヒ	スアンケートを実施、県	《内巾町	村に窓!	コアンケートを	実施し	
	り組みに	ついての成果(C)								
アンケ	アンケートの実施により、市民の要望を聞くことができた。また、県内市町村の窓口の状況を把握できた。									
平月	成22年度	要評価(所管)(C)			こ良い	Ш	C 悪い			
1 ,	-20	Ситы (ты) (ч)	V I	B 良い((計画どおり)		D 非常	きに悪い		
窓口 ⁺	サービス	アンケートを実施して、	市民の	要望を集	毛約した。					
取中	り組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)					
市民の要望があることは把握できたが、必要性(無いと困る、あった方良い、など)や費用対効果については検証していない。										
平成23年度中の実施目標(P)										
費用をかければ導入はできるが、自動交付機やコンビニ交付の必要性を何に求めるのか、再検討の後、あらためて導入年度について協議する。										
T7 -	ポック生産	======================================		4 非常に	こ良い	V	C 悪い	١		
\\ }	双22年度	を評価(行革担当)(C)		B 良い((計画どおり)		D 非常	きに悪い		
		価するが、スケジュール 年度の実施目標による				 E度中に	まとめる	ぶよう努めること		

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	C 悪い
十成22千度計劃(本部去議)(()	□ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事章 ☑ 要改善(事業が遅れている、改章 ○ その他(上記に該当しない個別	善が見られないことを指摘する意見等)
具体的意見·要望(A)		
自動交付機の設置を検討するに当た 討されたのか。	って、情報機器の操作ができないもしく	は苦手な人の対応策はどのように検

	八日、	担当者		属長 一	行革担当	本部		行革委員会		
(惟訂	忍日)	平成23年6月30日	平成23年	₹7月1日	平成23年7月15日	平成23年	F8月1日	個別意見 有		
取組内容 市税等のコンビニ収納 体制コード 3-				3-1-3-3						
所	·管	税務課収納対	付策室		担当者·内線番号		長 研-	一 内線211		
	H21	検討		H21	-		H21	-		
取	H22		目	H22	-	成	H22			
組 時	H23	実施	標 数	H23	-	果 数	H23			
期	H24		値	H24	-	値	H24			
	後期			(単	位:人、%、円など)	.—	(単	位:人、%、円など)		
平成21年度取り組み内容(D)										
平成21年度中に、他市の状況、および所要経費について調査を行った。										
平月	成22年度	関中の実施目標(P)								
平成2	23年度実	『施に向けて、 具体的な	準備を	進める。						
平月	成22年度	取り組み内容(D)								
庁内の会議を行い、他市の状況、所要経費、費用対効果について検証し、当市においての24年度からの実施と いう検討結果を得た。										
取り	組みに	ついての成果(C)								
成果と	としては、	費用対効果と住民サー 予算化してもらえなか までできたので、考え方	ったこと	から不っ	十分なのかと思うが、他	ま市でも行	テってい	なかった納税者の側		
平后	成22年度	を評価(所管)(C)		4 非常I 3 良い	こ良い (計画どおり)		C 悪い D 非常	\ 常に悪い		
24年月	度からの	実施も考えられなくなっ	ったこと。							
取!	〕組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)					
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A) 費用対効果と住民サービスの向上について考えさせられた。										
平月	成23年度	要中の実施目標(P)								
県、他市がコンビニ収納化されている中で、住民からの要望も多〈なってきており、住民サービスの向上のためにも少しでも早〈実施できるようお願いしていきたい。										
₩.	፟ ዸኯኯ∕ፗ ⊭	₽÷₩/₩/⟨S\\		非常	こ良い	V	C 悪い	1		
平力	以22牛店	を評価(行革担当)(C)		3 良い	(計画どおり)		D 非常	常に悪い		
取り組	且みは行	われているので、所管	課の評値		,	. 				

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	☑ C 悪N
	□ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高〈評価する意見等)
	☑ 要改善(事業が遅れている、改善)	善が見られないことを指摘する意見等)
	□ その他(上記に該当しない個別	意見)
具体的意見·要望(A)		
・市税等の納付は口座振替利用を推進すべきだが、滞納防止の観点からコンビニ納付も利用可能とすることで市民の利便性向上を図るべき。 ・(2-2-2-1)口座振替、(2-2-1-4)コンビニ収納と関連するが、住民サービスの向上 = 収納率の向上が期待できるのであれば(費用対効果を考慮)早期導入を図るべき。 ・自動振替の推進との整合性は十分か。		

	人日	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会	
(確記	忍日)	平成23年6月20日	平成23年	₹7月1日	平成23年7月11日	平成23年	₹8月1日	個別意見有	
取組	内容	電子申請システムの導	拿入		体制コード		3-2-1-1		
所	管	政策推進課			担当者·内線番号		山田	和浩 502	
	H21	検討		H21	-		H21	-	
取	H22		目	H22	-	成	H22		
組 時	H23		標 数	H23	-	果数	H23		
期	H24	実施	値	H24	-	値	H24		
	後期			(単1	位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	取り組み内容(D)				3			
平成18年に県内市町村で検討した結果、導入した市町村は5団体であった。現在は新しいシステムも出てきており、今後他市の状況を踏まえ検討しなければならないが、費用対効果を含め個人認証を必要とする申請については、申請数や申請の種類などの把握ができていない。しかし、個人認証の必要としない、各種申請やアンケートやイベントの申込等については、比較的安価に構築できるシステムを22年度から導入していく。 平成22年度中の実施目標(P) 個人認証の必要ない、各種申請やアンケートやイベントの申込等については、ASPによるシステムを導入する。また、個人認証を必要とする申請等については、各課の申請の種類や申請数等調査し、費用対効果と必要性を検討する。 平成22年度取り組み内容(D)									
		から「かんたん申請、 申 ついての成果(C)	· 込ンス:	アム」 等 。	八して連用を始めた。				
		用頻度が伸びていなに	1,					とめた方が漏れが無い	
平月	成22年度			* 非常			C 悪い		
	平成22年度評価(所管)(C) 日本 (計画とおり) 日本 (記述) 財用数が思ったより伸びなかったこと、各課の申請の種類を調査していないことを踏まえて評価した。								
取!	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)				
	取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A) システムを導入しても、情報担当が主導になってしまうと、利用者が「あれば便利」程度の考え方になってしまい効果が薄れる。また、仕事のやり方を変える必要を感じなければ使おうとしない。								
平月	成23年度	医中の実施目標(P)							
					課にどの様な使い方を			もらい、利用に結びつ	

平成22年度評価(行革担当)(C)	□ A 非常に良い	✓ C 悪い					
平成22年及許伽(1] 半担当)(5)	□ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い					
所管課評価に同じ。 調査・検討は期限を決めて、結論をと	出すように努めること。						
平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	☑ C 悪N					
	□ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い					
行革担当評価に同じ。							
	□ 良好(先進的な取り組みや、事業	業内容を高〈評価する意見等)					
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善	善が見られないことを指摘する意見等)					
	☑ その他(上記に該当しない個別意見)						
具体的意見·要望(A)							
·かんたん申請、申込システムの導入 Pによるシステムを導入するという記述	取り組みとなっており、住民サービスのに際し、その必要性や緊急性・汎用性ながあるが、セキュリティに十分配慮されるのであれば、全体の情報政策との整	など十分に評価、検証されたのか。AS れた計画なのか。このシステムを導入					

章□	λ 🗆	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会		
記入日 (確認日)		平成23年6月20日		F7月1日		平成23年8月1日				
取組	内容	施設予約システムの導			体制コード			3-2-1-2		
所	 ·管	政策推進課 情幸	8化推進	室	担当者·内線番号		ш⊞	和浩 502		
	H21	検討	X103F-C	H21	-		H21	-		
取	H22		目	H22	-	成	H22			
組 時	H23		標 数	H23	-	果 数 値	H23			
期	H24	実施	値	H24	-		H24			
,,,,	後期		<u>i</u>	(単	位:人、%、円など)	į.	(単	位:人、%、円など)		
平月	成21年度	取り組み内容(D)								
	各施設からの要望もな〈実態調査も行っていない。 平成22年度中の実施目標(P)									
		<u> </u>								
施設技	担当課を	含めシステムの導入の)必要性	を検討す	する。					
平月	成22年度	取り組み内容(D)								
平成22年4月から導入した「かんたん申請、申込システム」の外部利用が進まないことから、具体的な取り組みは 行っていない。										
取!	組みに	ついての成果(C)								
-										
平月	成22年度	[評価(所管)(C)			こ良い	V	C 悪い			
	~ 1 /2	EIT III (77 II) (3 良い	(計画どおり)		D 非常	だに悪い		
取り組	目みは行	っていないが、施設担	当課から	も導入	要望が出ていない。					
取!	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)					
77.5										
平方	以23年度	性中の実施目標(P)								
「かんたん申請、申込システム」があまり使われていない状況から、完成品でなければ使わないだろうと思われる。電子申請システムと同様に、各課に対してシステムの導入が必要かどうかの調査から始める。										
亚		[評価(行革担当)(C)		非常	こ良い	V	C 悪い			
+1.	ルムムナドラ	ĸarim(11 7 353)(€)		3 良い	(計画どおり)		D 非常	官に悪い		
	果評価に 検討は	:同じ。 期限を決めて、結論をと	出すよう	に努める	3 こと。					

┃ 平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	✓ C 悪い					
一一次22千皮叶间(本印云硪)(C)	□ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い					
 行革担当評価に同じ。							
13-3-41161-300							
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高〈評価する意見等)					
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善)	善が見られないことを指摘する意見等)					
	☑ その他(上記に該当しない個別意見)						
具体的意見·要望(A)							
	取り組みをかっており 住民サービスの	、日伯が不早している t ≥に 成じる					
	取り組みとなっており、住民サービスのに際し、その必要性や緊急性・汎用性	ロスティスタンでは、 など十分に評価、検証されたのか。AS					
	比があるが、セキュリティに十分配慮され						
	うのであれば、全体の情報政策との整						

記力	\ \ 日	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会	
	忍日)	平成23年6月29日	平成23年	₹7月1日	平成23年7月13日	平成23年	₹8月1日	個別意見 有	
取組	双組内容 携帯電話用の市ホームページの充			3-2-2-1					
所	·管	政策推進課企區	画政策室	₹	担当者·内線番号	竹内和広・5 3 1			
	H21	実施		H21	-		H21	-	
取	H22		目	H22	•	成	H22	-	
組 時	H23		標 数	H23	-	果数	H23	-	
期	H24		値	H24	•	値	H24	-	
	後期			(単	位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	取り組み内容(D)							
	携帯電話用ホームページに掲載すべき追加情報を検討した。								
平方	以22年总	関中の実施目標(P)							
携帯電	電話用コ	ンテンツの作成・公開を	を行う。						
平月	成22年度	と取り組み内容(D)							
新たに「観光情報」、「休日の急患やけがのとき」、「あさひまほろば夢農園」、「緊急時の連絡先」、「各種相談」、「各施設電話番号」の6つコンテンツを作成・公開したほかに、東日本震災関連のコンテンツを作成し、避難所開設状況、物資受入等の情報を随時更新した。									
取!	〕組みに	ついての成果(C)							
職員の	のスキル	・ アップ							
亚月	ポクク年度	要評価(所管)(C)		非常	こ良い		C 悪い		
1 /-	X22 T IS		☑ B 良い(計画どおり)				D 非常	は悪い	
緊急	時に取得	昇を要する情報を優先に	公開し	たことに	より利用者の利便性が	高まった	こと考え・	პ .	
取点	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)				
コンテンツ数の拡大も必要だが、携帯電話で見やすいホームページの研究が必要									
平月	成23年度	要中の実施目標(P)							
ホームページの新着情報を原則公開していくコンテンツを作成する									
77 -	ポクク年 戸	F並備(汽業切坐)(C)		1常非	こ良い		C 悪い		
''	以22年度	を評価(行革担当)(C)	▼ E	良い((計画どおり)		D 非常	さに悪い	
	课評価に ・ンツの§	こ同じ。 更新がされていない(遅	れている	る)ものか	があるため、更新に努め	りること。			

┃ 平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い					
十/0.22年及計圖(本品去議)(C)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い					
行革担当評価に同じ。							
	□ 良好(先進的な取り組みや、事						
行革委員会個別意見(C)	□ 要改善(事業が遅れている、改善)	善が見られないことを指摘する意見等)					
	☑ その他(上記に該当しない個別意見)						
具体的意見·要望(A)							
	として、 通常のWebサイトよりも即時性 本日の会場別イベント開催一覧など) ፱						

記力	\日	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会	
	忍日)	平成23年7月1日	平成23年	₹7月1日	平成23年7月26日	平成23年	₹8月1日	個別意見 有	
取組	取組内容 「むらかみ情報ねっと」の更なる周知· 体制コード 3-2-2-			3-2-2-2					
所	管	総務課 総務危	機管理	室	担当者·内線番号		川村勇	治(内線313)	
	H21	実施		H21	-		H21	9,640人	
取 組	H22		目標	H22	10,000人	成	H22	10,688人	
時	H23		数	H23	15,000人	果 数 値	H23		
期	H24		値	H24	20,000人	値	H24		
	後期			加	入者数(4月1日)		加入和	当数(翌年度4月1日)	
平月	成21年度	関リ組み内容(D)							
·	市報(毎号)での周知及び、防災講座等での周知を図った。								
平片	以22年度	要中の実施目標(P)							
引き約	売き周知	を図り、登録者数増や	す。						
平月	成22年度	と取り組み内容(D)							
市報(市報(毎号)での周知及び、防災講座等での周知を図った。								
取!	組みに	ついての成果(C)							
登録	当数 1 ,()48人増							
平月	成22年度	を評価(所管)(C)		非常的		V	C悪い		
				8 民(1)	(計画どおり)		D 非常	は悪い	
登録者	当数は何	びているが目標数に追	達してい	ないため).				
取以	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)				
市報等の媒体による周知より、防災講座などの口コミによる周知が効果的のようであるが、防災情報等の生命財産にかかる必要な情報であっても、受信者に受信費用の負担が生じること、受信者が必要としない情報も一方的に配信されるから、広報手段としては今後大幅な伸びは期待できないと考える。									
平原	成23年度	関中の実施目標(P)							
引き級	引き続き周知を図り、登録者数増やす。								
平局	成22年度	要評価(行革担当)(C)		・非常し 3 良い(こ良い :計画どおり)	✓	C 悪い D 非常	に悪い	
	果評価に 市民へ	三同じ。 のより身近な情報伝達		•	·	. <u>」</u>)、利用/			

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	☑ C 悪N					
十10,224皮計圖(本部公成)(C)	□ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い					
 行革担当評価に同じ。							
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高〈評価する意見等)					
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善)	善が見られないことを指摘する意見等)					
	☑ その他(上記に該当しない個別意見)						
具体的意見·要望(A)							
・行政職員としての自覚に問題がある	取り組みとなっており、住民サービスの)目線が不足しているように感じる。					
	け必要性は無いか(ヘッダーとテキスト						

<u>+</u> 7 1	<u> </u>	担当者	所属	₽ 	行革担当	太 立[7	会議	仁甘禾昌春	
記)(確認	7日 忍日)	型		50 F7月1日	1J 単担当 平成23年7月26日		五硪 ₹8月1日	行革委員会 個別意見 有	
,	.内容	携帯電話を活用した新たな情報発信 体制コード 3-2-2-3							
所	 ·管	総務課 総務危	機管理2	室	 担当者·内線番号		川村重	治(内線313)	
771	H21	検討	1% E1 - E :	H21	- -		H21	-	
取	H22	実施	目	H22	-	成	H22	-	
組	H23		標数	H23	-	果数	H23		
時 期	H24		数 値	H24	-	値	H24		
7.43	後期		į	(単1	位:人、%、円など)	į.	(単	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	取り組み内容(D)							
	新たな情報発信を検討するための関係各課との協議には至らなかった。 平成22年度中の実施目標(P)								
新たな	\$情報発	信について、関係各課	との協語	義を行う					
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
新たな	新たな情報発信を検討するための関係各課との協議には至らなかった。								
取川	組みに	ついての成果(C)							
未実施	色のため	かなし		 、非常l	- 白 1 1		C 悪l	1	
平月	成22年度	を評価(所管)(C)			<u>こらい</u> :計画どおり)			<u>'</u> ぎに悪い	
		協議には至らなかった							
取以	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)				
P上で原 いただ ^く	「むらかみ防災・防犯情報ねっと」は防災・防犯情報など緊急性の高い情報をメールによって配信するものとしてHP上で周知されており、単に周知を目的とした緊急性の低い情報は、受信者によっては趣旨にそぐわないと苦情をいただくことがある。既存の「むらかみ防災・防犯情報ねっと」とは別に、登録者が必要な情報を選択できる情報発信システムを構築または総合情報システムを構築し、防災・防犯情報ねっとを組み込むこと等が有効と考える。								
平月	成23年度	医中の実施目標(P)							
情報函	情報政策の一環としての協力体制を築く。								
<u> </u>	ポクク午 柱	要評価(行革担当)(C)		・非常	こ良い		C 悪い	1	
+1	ル <u>ム</u> ムム十 /5	だロ! 叫(1] 平3 旦コ)(C)		良 <u>い</u>	計画どおり)	V	D 非常	常に悪い	
		っていないので、D評価 早期に出せるよう、関係		の協議フ	が必要。				

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い							
十100.224皮計圖(本即去職)(で)	□ B 良い(計画どおり)	☑ D 非常に悪い							
行革担当評価に同じ。									
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高〈評価する意見等)							
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見								
	☑ その他(上記に該当しない個別意見)								
具体的意見·要望(A)									
	取り組みとなっており、住民サービスの								
「携帝竜話」というひとうのパートワコ 用者がそれぞれの持つハードウエアに	こアにこだわらず、ソフトウエアによる配 「会致したコンテンツを利田する展開と								
	こ日致したコンテンクを利用する展開と	4507 CIA 47177.							

		±0.1/. ±/	E	-	/= ++ +¤ \/	<u>-</u> >n	. ∧ . ×	(-# D A	
	B入日 担当者 所属長 BT		行革担当	本部会議		行革委員会			
(和佳市	忍日)	平成23年6月30日	半成23年	6月30日	平成23年7月11日	半成23年	₹8月1日	個別意見無	
取組	l内容	観光案内情報システムの構築 体制コード 3-2-2-4			3-2-2-4				
所	管	商工観光課観決	光交流室	₹	担当者·内線番号		船山ケイ子(内線351)		
	H21	検討	_	H21	-		H21	-	
取 組	H22		目標	H22	-	成	H22	-	
時	H23	実施	数	H23	-	果数	H23	-	
期	H24		値	H24	-	値	H24	-	
	後期			(単1	位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	と取り組み内容(D)							
なり、現 22年度	程在市の 夏の一般	琴業のホームページ等の 補助事業を受け商工観 股公開を目指している。 野中の実施目標(P)							
修してい	, ۱ < 。)できるだけ早い段階で	一般公	開できる	よう作業を進める。ま	た、ホー	ムペーシ	がの更新体制を含め研	
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
村上で議に参	平成22年7月1日にホームページのリニューアルオープンを迎えることができた。 村上市・村上市観光協会だけではなく、村上商工会議所ほか市内の事業所・個人からも、ホームページの編集会 議に参加があり、また外部の有識者から指導を受け、観光情報の提供を行ってきた。								
4X '.	が担めて	ついての成果(C)							
平成2	22年度末	ミには、従来のホーム^	ページの	アクセス	数から5倍程度に増加	した。			
777.5	ポック年度	を評価(所管)(C)	□ A	↓ 非常し	こ良い		C 悪い	1	
1 7.	以224-15	(H) (E) (C)	V E	3 良い((計画どおり)		D 非常	に悪い	
プを図る	ることが					いらの指	導の下、	編集員のスキルアッ	
取!)組みに	ついての感想(成功理	田 反省	(点など)	(A)				
	編集員が交代で毎日休まず情報を書き込み、また、観光客や市民からの情報や声が書き込まれ、その積み重ねによって、何度ホームページにアクセスしても新着情報があり、日々変化・進化していくホームページになっている。								
平月	成23年度	医中の実施目標(P)							
	・月一回程度の編集会議を行い、編集員の増員とスキルアップを図っていく。 ・ホームページのアクセス数を、編集会議としての当初の目標である10倍に近づける。								
₩.	ポクク年度	要評価(行革担当)(C)		非常	こ良い		C 悪い	1	
 /:	以44十岁 ———	▗▄▘▗ ▗▗▗ ▗▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗ ▗	\ \ 	3 良い((計画どおり)		D 非常	に悪い	
		3容などが充実している ームページとの連動性					<u></u> とした。		

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
十成22千度計劃(本部去議)(()	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事: □ 要改善(事業が遅れている、改: □ その他(上記に該当しない個別	善が見られないことを指摘する意見等)
 具体的意見·要望(A)		感光)
	度に向けての要望がある場合に記載)	

記入	\ FI	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会	
(確認日)		平成23年7月1日		₹7月1日	平成23年7月13日	平成23年8月1日		個別意見 無	
取組内容 事務事業の整理・統合実施 体制コード			3-3-1-1						
所	 管	下水道課 管理	 業務室	:	担当者·内線番号		中村	寸豊昭·214	
- 771	H21	実施		H21	-		H21	-	
取	H22	7 4.02	目	H22	-	成	H22	-	
組	H23		標	H23	-	果	H23		
時 期	H24		数 値	H24	-	数 値	H24		
त्रा	後期		<u> </u>	(単1	位:人、%、円など)	<u> </u>	(単	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	取り組み内容(D)							
-	-								
平月	成22年度	医中の実施目標(P)							
•									
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
平成2	平成23年度からの市組織改革に合わせて、特に本庁、市所間の事務事業について、整理・統合の検討を行った。								
取り	組みに	ついての成果(C)							
の人員	が減員と				分担について見直しを行 事務事業の本庁への			に対応した。また、支所 き上げに伴う事務内	
T	±oo∕⊤ ⊭			非常し	こ良い		C 悪い	١	
平力	以22年6	[評価(所管)(C)	▼	3 良い((計画どおり)		D 非常	官に悪い	
事務	事業の実	『施について、特に混乱	も無く想	思定どお	りに平成23年度を迎え	ることが	できた。		
取点)組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)				
事務事業の整理・統合については、平成23年度中における検討も引き続き必要である。									
平月	成23年度	医中の実施目標(P)							
平成22年度に引き続き、事務事業の整理・合理化を図る取り組みを行う。									
平日	成22年度	[評価(行革担当)(C)		非常			C 悪い		
1 /-	در ₁ – ۔		✓ E	8 良い	(計画どおり)		D 非常	常に悪い	
所管詞	果評価に	:同じ。							

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
十成22千度計劃(本部去議)(()	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事: □ 要改善(事業が遅れている、改: □ その他(上記に該当しない個別	善が見られないことを指摘する意見等)
 具体的意見·要望(A)		感光)
	度に向けての要望がある場合に記載)	

+7 1		中小本	FC E	2 E	仁	★ 立7	会 達	にせること	
記入	∖ 日 忍日)	担当者 平成23年7月1日		属長 ₹7月1日	行革担当 平成23年7月19日		会議 = 8月1日	行革委員会 個別意見 無	
	内容	行政改革大綱実施計			体制コード	十八,231		19月1日	
	<u>^</u>	ロナエムミ田〈ニエム〉	マピバ		打火水 古始至日		宣播	ゲー (中 4白 20 7)	
РЛ	管	財政課行政約	全吕係	H21	担当者·内線番号			一(内線327)	
取	H21 H22		目	H21	-	成	H21 H22	-	
組	H23	夫 爬	標	H23	-	果数	H23	-	
時	H24		数 値	H24	-	数	H24		
期	後期		1世		<u> </u>	値		 位∶人、%、円など)	
平F		<u> </u> 取り組み内容(D)		(+)	<u> </u>		(+	<u>は、7人、70、11なこ)</u>	
	行革委員会に諮問するため、平成21年度の進捗状況について各課照会を行った。 平成22年度中の実施目標(P)								
行革勢	委員会に	:諮問し、平成22年度中	に答申	をいたた	<u>.</u> .				
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
見諮問	平成21年度の進捗状況を取りまとめ、行革本部会議において内部評価として確認後、行政改革推進委員会へ意 見諮問し、答申をいただいた。								
4X '.	川組のに	ついての成果(C)							
各担的	当で実施	項目の検証を行うこと				ふがった 。			
平月	成22年度	を評価(所管)(C)		非常(C 悪い		
		,	✓ E	3 良い((計画どおり)		D 非常	だに悪い	
進捗丬	犬況を内	部評価し、行政改革推	進委員	会の意見	見を答申していただい <i>が</i>	Ċ.			
取以	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)				
識の向	行政改革推進委員会からの答申にあるとおり、初めての取り組みとして行政内部で評価を行ったことは職員の意識の向上にもつながるものであったが、評価に至った考え方、過程が分かりづらいことなどの指摘があったので改善が必要である。								
平月	成23年度	医中の実施目標(P)							
	評価の過程が分かるよう進捗管理表の様式を改め、進捗状況について内部評価のうえ、行政改革推進委員会の 意見を答申いただく。								
₩ =	廿22年 €	要評価(行革担当)(C)		非常	こ良い		C 悪い	1	
+ /	以44十万	ᆂᇚᄤᆟᆛᆍᆧᆜᅥᄔ	✓ E	8 良い((計画どおり)		D 非常	だに悪い	
	果評価に 、内容の	:同じ。 D記載については、順次	欠改善に	努める	こと。				

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
十成22千度計劃(本部去議)(()	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事: □ 要改善(事業が遅れている、改: □ その他(上記に該当しない個別	善が見られないことを指摘する意見等)
 具体的意見·要望(A)		感光)
	度に向けての要望がある場合に記載)	

記入日 (確認日)		担当者	所属長		行革担当	本部会議		行革委員会	
		平成23年7月1日	平成23年7月1日		平成23年7月19日	平成23年8月1日		個別意見無	
取組内容 村上市総合計画実施計画の評価・検 体制コード 3-3-1-3			3-3-1-3						
所	·管	財政課行政網	経営係		担当者·内線番号	 高橋洋一(内線27)			
	H21			H21	-		H21	-	
取	H22	実施	目	H22	-	成 果 数 値	H22	-	
組 時	H23		標 数	H23	-		H23		
期	H24		値	H24	-		H24		
	後期		.—	(単1	位:人、%、円など)	.—	(単1	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	取り組み内容(D)							
- 平5	- 平成22年度中の実施目標(P)								
評価制	制度のあ	り方について、行革委	員会へ記	溶問し、	答申をいただく。				
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
		委員会へ「村上市にお							
		のために評価を行うのうスピードを持った取り				の息我	と目的を	明確にし、評価が改善	
取り	組みに	ついての成果(C)							
評価制	制度の構	5築により、徹底した情 :	報公開と	≾、市民≀	が行政に参画する仕組	みづくり	が期待る	される 。	
<u>₩</u>	ポック年度	を評価(所管)(C)		・非常	こ良い		C 悪い		
T //	W		✓ E	8 良い((計画どおり)	□ D 非常に悪い			
		ったことがない外部評(度構築に向けた取り組			ついて、行政改革推進:	委員会⁄	への諮問	し、答申を受けたこと	
取り	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)				
の意義	行政改革推進委員会での検討にあたっては、その必要性を十分理解されているがために、外部評価委員会設置の意義と目的を明確にし、評価が改善へとつながるようスピードを持って取り組みを求められているものであり、制度構築に向けた具体的な取り組みが必要と考える。								
平月	成23年度	医中の実施目標(P)							
課題か	事務の効率化や今後の財政運営に影響して〈るような事業をい〈つか選定したうえで、その事業に対しての現状課題から改善方法の検討・実施を行政内部として重点的に取り組み、外部評価の位置づけとともに、財政と連動した評価制度の仕組みを改めて考えてい〈。								
₩ =	世の年 氏	を評価(行革担当)(C)		非常	こ良い		C 悪い	<u> </u>	
+ /	以44十5	▗▄▁▗▄▁▗▄	V	良い((計画どおり)		D 非常	に悪い	
	果評価に 制度を行	:同じ。 :うことが目的とならな!	いよう、評	·価制度	の目的や位置づけを明	 確にし	たうえで、	取り組みを推進する	

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
十成22千度計劃(本部去議)(()	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事: □ 要改善(事業が遅れている、改: □ その他(上記に該当しない個別	善が見られないことを指摘する意見等)
 具体的意見·要望(A)		感光)
	度に向けての要望がある場合に記載)	

記入		担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会		
(確記	忍日)	平成23年6月20日	平成23年	₹7月1日	平成23年7月11日	平成23年	₹8月1日	個別意見 有		
取組	取組内容 (財務会計、文書管理、ほか)			·)	体制コード		3-3-2-1 (3-2-1-3, 3-2-1-4)			
所	管	政策推進	課		担当者·内線番号		山田	和浩 502		
	H21	検討		H21	-		H21	-		
取	H22	実施	目	H22	-	成	H22	-		
組 時	H23		標 数	H23	-	果数	H23	-		
期	H24		値	H24	-	値	H24	-		
743	後期		į.	(単	位:人、%、円など)		(単1	位:人、%、円など)		
平月	成21年度	取り組み内容(D)					<u> </u>			
理シス: 平原	財務会計システムの電子決裁は今年度先進地である新発田市を視察し業務の方向性が見えてきたが、文書管理システムについてはまだ検討の段階にも入っていない。 平成22年度中の実施目標(P) 財務会計システムについては平成23年度の機構改革による組織編成に向け、機器の調達、システム構築等の作									
業を進	める。		3 十 及07	1X1 13 1X-	十一にの の元はのの同じないにつ	17 (1,00,01	- V IIII (E	、ノハノム神来ものに		
平月	成22年度	取り組み内容(D)								
財務会計については、システム調整及び機器の調達が終わり、運用ができるまでに至った。開始については、会計年度の切替にあわせて、平成23年6月21日からとした。 文書管理については、財務会計と同じ決裁基盤を使っていることから、平成23年度の運用状況を見ながら進めている。そのため、平成22年度の取り組みはなし。										
Ħ∇ι	組みに	ついての成果(C)								
試行道	試行運用を行った結果、文書のPDF化など、他業務でも活用できる事務処理手法を身に付けることができた。									
平月	成22年度	[評価(所管)(C)		A 非常I B 良い	こ良い (計画どおり)		C 悪い D 非常) なに悪い		
		れは出たが、年度末が ステムも開発費用を除け					研修に時	i間が取れたこと。 加え		
取以	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)					
関係記	取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A) 関係課の協力を得て、作業(担当)を分担できたことにより、全体で取り組むことができた。									
平月	成23年度	中の実施目標(P)								
文書管理システムの導入を前提として、費用を含めた調査を行う。										
平月	 成22年度	E評価(行革担当)(C)		4 非常I 3 良い(こ良い (計画どおり)		C 悪い D 非常	に悪い		
所管詞	果評価に	に同じ。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い						
十成22年及計圖(本部去議)(()	✓ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い						
行革担当評価に同じ。								
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高〈評価する意見等)						
行革委員会個別意見(C)	□ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等							
	☑ その他(上記に該当しない個別意見)							
具体的意見·要望(A)								
・電子決裁にあたり、財務会計につい ・レスペーパーへの取り組みは。 ・詳細が分かるように記載願いたい。	ては監査資料の整理基準はどう規定さ	れたのか。						

記	 入日	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	 行革委員会	
	スロ 認日)	平成23年6月29日		₹7月1日	平成23年7月11日		₹8月1日	個別意見 有	
取組	内容	国県の権限移譲の受	け入れの	足進	体制コード	3-3-2-2			
所	·····································	政策推進課企	画政策室	<u> </u>	担当者·内線番号		船山	幸文·531	
	H21	実施		H21	-		H21	-	
取	H22		目	H22	-	成	H22	-	
組 時	H23		標 数	H23	-	果 数 値	H23	-	
期	H24		値	H24	•		H24	-	
	後期			(単1	位:人、%、円など)		(単1	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	と取り組み内容(D)							
(移譲平) 職員	新たに6件の事務・権限移譲を受け入れました。 (移譲件数総数:県内20市中17位) 平成22年度中の実施目標(P) 職員定数を削減している中ではあるが、市民サービスの向上につながるものについては、積極的に移譲を進めま								
す。									
平月	成22年度	夏取り組み内容(D)							
県が	県が示す「おすすめメニュー」を中心に各部署へ照会したが、受入はなかった。								
取「	り組みに	ついての成果(C)							
なし <u>平</u> が	——— 成22年度			常非			C 悪い		
	-70 1 72	Сита (та) (-)		3 良い	(計画どおり)	✓	D 非常	に悪い	
	が無かっ								
取	り組みに	ついての感想(成功理	由·反省	i点など)	(A)				
受け <i>,</i>	受け入れない理由の検証を行わなかったことが主な原因と考える。								
平月	成23年度	匿中の実施目標(P)							
-つ	一つでも受入を実施したい。								
並	成22年度	要評価(行革担当)(C)			こ良い		C 悪い		
	-~ TIS	CHI IM (13 — J— —) (C)		3 良い((計画どおり)	\checkmark	D 非常	に悪い	
	課評価に 入れない	ニ同じ。 理由の検証などを行い	1、来年/		受け入れを推進できる	ような仕	上組みを	確立できるよう努める	

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い							
十成22千度計劃(本部去議)(()	□ B 良い(計画どおり)	☑ D 非常に悪い							
行革担当評価に同じ。									
行革委員会個別意見(C)		□ 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高〈評価する意見等) □ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)							
	□ その他(上記に該当しない個別意見)								
具体的意見·要望(A)									
具体的意見・要望(A) ・「受け入れない理由の検証を行わなかったことが主な原因と考える。」という意味が分からない。 ・職員数を削減していく中で、受け入れることによる業務量の増加程度や、受け入れることによる住民サービスの向上が期待できるのか、十分検討し結論すべきと思う。 ・詳細が分からないので、受け入れ対象となっている業務の一覧などを示していただきたい。									

記力	\ 	担当者	所属	 属長	行革担当	本部	会議	行革委員会		
	2日)	平成23年6月30日	平成23年	₹7月1日		平成23年	₹8月1日	個別意見 無		
取組	内容	利用者へのアンケート え付け場所の検討、回			体制コード		1-1-1			
所	管	環境課			担当者·内線番号	土田 孝·272				
	H21	検討·設置]	H21	-		H21	-		
取 組	H22		目標	H22	-	成里	H22	-		
時	H23		数	H23	-	果 数	H23	-		
期	H24		値	H24	-	値	H24	-		
77.5	後期	E 即1940元 中京(D)		(单)	位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)		
指定管	平成21年度取り組み内容(D) 指定管理者制度導入施設(村上火葬場、荒川火葬場)に設置済。									
平月	成22年度	性中の実施目標(P)								
		は引き続き実施する。 ^ら新たに指定管理者#	訓度を導	込するに	山北火葬場に設置する	0				
平月	成22年度	取り組み内容(D)								
新たは	既存設置施設は引き続き実施した。 新たに山北火葬場に設置した。 取り組みについての成果(C)									
利用者	者の意見	見を聞くことが出来、施言	殳の改善	いまま いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい い	がった。					
平月	成22年度	E評価(所管)(C)	☐ A		こ良い (計画どおり)		C 悪V D 非常	に悪い		
予定	どおり実	行されている。								
取!	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)					
特にな	特になし。									
平月	成23年度	医中の実施目標(P)								
引き線	売き継続	する。								
平月	成22年度	を評価(行革担当)(C)	☐ A		こ良い (計画どおり)		C 悪l D 非常	に悪い		

計画どおり実施されているので、所管課の評価のとおり、B評価とした。

ただし、取り組みの成果については、具体的な取り組み内容や、意見を受けて実施したことによる成果を検証し、記載すること。

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
十成22千度計劃(本部去議)(()	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事: □ 要改善(事業が遅れている、改: □ その他(上記に該当しない個別	善が見られないことを指摘する意見等)
 具体的意見·要望(A)		感光)
	度に向けての要望がある場合に記載)	

記)	\ 	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会
(確認日)		平成23年6月20日	平成23年	€6月21日	平成23年7月13日	平成23年	₹8月1日	個別意見 有
取組	取組内容 利用者へのアンケート調査内容と備 え付け場所の検討、回収箱の設置 体制コード			体制コード		4	1-1-1	
所	管	介護高齢課高齢福祉係			担当者·内線番号	田中和仁(内367)		
	H21	検討·設置		H21	-		H21	-
取	H22		目	H22	-	成	H22	-
組 時	H23		標 数	H23	-	果 数	H23	-
期	H24		値	H24	-	値	H24	-
	後期		·	(単1	位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)
平原	成21年度	取り組み内容(D)						
-	-							
平方	以22年总	医中の実施目標(P)						
-								
平原	成22年度	取り組み内容(D)						
老人福祉センターあかまつ荘及び老人いこいの家寿山荘で利用者アンケートを実施した。アンケートには、利用 者の年代、施設主催の事業要望、施設の満足度などについて、調査を実施しました。								
取り	組みに	ついての成果(C)						
も、圧倒	側的に満	■営時間等はこのまま [™] 足していると答える方が 計や血圧測定器を導 <i>。</i>	が多かっ	た。健原	東維持に役立てたいとの			
	#00/T #			非常			C 悪い	١
半 5	以22年度	を評価(所管)(C)	N	3 良い([計画どおり)		D 非常	は悪い
というこ	とがよく		設が老	朽化して	いることから、多くの意			く、新規の方が少ない と思っていたが、施設
取り	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)			
意外にも、施設改修を要望されるのは少なかった。ソフト面でどのように利用拡大を図るか今後の課題としたい。								
平成23年度中の実施目標(P)								
アンケ	アンケート未実施の施設に利用者アンケートの設置を拡大したい。							
₩ -	世の2年 氏	京河(市) (元学:1727-1727)		非常	こ良い		C 悪い	1
—— 十 万	以44片	を評価(行革担当)(C)	E S	3 良い((計画どおり)		D 非常	に悪い
アンケ	アンケートの実施については順調に取り組んでいるようなので、所管課の評価のとおり、B評価とした。							

平成22年度評価(本部会議)(C)		Α	非常に良い		C	悪い
		В	良い(計画どおり)		D	非常に悪い
行革担当評価に同じ。						
		良	好(先進的な取り組みや、事	業内容を	语	〈評価する意見等)
行革委員会個別意見(C)	V	要	改善(事業が遅れている、改	善が見	うれ	ないことを指摘する意見等)
		そ	の他(上記に該当しない個別	意見)		
具体的意見·要望(A)						
意外にも「施設改修の要望が少なかっらばそれなりの方策を進めるべきであ		ある	るが、「要望が少ない」で済まも	せず、行	政化	則で必要と考えているのな

記力	\ 日	担当者	所属	 属長	行革担当	本部	会議	行革委員会
	②日)	平成23年7月1日	平成23年7月1日			平成23年8月1日		個別意見 無
取組	内容	利用者へのアンケート え付け場所の検討、回			体制コード		2	1-1-1
所	·管	生涯学習課スポ-	-ツ推進	室	担当者·内線番号		大剂	竜豊 241
	H21	検討		H21	-		H21	-
取	H22	設置	目	H22	-	成	H22	-
組 時	H23		標数	H23	-	果 数	H23	
期	H24		値	H24	-	値	H24	
743	後期		į.	(単·	<u>.</u> 位∶人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)
平月	成21年度	取り組み内容(D)						
【指定	村上地区にて利用者に対するアンケートを検討 【指定管理者側で実施:業務管理仕様書に基づ〈もの】 平成22年度中の実施目標(P)							
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,						
アンク	一卜回山	又箱の設置						
平月	成22年度	取り組み内容(D)						
アンケ	アンケート回収箱の設置(1地区のみ)							
Ħ∇ι	り組みに	ついての成果(C)						
施設和	利用者の)意見等を知ることがで	き、利用	者の利何	更が向上した。			
亚日	は22年度	評価(所管)(C)		非常[こ良い		C 悪い	
7-73	X22+1 3		✓ E	8 良い(計画どおり)		D 非常	に悪い
ニーフ	ぐに合っ	た施設使用が図られる)					
取以	組みに	ついての感想(成功理)	由·反省.	点など)	(A)			
記入?	記入する人より直接口頭で話す人が多いので、呼びかけが必要。							
平月	成23年度	[中の実施目標(P)						
他地區	他地区への設置							
	#00/T I			非常に	こ良い		C 悪い	
平力	以22年度	[評価(行革担当)(C)	✓ E	8 良い(計画どおり)		D 非常	に悪い
ただし								結果の公表等を行って

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い							
十成22千发計圖(本部安徽)(で)	✓ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い							
行革担当評価に同じ。									
	□ 良好(先進的な取り組みや、事業	養内容を高〈評価する意見等)							
行革委員会個別意見(C)	□ 要改善(事業が遅れている、改善	」 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)							
	□ その他(上記に該当しない個別)	意見)							
具体的意見·要望(A)									
(取り組み内容に対する意見や、来年)	度に向けての要望がある場合に記載)								

記力	1日	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会	
	2日)	平成23年6月30日	平成23年	₹7月1日	平成23年7月13日	平成23年	₹8月1日	個別意見 無	
取組	内容	アンケート調査の実施 施	継続	売して実	体制コード		2	4-1-1-2	
所	管	環境課			担当者·内線番号	土田 孝·272			
	H21	実施	-	H21	-		H21	-	
取 組	H22		目標	H22	-	成果	H22	-	
時	H23		数	H23	-	果 数 値	H23	-	
期	H24		値	H24	- た・1 0/ ロかり	値	H24 (₩	(合・1 0/ 田かど)	
Ω. E	後期 #21年度	 取り組み内容(D)		(平1	位:人、%、円など)		(早)	位:人、%、円など)	
		度導入施設(村上火葬 中の実施目標(P)	‡場、荒 <i>,</i>	川火葬均	易)で実施した。				
既存詞	0置施設	は引き続き実施する。 AS新たに指定管理者制	制度を導	込するに	山北火葬場で実施する	0			
77. F	ポック年 氏	F取11組み内容(D)							
既存言 新たは	平成22年度取り組み内容(D) 既存設置施設は引き続き実施する。 新たに指定管理者制度を導入する山北火葬場で実施した。								
取り	組みに	ついての成果(C)							
利用者	当の意 見	見を聞くことが出来、施記	役の改善	いまま こうない こうしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしょう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう	がった。				
平局	成22年度	評価(所管)(C)	☐ A	、非常に 3 良い(こ良い 計画どおり)		C 悪l D 非常	に悪い	
予定と	どおり実	行されている。							
取り	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)				
	特になし。								
平月	成23年度	[中の実施目標(P)							
引き級	引き続き継続する。								
平月	成22年度	評価(行革担当)(C)		・非常し 3 良い(こ良い 計画どおり)		C 悪ル D 非常	はに悪い	

計画どおり実施されているので、所管課の評価のとおり、B評価とした。

ただし、取り組みの成果については、具体的な取り組み内容や、意見を受けて実施したことによる成果を検証し、記載すること。

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
十成22千度計劃(本部去議)(()	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事: □ 要改善(事業が遅れている、改: □ その他(上記に該当しない個別	善が見られないことを指摘する意見等)
 具体的意見·要望(A)		感光)
	度に向けての要望がある場合に記載)	

す。

記入日		担当者	所属長		行革担当	本部会議		行革委員会
(確記	忍日)	平成23年6月29日	平成23年6月30日		平成23年7月11日	平成23年	₹8月1日	個別意見無
取組	内容	アンケート調査の実施 施	継続	売して実	体制コード		2	1-1-1-2
所	管	生涯学習課文化行	亍政推 進	室	担当者·内線番号	田邉覚·朝日庁舎内線211		
	H21	実施		H21	-		H21	-
取	H22		目	H22	-	成	H22	-
組 時	H23		標 数	H23	-	果 数	H23	
期	H24		値	H24	-	値	H24	
	後期			(単1	位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)
平月	成21年度	取り組み内容(D)						
-								
平月	成22年度	怪中の実施目標(P)						
-								
平月	戊22年度	取り組み内容(D)						
·郷土資 ジで公開 ·市直営 た、アン 2箇所に	・指定管理施設である郷土資料館・若林家住宅・三之丸記念館・村上歴史文化館でアンケートを実施している。 ・郷土資料館では、22年度からアンケート設置箇所で戦国武将アンケート(好きな武将に1票を投じてもらう。結果をホームページで公開)を実施した。 ・市直営の縄文の里・朝日では、継続して実施している利用者アンケートに22年度から体験料金についての項目を追加した。また、アンケート回答者数が年間30前後で推移ししていたため、22年度末にこれまで1箇所だったアンケート設置及び回収場所を2箇所に増やすとともにアンケートに体験料金の設定について質問項目を設けた。 ・縄文の里・朝日では、イベント時等の支援市民スタッフ・支援職員にも運営方法等のアンケートを実施し、次回の事業に反映させた。							
取以	組みに	ついての成果(C)						
想·意見 たとえば ·縄文の	ð・提案等 ば自主事 0里・朝日	の取り組みにより館内 等を得ることができ、施 「業の講座の場合の料: 日については、体験料: 記定とした。	設の運営 金設定す	営管理、 5講座内	職来館者への対応、次 P容についてなどである	で回の事 。	業に反明	央させることができた。
	too左 É	F=亚/亚/丘谷)(C)		非常	こ良い		C 悪い	١
" h	以22年段	[評価(所管)(C)	E S	良い(計画どおり)		D 非常	さに悪い
	・アンケートを継続し、アンケート回答者数自体を増やす方策に取り組み、回答内容を事業に反映できたことからB評価とした。							
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)								
組み合 ・縄文0	・郷土資料館等において指定管理者が実施しているアンケートは新たな視点で時機を得た戦国武将の人気投票を 組み合わせることにより成果が上がった。 ・縄文の里・朝日では、質問項目を固定化せずその時に知りたいことを加えることによって新年度の運営に反映す ることができた。							
平月	成23年度	医中の実施目標(P)						
しも含め	5)、経費	でもいかにして多くの。 這の発生しない記入者へ う)について検討し、とく	への見返	対(郷土	資料館の戦国武将人	気投票(の結果を	

平成22年度評価(行革担当)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
平成22年及評価(1]年担当)(し)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
	:将人気投票に限らず、取りまとめの結 対する意識が上がると思うので、公表:	
平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い □ B 良い(計画どおり)	□ C 悪い □ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事業 □ 要改善(事業が遅れている、改善 □ その他(上記に該当しない個別)	善が見られないことを指摘する意見等)
具体的意見·要望(A)		
(取り組み内容に対する意見や、来年	度に向けての要望がある場合に記載)	

記入日		担当者	所属	属長	行革担当	本部会議		行革委員会
(確認		平成23年6月20日	平成23年6月21日		平成23年7月13日	平成23年8月1日		個別意見 無
取組	内容	アンケート調査結果に の検討·実施	より有効	加活用	体制コード			1-1-1-3
所	管	介護高齢課高齢	幹福祉係	Ŕ	担当者·内線番号		田中和	仁(内線367)
	H21			H21	-		H21	-
取 組	H22	検討·実施	目標	H22	-	成田	H22	-
時	H23		数	H23	-	果 数	H23	-
期	H24		値	H24	-	値	H24	-
	後期			(単1	位:人、%、円など)		(単1	位:人、%、円など)
平瓦	艾21年 度	[取り組み内容(D)						
-								
平原	戊22年度	性中の実施目標(P)						
-								
平月	戊22年度	取り組み内容(D)						
検討し <i>t</i>	老人福祉センターのアンケート内容に、健康管理のために体重計と血圧計の設置要望があり、経費と効果内容を 検討したうえで設置した。							
取以)組みに	ついての成果(C)						
	・ ート結り 場示した	果は集計し、グラフにま 。	とめて旅	5設内に	掲示した。Q&Aのよう	に、質問	引に答える	るような書き方で少数
亚百	おつつ午 庄	[評価(所管)(C)		↓ 非常	こ良い		C 悪い	١
十八	X44+15		✓ E	8 良い((計画どおり)		D 非常	は悪い
		∿な質問などに答えるこ 1たと感じる。	とができ	きるととも	に、多くの方に施設の	運営に	参画して	いただくことができ、十
取以)組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)			
十分成果が得られたとともに、施設運営形態に多くの方に賛同いただいた。今後は、少ない意見からアイデアや ヒントが見つかればよいと思っている。								
平原	平成23年度中の実施目標(P)							
アンケ	·一卜結身	果の評価から、 自主事業	業内容 <i>σ</i>)企画な	どを検討し、新規利用:	者の拡え	大を図り <i>1</i>	たい 。
平后	戊22年度	[評価(行革担当)(C)		非常(C悪い	
, ,-			✓ E	3 良い(計画どおり)		D 非常	なに悪い
所管語	所管課の評価のとおり、B評価とする。							

ただし、取り組みについての成果については、これは取り組み内容であり成果ではないので、体重計と血圧計の 設置のための経費とその利用状況や有効性といった部分の検証を行い、取り組みに対する成果を把握していくよう 努めること。

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
十成22千度計劃(本部去議)(()	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事: □ 要改善(事業が遅れている、改: □ その他(上記に該当しない個別	善が見られないことを指摘する意見等)
 具体的意見·要望(A)		感光)
	度に向けての要望がある場合に記載)	

(T++T) (T)		15 3 1	77周以		11 = 15 = 3	十日	ム映	门手女只云
		平成23年6月30日		平成23年7月11日	平成23年	₹8月1日	個別意見 無	
取組	内容	アンケート調査結果に の検討·実施	より有効	加活用	体制コード		2	4-1-1-3
所	管	生涯学習課文化行	亍 政推進	室	担当者·内線番号	B	日邉覚·草	明日庁舎内線211
	H21			H21	-		H21	-
取	H22	検討·実施	目	H22	-	成	H22	-
組 時	H23		標 数	H23	-	果 数	H23	
期	H24		値	H24	-	値	H24	
	後期		·	(単1	位:人、%、円など)	·	(単	位:人、%、円など)
平原	成21年度	取り組み内容(D)					-	
- 平5	成22年度	E中の実施目標(P)						
-								
平成22年度取り組み内容(D)								
定等運 ・縄文の	・郷土資料館では、館内アンケート及び個別の自主事業ごとにもアンケートを実施し、次回の事業の内容や料金設定等運営に反映させている。 ・縄文の里・朝日については、集計まで行い一部項目について活用しているものの、全部の項目について詳細な分析・検討・活用までには至っていない。							
取り	組みに	ついての成果(C)						
の場合 ·縄文の	の料金記)里·朝日	は、館内アンケート及で 分定や講座内容につい 日については、体験料会 設定とした。	てなど)	に反映る	させている。			事業(自主事業の講座 を得、23年度はこれま
平后	成22年度	[評価(所管)(C)		4 非常I 3 良い(こ良い (計画どおり)		C 悪い D 非常	<u>)</u> なに悪い
・郷土資料館等指定管理施設については、アンケート回答内容を分析・検討し事業へ反映できたことからA又はB評価が相当であり、市直営の縄文の里・朝日については、アンケートの調査結果内容の詳細な分析・検討は一部の項目にとどまり、全部の項目についての分析・検討・問題解決に取り組むまでには至っていないことからC評価が相当である。これにより総合的にはC評価とした。								
取り	取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A)							
れを詳紹 ・縄文の	・郷土資料館でのアンケート回答者数増加策の実施により、より多くの人の感想・意見・提案等を得ることができ、これを詳細に分析・検討したことが施設の運営管理、来館者への対応、事業に反映できた要因である。 ・縄文の里・朝日については、体験料金の設定について質問項目を設けた結果一定の評価を得、23年度はこれまでと同様の料金設定としたなど一部で成果は出ているが、年度内には利用者アンケートの全体的な分析・検討がで							

平成23年度中の実施目標(P)

- ・分析・検討結果を出しやすく、当該施設の運営・事業に直結しやすい質問設定を工夫する。
- ・紙媒体のアンケートだけでなく、利用者から直接口頭でいただいた様々な感想・意見・情報を担当職員全員で共有し、対応できる体制(パソコン上に利用者から聞いた「声」を書き込む場所を設けることや職員会議での情報交換など)を整える。

平成22年度評価(行革担当)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い						
十/戏22十度計圖(1]单担当)(C)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い						
直営で管理している施設のほうが取り組みが遅れているが、アンケートの取り組み自体は進んでいると思われるので、引き続き実施し、分析・検討を行っていくように努めることで、B評価とした。 なお、アンケートについては、取りまとめの結果や、アンケートが反映された内容を示すことで、より利用者のアンケートに対する意識が上がると思うので、公表の仕方についても工夫して実施すること。								
平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い						
十成22十支計画(本品去議)(こ)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い						
行革担当評価に同じ。								
	□ 良好(先進的な取り組みや、事業	業内容を高〈評価する意見等)						
行革委員会個別意見(C)	□ 要改善(事業が遅れている、改善	善が見られないことを指摘する意見等)						
	□ その他(上記に該当しない個別)	- 意見)						
具体的意見·要望(A)								
(取り組み内容に対する意見や、来年)	度に向けての要望がある場合に記載)							

記入日 (確認日)		担当者	所属長		行革担当	本部会議		行革委員会		
		平成23年6月20日	平成23年6月21日		平成23年7月13日	平成23年8月1日		個別意見 有		
取組内容 施設利用に関係する団体等との懇談 会の実施 継続して実施 体制コード					4-1-1-4					
所	· 管		冷福祉係	Ŕ	担当者·内線番号		田中和	口仁(内367)		
	H21	71 121 321 111 32		H21	-		H21	-		
取	H22		目	H22	-	成	H22	-		
組	H23	X110	標	H23	-	果 数	H23	-		
時 期	H24		数 値	H24	-	致 値	H24	-		
知	後期		但		位:人、%、円など)	旭		位:人、%、円など)		
平月		<u></u> 取り組み内容(D)		(-	2:7((70(13·BC)		(-	12:50(10(13·2C)		
- 平成22年度中の実施目標(P) - 平成22年度取り組み内容(D) 養護老人ホームやまゆり荘で入所者との面接を継続して行っている。施設への要望や本人の状況などを面接しながら聞き取りし、施設と入所者の調整をする。 取り組みについての成果(C) 入所者は概ね施設に対して苦言などはない。むしろ感謝の言葉が多い。施設には言えない悩みや要望も聞く機										
会となっ	ており、	施設と入所者の調整					C = 1			
平月	成22年度	を評価(所管)(C)		□ A 非常に良い□ C 悪い□ D 非常に悪い						
		て実施する予定であり、								
- ↓X ¹.)組みに	ついての感想(成功理	田'及自	!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!	(A)					
養護老人ホームは、身寄りのないお年寄りもいることなどから、家族に対し思いを伝えることができない人や知的障害などで思いを伝えられない難しい面接を行うこともある。このような困難ケースは年々増えており、職員のスキルアップが必要と感じる。										
平历	成23年度	医中の実施目標(P)								
継続し	継続して実施する。									
平月	成22年度	医評価(行革担当)(C)		4 非常1 3 良い(こ良い 計画どおり)		C 悪い D 非常	に悪い		
	課評価に 「職員の	:同じ。)スキルアップが必要」。	としてい	るので、	スキルアップのための	計画的で	で具体的	な取り組みを検討す		

印刷日:2011/10/19

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
十成22千度計劃(本部去議)(()	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事意	善が見られないことを指摘する意見等)
具体的意見·要望(A)		
「職員のスキルアップが必要」とある。 連携システムの確立が必要と感じられ	この意見を人材育成に活用できるよう、 える。	職員研修担当部署と問題点の共有、

記入日		担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会	
(確記	忍日)	平成23年7月1日	平成23年7月1日		平成23年7月22日	平成23年8月1日		個別意見 有	
取組内容		懇談会等での意見集結 用の検討・実施	約による	有効活	体制コード	4-1-1-5			
所	管	財政課行政約	圣営係		担当者·内線番号		高橋洋一(内線327)		
	H21			H21	-		H21	-	
取	H22	検討·実施	目	H22	-	成	H22	-	
組 時	H23		目 標 数:	H23	-	成 果 数 値	H23	-	
期	H24		値	H24	-	値	H24	-	
	後期 (単位:人、%、円など)							位:人、%、円など)	
平月	成21年度	取り組み内容(D)							
-	l) 4								
平月	成22年度	医中の実施目標(P)							
-									
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
(具体	的取組	事例なし)							
取!	組みに	ついての成果(C)							
1									
平月	成22年度	[評価(所管)(C)			こ良い 計画どおり		C 悪い D 非常	sに悪い 1	
,									
取!	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)				
1									
平月	成23年度	医中の実施目標(P)							
-									
平月	成22年度	[評価(行革担当)(C)					C 悪い		
1 /-	در ₁ – ۔			8 良い((計画どおり)	✓	D 非常	に悪い	
具体的	勺取組事	4例なしのため							

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
十成22千支計(本部安議)(()	□ B 良い(計画どおり)	☑ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事 □ 要改善(事業が遅れている、改 □ その他(上記に該当しない個別	善が見られないことを指摘する意見等)
具体的意見·要望(A)		
なぜ、具体的取り組みがなかったのか	、内容が全〈分からない。	

in i	λ 🗆	担当者	所属	星長	行革担当	本部	会議	行革委員会			
記入日 (確認日)		平成23年7月1日	平成23年7月4日			平成23年8月1日		個別意見 有			
取組	取組内容 支所·学校の空きスペースの確認 体制コード 4-1-2-1										
所	 ·管	 福祉課 子育で	支援室		担当者·内線番号	#	子 (内線243)				
771	H21	検討		H21	- -		H21	-			
取	H22	17 17 2	目	H22	-	成	H22	_			
組 時	H23		標 数	H23	-	果 数 値	H23				
期	H24		値	H24	-		H24				
7.43	後期		į.	(単1	位:人、%、円など)	<u>i</u>	(単	位:人、%、円など)			
平月	平成21年度取り組み内容(D)										
-	-										
平片	以22年度	医中の実施目標(P)									
-											
平月	成22年度	取り組み内容(D)									
行ってい	保内学童保育所として、保内小学校の空き教室が利用できないかと荒川支所地域福祉課、保内小学校と検討を 行っていたが、他の教室として利用するため、利用ができないこととなった。今後は、空き教室の利用ではな〈新た に建設等の検討を行うこととした。										
取り	組みに	ついての成果(C)									
保内心	小学校σ)空き教室は他の教室(として利	用するた	こめ、保内学童保育所 と	こして利力	用ができ	ない。			
ΣΖ. Ε	ポック年 庄	[評価(所管)(C)		非常	こ良い	\	C 悪い	1			
Τ/.	% 22+15			良い	(計画どおり)		D 非常	は悪い			
保内化	小学校σ)空き教室は他の教室(として利ん	用するた	こめ、保内学童保育所と	こして利力	用ができ	ない。			
取り	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)						
との連絡	保内学童保育所の利用について、平成21年度末に空き教室の利用について、保内小学校から教室が開かないとの連絡があった。今後の児童数の推移や教室の利用予定等を改めて確認することとしていたが、空き教室の利用でなく建設等を検討することとした。										
平历	成23年度	医中の実施目標(P)									
検討済みのためなし											
亚目	战22年度	[評価(行革担当)(C)		非常			C 悪い				
77	·**	tallm(l] →]=⊐)(C)	V	良い((計画どおり)		D 非常	はに悪い			
結果と	として利力	用ができなくなったよう	だが、検	討をして	に結論を出したので、Bi	評価とし	<i>た</i> 。				

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い						
十成22千度計劃(本部去議)(()	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い						
行革担当評価に同じ。								
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高く評価する意見等)						
行革委員会個別意見(C)	□ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)							
	☑ その他(上記に該当しない個別意見)							
具体的意見·要望(A)								
·空きスペースの活用法を公開し使用 ·空きスペースは1チームで確認·利用	法などを募集してみてはどうか。 検討をした方が効率が良いような気カ	ヾ する。						

記力	\ 	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会	
(確認日)		平成23年6月23日	平成23年6月27日		平成23年7月13日	平成23年8月1日		個別意見 有	
取組	1,000 10,320 10,000 10,0		1-1-2-1						
所	 管	学校教育課学	交施設係	Ę	担当者·内線番号		朝日支所228		
	H21	検討		H21	-		大滝寿 H21	-	
取	H22		目	H22	-	成	H22	-	
組	H23		標	H23	-	果 数	H23		
時 期	H24		数 値	H24	-	値	H24		
743	後期		,	(単1	位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	取り組み内容(D)					<u> </u>		
	地域振興課で取りまとめ(確認の結果、学校には空きスペースが無い、との趣旨で依頼)								
平月	及22年度	医中の実施目標(P)							
	度確認を								
平月	成22年度	【取り組み内容(D)							
施設台	施設台帳の整備時に学校の空きスペースも確認した。								
取り	組みに	ついての成果(C)							
常に約	犬況が把	湿をきている							
₩.	せつつ午 庄	[評価(所管)(C)		非常的	こ良い		C 悪い	١	
+	以22十13		<u> </u>	8 良い((計画どおり)		D 非常	は悪い	
確認は	こついて	は計画通りに事務が追	赴んでい	るため					
取り	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)				
施設台	取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A) 施設台帳の整理基準日が5月1日であるため、年度当初に各学校の状況が把握できてよい。								
平月	成23年度	使中の実施目標(P)							
村上事務所管内の旧門前谷小学校と旧山辺里小学校の利用については、秋から検討員会を立ち上げて利用について協議する予定のため、プラン決定の際には活用できるよう事務を進める。									
亚 F	战22年度	[評価(行革担当)(C)		非常的			C 悪い		
1.72	~~~ TS	EHI IM (11 — 1= =1) (C)	✓ E	8 良い((計画どおり)		D 非常	に悪い	
所管記	果評価に	:同じ。							

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い								
十成22千支計(本部安議)(()	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い								
行革担当評価に同じ。										
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	 業内容を高く評価する意見等)								
行革委員会個別意見(C)		□ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)								
	☑ その他(上記に該当しない個別意見)									
具体的意見·要望(A)										
・空きスペースの活用法を公開し使用・空きスペースは1チームで確認・利用	法などを募集してみてはどうか。 検討をした方が効率が良いような気か	ヾする。								

記	lΒ	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会		
(確認日)		平成23年7月1日	平成23年	F7月1日	平成23年7月28日	平成23年8月1日		個別意見有		
取組	100-111319		4-1-2-1							
所	管	荒川支所 地域				政一・245				
	H21	検討		H21	-		H21	-		
取 組	H22		目	H22	-	成田	H22	-		
曲時	H23		標数	H23	-	果 数	H23	-		
期	H24		値	H24	-	値	H24	-		
	後期	期 (単位:人、%、円など) (単位:人、%、								
平月	戊21年度	取り組み内容(D)								
-	-									
平反	成22年度	中の実施目標(P)								
-										
平原	成22年度	取り組み内容(D)								
旧保優	建室が空	きスペースであり、活月	月できる。	ことを確	認した。					
取り	組みに	ついての成果(C)								
					があったが、別の場所で より、当該場所を空きフ					
	+00/工 由		A	非常に			C 悪い			
平力	以22年段	評価(所管)(C)	✓ B	良い(計画どおり)		D 非常	に悪い		
文書係	呆管場所	等の整理により、順次	、空きス	ペースを	·確保することが出来て	いる。				
取以	組みに	ついての感想(成功理)	由·反省.	点など)	(A)					
特にな	îl.									
平戶	成23年度	中の実施目標(P)								
課の統合に併せた配置の移動により、空きスペースとなり長期的に利用できる場所の確認を行っていく。										
並占	₹22年度	評価(行革担当)(C)	A				C 悪い			
1 /3	~ TIX	TH IM (1 — 1 = —) (C)	✓ B	良い(計画どおり)		D 非常	に悪い		
所管詞	果評価に	同じ。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い						
十7,022千皮計圖(本即安俄)(で)	✓ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い						
行革担当評価に同じ。								
	□ 良好(先進的な取り組みや、事業	業内容を高〈評価する意見等)						
行革委員会個別意見(C)	□ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)							
	☑ その他(上記に該当しない個別意見)							
具体的意見·要望(A)								
・空きスペースの活用法を公開し使用: ・空きスペースは1チームで確認・利用	法などを募集してみてはどうか。 検討をした方が効率が良いような気が	する。						

±¬ :		担当者	FF E	属長	行革担当	太 立7	会議	仁艺禾品人	
記力(確認	7.日 忍日)			5 区 6月30日	1J 単担 ヨ 平成23年7月13日		<u> </u>	行革委員会 個別意見 有	
`	.内容	支所・学校の空きスペ			体制コード	1 13,220-		1-1-2-1	
所	 管		域振興課 担当者·内線番号 山田·274					山田·274	
171	H21	検討	HAK	H21	- -		H21	- -	
取	H22	1743	目	H22	-	成	H22	-	
組 時	H23		標 数	H23	-	果 数	H23		
期	H24		値	H24	-	値	H24		
	後期			(単1	位:人、%、円など)		(単1	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	取り組み内容(D)							
旧議均	【神林支所】 旧議場、旧議員控室が空きスペースとして確認した。								
平月	双22年度	医中の実施目標(P)							
	支所】 易、旧議	員控室が空きスペース	として硝	≧認し、活	5月できることを確認す	る。			
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
【神林支所】 旧議場、旧議員控室が空きスペースであり、長期的に活用できることを確認した。									
取川	組みに	ついての成果(C)							
		とのふれあいトークで、 こつながった。	旧議場	を使用し	ルた。利用人数は中学 <u></u> 生	生22人に	ことどまっ	たが、議場での発言	
平原	成22年度	を評価(所管)(C)		4 非常I 3 良い(こ良い (計画どおり)		C 悪い D 非常) さに悪い	
			<u> </u>	- L <v (<="" 1="" td=""><td>ні Д С 07 7 /</td><td></td><td>- 1FM</td><td>10.00</td></v>	ні Д С 07 7 /		- 1FM	10.00	
長期的	りな空き	スペースであると確認	できた。						
取り	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)				
長期的	りな空き	スペースとして確認でき	きたが、	形状等は	こついては現状のまま。	とせざる	を得ない	Nと感じた。	
平月	成23年度	医中の実施目標(P)							
平成23年度下の実施日標(下) 平成23年度においても、長期的に空きスペースとなるか確認する。									
平月	成22年度	医評価(行革担当)(C)		4 非常1 3 良い(こ良い 計画どおり)		C 悪い D 非常) なに悪い	
		「のとおり、B評価とした ナでなく、活用について		すること。					

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い						
十成22千度計劃(本部去議)(()	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い						
行革担当評価に同じ。								
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高く評価する意見等)						
行革委員会個別意見(C)	□ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)							
	☑ その他(上記に該当しない個別意見)							
具体的意見·要望(A)								
·空きスペースの活用法を公開し使用 ·空きスペースは1チームで確認·利用	法などを募集してみてはどうか。 検討をした方が効率が良いような気カ	ヾ する。						

≐ ⊐ 1	.	担当者	所属	星星	行革担当	木邨	(会議	行革委員会	
記入日 (確認日)		平成23年7月1日	所属長 平成23年7月4日			本部会議平成23年8月1日		個別意見 有	
取組内容 支所・学校の空きスペース有効利用 体制コード			1 13,220	4-1-2-2					
66	 管				 担当者·内線番号	布施久美子 (内線243)			
F/I	Ħ H21	検討	- 义报主	H21	担当有"内脉笛"与	1	リルグス H21		
取	H22	作失百岁	目	H22	-	成	H22	_	
組	H23		標	H23	-	果数	H23		
時##	H24		数	H24	-	数	H24		
期	後期		値		<u></u> 位:人、%、円など)	値		 位∶人、%、円など)	
亚日		<u> </u> 取り組み内容(D)		(+	立・人(70、13なこ)		(∓	立・人(70、11なこ)	
- 平成22年度中の実施目標(P)									
-	-								
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
行ってい	保内学童保育所として、保内小学校の空き教室が利用できないかと荒川支所地域福祉課、保内小学校と検討を行っていたが、他の教室として利用するため、利用ができないこととなった。今後は、空き教室の利用ではな〈新たに建設等の検討を行うこととした。								
取!	組みに	ついての成果(C)							
保内点	小学校σ)空き教室は他の教室(として利	用するた	こめ、保内学童保育所 と	として利力	用ができ	ない。	
ΣΖ. Ε	ポック年 底	[評価(所管)(C)		非常的	こ良い	V	C 悪い		
Τ/.	1X.424 IS			良い	(計画どおり)		D 非常	は悪い	
保内化	小学校の)空き教室は他の教室(として利ん	用するた	こめ、保内学童保育所と	として利力	用ができ	ない。	
取り	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)				
との連絡	保内学童保育所の利用について、平成21年度末に空き教室の利用について、保内小学校から教室が開かないとの連絡があった。今後の児童数の推移や教室の利用予定等を改めて確認することとしていたが、空き教室の利用でなく建設等を検討することとした。								
平月	成23年度	世中の実施目標(P)							
検討済みのためなし									
亚 F	成22年度	[評価(行革担当)(C)		非常			C 悪い		
1 7	~~~~ TS	EHI IM (11 — 1= =1) (C)	✓ E	良い	(計画どおり)		D 非常	なに悪い	
結果と	こして利力	用ができなくなったよう	だが、検	討をして	に結論を出したので、Bi	評価とし	た。		

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い						
十/0.22年及計圖(本品去議)(C)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い						
行革担当評価に同じ。								
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を局〈評価する意見等)						
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改	善が見られないことを指摘する意見等)						
	☑ その他(上記に該当しない個別	☑ その他(上記に該当しない個別意見)						
具体的意見·要望(A)								
	5法を積極的に考えるべき。 ースがあるにもかかわらず、有効利活 B検討をした方が効率が良いような気か							

記	し	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会	
(確言			平成23年8月1日 個別意見 有		個別意見有				
取組	l内容	支所·学校の空きスペ の検討	ース有交	加利用	体制コード		4	4-1-2-2	
所	所管 荒川支所 地域振興課 担当者·内線番·			担当者·内線番号	小林 政一·245				
	H21	検討		H21	-		H21	-	
取	H22		且	H22	-	成	H22	-	
組 時	H23		標 数	H23	-	成果数:	H23	-	
期	H24		値	H24	-	値	H24	-	
7.10	後期			(単	位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	取り組み内容(D)							
-	-								
平方	以22年及	性中の実施目標(P)							
-									
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
空きス	スペース	として確認を行った「旧り	保健室。	について	こは、今年度においては	t. 有効が	は利用に	は至らなかった。	
				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	7 / 21-57	~ 13743 (5. 1 37 131-	10.11.5 0.75 7 70.	
取り	組みに	ついての成果(C)							
-									
	ポック年 庖	評価(所管)(C)		・ 非常に	こ良い	\	C 悪い		
77	1,444 1,5			8 良い(計画どおり)		D 非常	に悪い	
検討を	行ってい	⟨。			庁舎のセキュリティの研	雀保を保	ちながら	5、有効利用に向けた	
取以	り組みに	ついての感想(成功理)	由 反省	<u>点など)</u>	(A)				
外部因	団体の利	用に向けては、なお、,,	庁舎のセ	2キュ リラ	ティの確保が難しいとい	う問題か	ヾある 。		
平月	成23年度	中の実施目標(P)							
「旧保	「旧保健室」の有効利用を図る。								
77 =	ポック年 竜	[評価(行革担当)(C)	A	非常同	こ良い	✓	C 悪い		
+ //	以44十岁	·····································		良い(計画どおり)		D 非常	に悪い	
		iのとおり、C評価とした。 有効活用が図られるよう		ュリティ <i>の</i>)問題等について、関係	各課で	の協議が	が必要。	

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	✓ C 悪N					
十成22千发計圖(本部安徽)(で)	□ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い					
行革担当評価に同じ。							
	□ 良好(先進的な取り組みや、事業	美内容を高〈評価する意見等)					
行革委員会個別意見(C)	✓ 要改善(事業が遅れている、改善	善が見られないことを指摘する意見等)					
	☑ その他(上記に該当しない個別意見)						
具体的意見·要望(A)							

記	\ \ 日	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会	
	2日)	平成23年6月28日		6月30日	平成23年7月13日	平成23年			
取組	内容	支所·学校の空きスペ の検討	ース有効	加利用	体制コード		4-1-2-2		
所	·管	神林支所地域振興課			担当者·内線番号		L	山田·274	
	H21	検討		H21	-		H21	-	
取	H22		目標	H22	-	成	H22	-	
組 時	H23		標 数	H23	-	果 数 値	H23		
期	H24		値	H24	-	値	H24		
	後期			(単	位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	と取り組み内容(D)							
定例記た。		員会を市民に身近で開	増催する	ことがて	ごきた。また、ふれあい	トークの	会場とし	,て利用することができ	
平月	成22年度	医中の実施目標(P)							
会議名	会場等σ	の公用での利用、学校等	手からの	使用要望	望に対応していきたい。				
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
会議会	会議会場等の公用での利用、区長会の使用要望に対応することとした。								
田口口	組みに	ついての成果(C)							
区長名	会を旧議	場で開催することがで	きた。						
平月	成22年度	を評価(所管)(C)		・非常I 3 良い(こ良い (計画どおり)		C 悪い D 非常	<u>)</u> 常に悪い	
		ことどまったが、区長会							
取!	〕組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)				
旧議均	易につい	ては、形状を基に利用	するのI	は人数的	りにも制限がある。				
平月	成23年度	関中の実施目標(P)							
区長名	区長会等公的な会議の場として利用検討をする。								
<u> </u>	ポクク年 柱	[評価(行革担当)(C)		非常	こ良い		C 悪い	1	
+ /.	ルムイナ / 5	ᆂᆔᄥᆟᆛᆍᅸᅼᄼᆝᇈ	▼ E	8 良い	(計画どおり)		D 非常	常に悪い	
所管語	课評価に								

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い						
十/0.22年及計圖(本品去議)(C)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い						
行革担当評価に同じ。								
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を局〈評価する意見等)						
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改	善が見られないことを指摘する意見等)						
	☑ その他(上記に該当しない個別	☑ その他(上記に該当しない個別意見)						
具体的意見·要望(A)								
	5法を積極的に考えるべき。 ースがあるにもかかわらず、有効利活 B検討をした方が効率が良いような気か							

		1=-11-1-			/= ++ != · ! ·				
	九日	担当者		属長	行革担当		会議	行革委員会	
(惟記	忍日)	平成23年6月23日		6月23日	平成23年7月13日	平成235	₹8月1日	個別意見有	
取組	取組内容 支所·学校の空きスペース有効利用 体制コード 4-1-2-2 の検討			4-1-2-2					
所	管	総務課·朝日支所地域拼	長興課総新 アンティスティスティスティスティスティスティスティスティスティスティスティスティステ	務管理室	担当者·内線番号		菅原	明 (内線204)	
	H21	検討		H21	-		H21	-	
取	H22		目	H22	-	成	H22	-	
組 時	H23		標 数	H23	-	果 数 値	H23	-	
期	H24		値	H24	-		H24	-	
	後期			(単	位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	取り組み内容(D)							
-									
平月	页22年度	関中の実施目標(P)							
いかとの	の打診が	朝日商工会の事務局長 「あった。 具体的には、)回答及び可の場合は	正面玄	関近くの	旧会計課スペースと旧				
平月	成22年度	夏取り組み内容(D)							
	総務課と協議の結果、社会福祉協議会などご〈一部の団体以外への貸出しの前例がないため、十分な検討が必要とのことで、回答は保留となっている。								
取り	組みに	ついての成果(C)							
回答に	は保留中	っなので成果なし。		عد اد			6 T		
平局	成22年度	医評価(所管)(C)		A 非常I B 良い	こ良い (計画どおり)	✓	C 悪い D 非常	に悪い	
するかる	不可とす]体が入るということにし るかの線引きが非常に ないことから自己評価	゠゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゠゙゚゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙゚゙゚゙゚゠゙゙゚゙゙゙゙゙゙	ートで難					
取以	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)				
	取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A) 当該団体には、あらかじめ検討に時間を要する旨の話はしてあり、クレーム等はないが、できるだけ早い時期に回答できるよう関係課で協議を進める必要がある。								
平月	成23年度	要中の実施目標(P)							
村上市	市として!	早期に結論を出し、回名	答する。						
平局	成22年度	整評価(行革担当)(C)		4 非常1 3 良い(こ良い(計画どおり)	✓	C 悪l D 非常	に悪い	
		「のとおり、C評価とした としての結論を早期にし		う、関係	各課での協議が必要。				

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	☑ C 悪N							
十八次22千支計圖(本品去議)(0)	□ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い							
行革担当評価に同じ。									
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高〈評価する意見等)							
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等								
	☑ その他(上記に該当しない個別	意見)							
具体的意見·要望(A)									

記入	\	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会	
	2日)	平成23年6月28日	平成23年	6月30日	平成23年7月13日	平成23年8月1日		個別意見 有	
取組内容 支所・学校の空きスペ 開始			ース施記	殳利用	体制コード		2	1-1-2-3	
所	管	神林支所地域	振興課		担当者·内線番号		L	山田·274	
	H21			H21	-		H21	-	
取	H22	実施	目	H22	-	成	H22	-	
組 時	H23		標 数	H23	-	果 数	H23		
期	H24		値	H24	-	値	H24		
	後期		.—	(単1	位:人、%、円など)	.—	(単	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	取り組み内容(D)							
-	-								
平月	成22年度	医中の実施目標(P)							
		の公用での利用、区長会	会·学校等	等からの	使用要望に対応してい	いきたい。	,		
平月	成22年度	と取り組み内容(D)							
会議会	会場等 <i>の</i>)公用での利用、区長会	⋛からの	使用要望	望に対応できた。				
取り	組みに	ついての成果(C)							
区長名	会を旧議	場で開催することがで	きた。						
平F	は22年度	を評価(所管)(C)		非常	- 1		C 悪い		
1 /-	W		✓ E	3 良い((計画どおり)		D 非常	は悪い	
		場で開催したが、利用 ことができた。	は40人1	ことどま	ったが、区長に旧議場	が空きス	くペース (として利用できるという	
取以	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)				
旧議均	易につい	ては、形状を基に利用	するのに	ま制限か	ヾあり、また人数的にも	限りがあ	うるという	意見を受けた。	
平月	成23年度	関中の実施目標(P)							
会議会	会議会場等の公用での利用、区長会・学校等からの使用要望に対応していきたい。								
平F	₺22年度	要評価(行革担当)(C)		非常			C 悪い		
1 /-	<i>در</i> ۱ – – , ,		✓ E	8 良い	(計画どおり)		D 非常	だに悪い	
所管詞	果評価に	に同じ。							

┃ 平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
十成22千支計圖(本部去議)(()	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事業 □ 要改善(事業が遅れている、改善 □ その他(上記に該当しない個別)	善が見られないことを指摘する意見等)
具体的意見·要望(A)		
空きスペースは1チームで確認・利用	検討をした方が効率が良いような気がす	する。

記入日		担当者	所属長		行革担当	本部	会議	行革委員会		
	忍日)	平成23年6月28日	平成23年6月30日		平成23年7月13日	平成23年	F8月1日	個別意見 無		
取組	内容	外郭団体等を指定す 【学童保育所等福祉 文化施設】			体制コード			4-2-1-2		
所	管	山北支所 地	域福祉詞	果	担当者·内線番号		渡辺	! 律子 243		
	H21	検討·実施		H21	-		H21	-		
取	H22		目	H22	-	成	H22	-		
組 時	H23		標数	H23	-	果 数	H23			
期	H24		数 値	H24	-	値	H24			
7/13	後期		=	(単位	江:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)		
平原	成21年度	取り組み内容(D)								
指定管	指定管理者制度導入の具体的検討、指定管理者候補(限定)との協議									
平原	戊22年度	世中の実施目標(P)								
指定管	管理者の)選定、協定の締結								
平反	戊22年度	取り組み内容(D)								
【山北やまゆり学童保育所、山北はまゆり学童保育所】 山北地区の学童保育所の指定管理者の候補者選定については、公募による選定は行わず、実績があるNPO法 人「おたすけさんぽく」を候補者として選定し、議会で議決され協定書を取り交わした。										
取以	組みに	ついての成果(C)								
個人情 る。指定	報の保記 E管理者	隻、職員研修の充実、	地域との	D連携、他		役の管理	運営と剝	L方法、また、利用者の 業務全般に期待がもて 皆増や施設の空きス		
	±00∕⊤ ⊭	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	A	非常に	<u>良い</u>		C 悪い	Ī		
平方	以22年段	E評価(所管)(C)	V	8 良い(言	十画どおり)		D 非常	きに悪い		
施設身	見直し計	画に示されたとおりに	実行で	きた。						
取り	組みに	ついての感想(成功理	ᡛ由·反€	当点など)	(A)					
画を進	取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A) 指定管理者は平成18年度から委託を受けて学童保育所業務を行っていたため、保護者の理解も得られ順調に計画を進めることができた。市では学童保育所最初の指定管理者制度導入となるため、よりよいモデルとなるよう候補者と協議を重ねたが、業務範囲、指定管理料等についての相互の考え方に隔たりがあり調整に苦慮した。									
平原	成23年度	医中の実施目標(P)								
目標這	達成済み	トによりなし								
平反	戊22年度	[評価(行革担当)(C)		・非常に 3 良い(言	良い †画どおり)		C 悪い D 非常	に悪い		
所管調	果の評価	iのとおり、B評価とした	- .							

なお、指定管理者制度に対する認識が不足していたと思われるので、これから3年間の指定管理者導入期間の間に、内容の検証を行い、施設管理についての方針をまとめること。

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い							
十八人 (本) (大)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い							
行革担当評価に同じ。									
	□ 良好(失進的な取り組みや 事業	:内窓を喜く証価する音目等)							
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高〈評価する意見等) □ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)								
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	□ その他(上記に該当しない個別意見)								
具体的意見·要望(A)									
(取り組み内容に対する意見や、来年)	 度に向けての要望がある場合に記載)								

記力	λ 🗆	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会
.=++==		平成23年7月4日		平成23年7月13日		〒8月1日	個別意見 無	
取組内容 「児童遊園地、農村公園等」 体制コード		4	1-2-1-3					
所	· 管	福祉課・子育て支援室			担当者·内線番号	布施久美子 (内線243)		
	H21	検討·実施		H21	-		H21	-
取	H22		目	H22	-	成	H22	0件
組 時	H23		標 数	H23	-	果 数	H23	
期	H24		値	H24	-	値	H24	
	後期			(単	位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)
平月	成21年度	取り組み内容(D)						
- 亚F	- 平成22年度中の実施目標(P)							
1 /-	1X_C 1S4							
-								
平月	成22年度	取り組み内容(D)						
神林圩	神林地区農村公園・児童公園の各集落への指定管理者制度導入を目指し、各集落区長へ説明を行った。							
取川	別組みに	 ついての成果(C)						
らなかっ	った。他 ^は				落区長に理解が得られ 期限にあわせ、平成26			
77 =	せつつ任 庄	を評価(所管)(C)		非常	こ良い		C 悪い	1
十八	以22十岁			3 良い	(計画どおり)	\	D 非常	だに悪い
		整合性等の検討が不足 が得られなかった。	足であり	、旧市町	「村間での対応の違い」	から、経	費負担	こついて等の理由で各
取り	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)			
それぞれの地区での設置の際の経緯が違うため、各地区を同一基準で指定管理者の導入を行うことが難しいと感じた。								
平月	成23年度	要中の実施目標(P)						
	平成24年度から荒川地区の児童公園の指定管理者制度導入に向けて、神林地区との整合性を含め、十分検討を行い、関係集落への理解を得られるよう、説明会を行い、準備を行う。							
<u> </u>	ポクク年 庄	要評価(行革担当)(C)		非常	こ良い		C 悪い	1
+/	ルムトナタ	zalim(11 千3ピコ)(C)		良い((計画どおり)	>	D 非常	だに悪い
所管詞	果の評価	iのとおり、D評価とした						

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
十成22年度計劃(本部去議)(で)	□ B 良い(計画どおり)	☑ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)		善が見られないことを指摘する意見等)
	□ その他(上記に該当しない個別	怠見)
具体的意見·要望(A)		
(取り組み内容に対する意見や、来年	度に向けての要望がある場合に記載)	

	入日	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員	会
(確言	忍日)	平成23年6月29日	平成23年	₹6月30日	平成23年7月11日	平成23年	₹8月1日	個別意見	無
取組	l内容	地域密着型で地区限 【児童遊園地、農村公		の	体制コード		4-2-1-3		
所	管	農林水産課 農	業振興	室	担当者·内線番号		山田広良 (内線)344		
	H21	検討·実施		H21	-		H21	-	
取	H22		目標	H22	-	成	H22	-	
組時	H23		標数	H23	-	果数	H23		
期	H24		植	H24	-	植	H24		
7.43	後期		'-	(単・	<u></u>	,_	(単	位:人、%、円な	よど)
平月	成21年度	取り組み内容(D)	•						
よる指定	平成21年度より5箇所の農村公園を地区の公園として、一定の管理権限をもって自主的な運営を行うため地区による指定管理とした。また、門前せせらぎ公園は都市部住民との交流機会の拡大と地区の活性化の推進を目的とし、海府ふれあい広場はさらに地域特産品の消費拡大につながる運営を目指して指定管理とした。								
平月	成22年度	医中の実施目標(P)							
平成2	23年度よ	り荒川地区を指定する	ためのシ	隼備を行	· う。				
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
	荒島地区·海老江·切田·佐々木の荒川地区農村公園の他、高根交流広場及び大須戸ため池農村公園管理団体 を指定管理者に指定。								
取!)組みに	ついての成果(C)							
朝日均	也区の2	公園は当初予定してい	なかった	たが、有値	賞による指定管理として	指定した	た。		
77 5	せつつ任 庄	を評価(所管)(C)		非常に	こ良い		C 悪い	١	
+1.	IX.42 11 IS		✓ E	3 良い(計画どおり)		D 非常	きに悪い	
朝日均	也区の公	∖園の指定管理を前倒し	ご指定	できた。					
取!	組みに	ついての感想(成功理)	由·反省	点など)	(A)				
	門前せせらぎ公園においてはホタルの保護育成に取り組んでおり、鑑賞者の利用もあり年々利用者数(H20:6067人、H21:9344人、H22:9585人)が増加している。								
平成23年度中の実施目標(P)									
	21年度か 討を行う	\らの指定管理期間は< ⟩。	今年度で	終了する	るため、指定管理を更新	新するに	あたり有	ī償の施設につ	いて料
37 5	ポック年 柱			・ 非常に	こ良い		C 悪い	1	
+ /	以44十岁	2月1四(1] 半523)(し)	✓ E	3 良い(計画どおり)		D 非常	に悪い	
なお、	果評価に 当該集 ろめるこ	落を対象にした限定指:	定である	ため、所	f管課には市民に対す。	る十分な	:説明を1	テい、行き違い	 等がな

印刷日:2011/10/20

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い								
十成22千发計圖(本部安徽)(で)	✓ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い								
行革担当評価に同じ。	行革担当評価に同じ。									
	□ 良好(先進的な取り組みや、事業	養内容を高〈評価する意見等)								
行革委員会個別意見(C)	□ 要改善(事業が遅れている、改善	喜が見られないことを指摘する意見等)								
	□ その他(上記に該当しない個別)	意見)								
具体的意見·要望(A)										
(取り組み内容に対する意見や、来年)	度に向けての要望がある場合に記載)									

記力	\日	担当者	所属	 属長	行革担当	本部	会議	行革委員会		
	2日)	平成23年6月30日 平成23年7月1日		平成23年7月13日	平成23年8月1日					
取組	地元企業等の条件付金 取組内容 るもの【火葬場、朝日み ルフ場】				体制コード		4	4-2-1-4		
所	管	環境課			担当者·内線番号	土田 孝·272				
	H21	検討·実施		H21	-	_15	H21	-		
取 組	H22		目標	H22	-	成里	H22	-		
時	H23		数	H23	-	果 数	H23	-		
期	H24		値	H24	-	値	H24			
- TZ F	後期	 取り組み内容(D)		(里)	位:人、%、円など)		(里	位:人、%、円など)		
平原し尿処	村上火葬場「無相院」及び山北火葬場で実施した。 平成22年度中の実施目標(P) し尿処理場の指定管理者の選定を「合特法」に係る代替業務として、関係する業者で行いたい。 平成22年度取り組み内容(D)									
し尿処理場の指定管理者を「合特法」に係る代替業務として、関係する業者で組織される企業体に選定した。 取り組みについての成果(C)										
「合特	法」に基	Ęづ⟨代替業務として、 i	5内収集	運搬 4	業者で設立した企業に	業務を提	と供した。			
ΨF	ポクク年 度	[評価(所管)(C)		非常	こ良い		C 悪い	1		
十//	W44+12		\ \ 	3 良い	(計画どおり)		D 非常	常に悪い		
予定と	どおり実	行されている。								
取り	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)					
平月	成23年度	臣中の実施目標(P)								
平成2	平成24年度に指定管理者を更新する荒川火葬場の準備を行う。									
亚 F	世 第22年度	[評価(行革担当)(C)		非常			C 悪い			
1 //	~~	CH I I岬 (I J 구 J = 리 / (C)	✓ E	3 良い	(計画どおり)		D 非常	常に悪い		
所管詞	果評価に	:同じ。								

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
十成22千度計劃(本部去議)(()	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事: □ 要改善(事業が遅れている、改: □ その他(上記に該当しない個別	善が見られないことを指摘する意見等)
 具体的意見·要望(A)		感光)
	度に向けての要望がある場合に記載)	

人日	担当者			行革担当			行革委員会
2日)	平成23年6月13日	平成23年	6月17日	平成23年7月11日	平成23年	₹8月1日	個別意見 無
内容					4	4-2-1-4	
管	商工観光課 み	どりの目	1	担当者·内線番号		田嶋雄涛	羊 72-1551
H21	検討·実施		H21	-		H21	-
H22		目	H22	-	成	H22	-
H23			H23	-	果	H23	
H24			H24	-		H24	
後期			(単1	位:人、%、円など)		(単·	位:人、%、円など)
	 取り組み内容(D)		,	,		,	,
成22年度	5中の実施目標(P)						
・第4回定例会で、条例改正案を提出する。 ・規則改正案を作成し、規則の改正を行う。 ・業務仕様書作成等の準備を進める。							
平成22年度取り組み内容(D)							
【朝日みどりの里】 ·第4回定例会で、条例改正案を提案し、議決された。 ·規則改正案を作成し、規則改正を行った。 ·業務仕様書作成等の準備を進めた。							
組みに	ついての成果(C)						
女正につ	いても、年度内に終え	ることが	できた。	会に提案し、議決された	-0		
成22年度	[評価(所管)(C)					C 悪l	
			ン 区(I)	可凹しのリ)	<u> </u>	ν 非fi	うに芯り
・条例改正及び規則改正については、着手はしたものの、計画どおり進んだ。 ・業務仕様書作成等については、思ったほど進まなかった。							
組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)			
・年度末に、業務仕様書作成等に取り組んだが、新年度の準備や年度末の整理業務と重なり、思いどおりには進まなかった。							
成23年度	性中の実施目標(P)						
24年4月	1日から、指定管理され				付して		
— —— 成22年度						C 悪l D 非常	に悪い
	R 内 管 H21	平成23年6月13日 中内容 中元23年6月13日 中内容 地元企業等の条件付きるもの【火葬場、朝日記 ルフ場】 管 商工観光課 み 日22 日23 日24 接妻 中の実施目標(P) 定例会で、条例改正案を提正を支援書作成等の準備を進める。 対22年度取り組み内容(D) 定例会で、条例改正案を提正を支援書作成等の準備を進めた。 対22年度取り組み内容(D) 定で例会で、条例改正案を提案で成場である。 対22年度取り組み内容(D) 定については、当初予定どおえば書作成等に着手して、準備を進めた。 対22年度評価(所管)(C) な正については、当初予にどおえば、年間では、当初予にでが、準備では、第十分にでは、当初では、第十分にでは、当初では、第十分にでは、第十分にでは、第十分にでは、第十分にでは、第十分にでは、第十分にでは、第十分にでは、第十分にでは、第十分にでは、第十分に対象を表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表し、表	平成23年6月13日 平成23年 中元企業等の条件付公募で選るもの[火葬場、朝日みどりのルフ場] 一番 日標 日標 日標 日標 日標 日標 日標 日	平成23年6月13日 平成23年6月17日 地元企業等の条件付公募で選定するもの[火葬場、朝日みどりの里 1	平成23年6月13日 平成23年6月17日 平成23年7月11日 地元企業等の条件付公募で選定するもの(火葬場、朝日みどりの里 担当者・内線番号 H21 検討・実施 H22 - H22 H23 - H24 - (単位:人、%、円など) H24 - (単位:人、%、円など) 日本学に成等の準備を進める。 大変工業を作成し、規則の改正を行う。 上楼書作成等の準備を進める。 大変工業を作成し、規則の改正を行う。 上楼書作成等の準備を進めた。 上楼書作成等の準備を進めた。 日本学に入りいての成果(C) 日本学に入りには、当初予定どおり、第4回定例会に提案し、議決された。 日本学に入りには、当初予定とおり、第4回定例会に提案し、議決された。 日本学に入りには、生物・大変正常を作成等に着手して、準備を進めた。 日本学に入りには、生物・大変正については、年度内に終えることができた。 日本学に入りませます。 日本学に入ります。 日本学に入りまり。 日本学に入ります。 日本学に入ります	平成23年6月13日 平成23年6月17日 平成23年7月11日 平成23年7月11日 平成23年7月11日 平成23年7月11日 平成23年7月11日 中元23年7月11日 中元23年7日 中元23年7日 中元23年7日	平成23年6月13日 平成23年6月17日 平成23年8月1日 平成23年8月1日 平成23年8月1日 平成23年8月1日 平成23年8月1日 中元企業等の条件付公募で選定するもの「火葬場、朝日みどりの里、ゴルフ場 担当者・内線番号 田嶋雄:ルフ場 日標 日報・大学 日本・大

平成22年度中の取り組みについては予定どおり進んでいるため、所管課の評価のとおり、B評価とした。 今年度については、かなり規模の大きい施設のため、十分な検討の時間が取れるよう、早めの取り組みに努めること。

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
十成22千度計劃(本部去議)(()	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事: □ 要改善(事業が遅れている、改: □ その他(上記に該当しない個別	善が見られないことを指摘する意見等)
 具体的意見·要望(A)		感光)
	度に向けての要望がある場合に記載)	

	記入日 担当者 所属長		属長	行革担当	本部	会議	行革委員	会	
(確言	認日)	平成23年7月1日	平成23年	年7月1日	平成23年7月19日	平成23年	₹8月1日	個別意見	有
取組	取組内容 指定管理者制度導入の		の数値目	D数値目標 体制コード				1-2-1-5	
所	管	財政課行政統	経営係		担当者·内線番号		高橋洋一(内線327)		
	H21	-		H21	132施設		H21	132施設	
取	H22	-	且	H22	133施設	成	H22	153施記	<u>፲</u>
組時	H23	-	標数	H23	171施設	果数	H23		
期	H24	-	値	H24	245施設	値	H24		
,,,,	後期	-	'-	導力	\施設数(4月1日)	"_	導入施	設数(翌年度4	月1日)
平月	成21年度	取り組み内容(D)	•						
	山北火葬場について、予定どおり指定管理者を導入したが、施設の廃止(天神岡テニスコート)により、平成22年度 4月1日時点での導入は132施設となった。								
平月	成22年度	医中の実施目標(P)							
予定(設としま		とに加え、高根交流広場	易を1年前	が倒しして	「制度導入し、平成23年	€4月1日	の指定管	管理施設数は、	171施
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
	公募:1施設(ゴルフ場)、限定指定:20施設(農村公園6、し尿処理場、学童保育所2、夕日会館等2、神林地区体育施設9)の指定手続を行った。								
取り	〕組みに	ついての成果(C)							
経	費比較(「図られた。 該当施設分) H23)234,138千円 -	(H22)30)4,010 千	円 = 69,872千円(行政:	経営係算	[出)	
77.5	ポック年度			・ 非常に	こ良い	✓	C 悪い	l	
+1.	双22十层			3 良い(計画どおり)		D 非常	に悪い	
目村	標数値に	早〈指定管理者を導入 はその年度当初における 含めて記載した。						定管理導入手	続きを
取点	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)				
「施設」	指定管理者制度の理解や事務手続きの遅れなどから、目標に至らなかったところがあった。 「施設見直し計画」による実施方針からの変更 ・導入年度繰り上げ及び追加 11施設(農村公園2・体育施設9) ・導入年度繰り下げ及び方針変更 28施設(駐車場1・ディサービスセンター1・いこいの家3・農村公園23)								
平月	平成23年度中の実施目標(P)								
		:(老人福祉センター1・コミ: 3)について指定管理者				₺33·⊒ミュ	ニティセンタ	- 1 · みどりの里	!関連
₩.F	式22年度	要評価(行革担当)(C)		非常に		✓	C 悪い		
17.	~~-∠-⊤ <i>I</i> ∑	EHI		3 良い(計画どおり)		D 非常	に悪い	
所管語	課評価に	:同じ。							

┃ 平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	✓ C 悪い
十7,022千皮計圖(本即安俄)(で)	□ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
	□ 良好(先進的な取り組みや、事業	美内容を高〈評価する意見等)
行革委員会個別意見(C)	□ 要改善(事業が遅れている、改善	善が見られないことを指摘する意見等)
	☑ その他(上記に該当しない個別)	意見)
具体的意見·要望(A)		
一定のルールや制度設計が不足して	小る感がある。	

	入 目	担当者		属長	行革担当		会議	行革委員:	会
(催言	(確認日) 平成23年6月28日 平成23年6月30日		平成23年7月13日	平成23年	F8月1日	個別意見	無		
取組	取組内容 公園施設業務委託の内容、範囲の見 直し			体制コード	4-2-2-1				
所	·管	山北支所 地	域福祉詞	果	担当者·内線番号		渡辺	. 律子 243	
	H21	見直し	_	H21	•		H21	•	
取	H22		目	H22	-	成	H22		
組 時	H23		標 数	H23	-	果数	H23		
期	H24		値	H24	-	値	H24		
	後期		,	(単位	な:人、%、円など)		(単	位:人、%、円な	(ど)
平月	成21年度	取り組み内容(D)							
平月	平成22年度中に児童公園としての施設の廃止について、管理者(総代)をとおして地域住民に周知を図った。 平成22年度中の実施目標(P)								
		設置効果もないため廃	止とする)					
平月	成22年度	と取り組み内容(D)							
【府屋	児童公	園】施設設備等(水道施	設、樹っ	木)の撤去	、条例廃止				
取!	〕組みに	ついての成果(C)							
		^かる費用が不用となる 途廃止することにより、					პ .		
777 (ポック年氏	を評価(所管)(C)		4 非常に	良い		C 悪い	١	
+1.	以22 11 15		<u> </u>	3 良い(言	十画どおり)		D 非常	は悪い	
施設身	見直し計	画に示されたとおりに覧	実行され	いた 。					
取点	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	A)				
		₽解もあり、また地域住 ♪された。	民が施記	役の維持領	管理を受託することが 図	国難にな	ったこと	もあってスムー	ズに廃
平月	成23年度	要中の実施目標(P)							
目標道	目標達成済みによりなし								
亚 F	式22年度	要評価(行革担当)(C)					C 悪い		
1 7.	~~- <u>-</u>	CHIIM(17 +1==1)(C)	✓ [3 良い(言	十画どおり)		D 非常	に悪い	
所管詞	果評価に	に同じ。							

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い							
十1,0,22千皮計圖(本即去職)(で)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い							
行革担当評価に同じ。									
	□ 良好(先進的な取り組みや、事業	内容を高〈評価する意見等)							
行革委員会個別意見(C)	□ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)								
	□ その他(上記に該当しない個別意	見)							
具体的意見·要望(A)									
(取り組み内容に対する意見や、来年	度に向けての要望がある場合に記載)								

≐⊐ 1	۵ 🗆	担当者	所属	星星	行革担当	木邨	会議	行革委員会		
記入日 (確認日)		平成23年6月20日		6月21日	平成23年7月13日	本部会議平成23年8月1日		個別意見 無		
`	内容	アウトソーシングの拡張			体制コード	1 13,220		1-2-2-2		
515	· 答		i⊵ ż⊡ żı⊦√3	á	担当者·内線番号		田山和	 仁(内線367)		
F/I	所管 介護高齢課高齢福祉 H21				2011年1月1日 101日 101日		ш Т лµ Н21	(Y J		
取	H22		目	H21 H22	-	成	H22	_		
組	H23	 実施	標	H23	_	果 数	H23			
時 期	H24	<i>∠</i> ,,,,,	数 値	H24	_	数 値	H24			
知	後期		但		 位∶人、%、円など)	IL.		位:人、%、円など)		
後期 (単位:人、%、円など) (単位:人、%、円など) (単位:人、%、円など) で成21年度取り組み内容(D)										
- 平成22年度中の実施目標(P) -										
平月	成22年度	取り組み内容(D)								
老人福祉センターあかまつ荘の温泉配管及びボイラー施設の維持管理について、これまで故障時の修理で対応 していたものを年間維持管理委託契約とした。事前にメンテナンスを行うことで、故障やトラブルがな〈なり、これに 伴う運営の中止や閉館が激減した。										
取り	組みに	ついての成果(C)								
		や機器の故障が減った。 かけるということが非常				ことと、来	そていたか	だいた利用者に運営中		
77.5	北つつ午 庄	要評価(所管)(C)	V A	非常	こ良い		C 悪い	١		
十八	以22十岁		□ B 良い(計画どおり) □ D 非常に悪し				だに悪い			
H21年	€度と比∮	蛟して、入浴施設に <i>かた</i>	かるトラフ	ブルが激	(減し、利用者に迷惑を	かけるこ	ことが非り	常に少なくなった。		
取り	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)					
	メンテナンス方法について、回数やメンテナンスの範囲や部品などの細部設定が必要と思っている。ただ、1年間だけの実績であるため、今後の委託方法について見直していきたい。									
平成23年度中の実施目標(P)										
平成2	平成24年度から指定管理が予定されており、これに向けて委託契約の内容について内容の精査と調整を行う。									
平月		要評価(行革担当)(C)		非常(C 悪い			
, ,-	. , ,,,			8 良い((計画どおり)		D 非常	だに悪い		
		・グの導入により、非常 等を検証し、指定管理者					のとおり、	A評価とした。		

┃ 平成22年度評価(本部会議)(C)	✓ A 非常に良い	□ C 悪い
十成22年及計圖(本部去議)(し)	□ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
 行革担当評価に同じ。		
	□ 良好(先進的な取り組みや、事業	業内容を高〈評価する意見等)
行革委員会個別意見(C)	□ 要改善(事業が遅れている、改善)	善が見られないことを指摘する意見等)
	□ その他(上記に該当しない個別)	意見)
具体的意見·要望(A)		
(取り組み内容に対する意見や、来年	度に向けての要望がある場合に記載)	

記	1日	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会		
(確記	忍日)	平成23年7月1日	平成23年7月1日		平成23年7月13日	平成23年	₹8月1日	個別意見 無		
取組	内容	アウトソーシングの拡張	充·実施		体制コード	4-2-2-2				
所	·管	下水道課 管理	里業務室	<u> </u>	担当者·内線番号		中村	豊昭·214		
H21				H21	-		H21	-		
取 組	H22		目標数:	H22	-	成	H22	-		
組 時	H23	実施	紫	H23	-	成 果 数 値	H23			
期	H24		値	H24	-	値	H24			
後期 (単位:人、%、円など) (単位:人、%、										
平月	成21年度	取り組み内容(D)								
平方	以22年長	医中の実施目標(P)								
1										
平月	成22年度	関リ組み内容(D)								
施設の維持管理を中心にほとんどの業務をアウトソーシングしているので拡大は見込めないが、平成23年度からの組織改革に伴う支所業務の本庁への移管を検討した。										
取!	組みに	ついての成果(C)								
平成2	:3年度に	こ入り、円滑に業務を遂	行してい	1る。						
平月	成22年度	を評価(所管)(C)		4 非常I 3 良い	こ良い(計画どおり)		C 悪い D 非常) なに悪い		
			<u> </u>	2 (41)	(ппсо))		יי אריו	1000		
平成2	2年度に	検討したように現在す	すめてに	いる。						
取!	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)					
支所訓	取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A) 支所業務の本庁への移管にあわせ、発注単位や業務内容の再検討が必要な業務もある。									
平月	成23年度	関中の実施目標(P)								
発注単位や業務内容の再検討を行ないアウトソーシングの充実を図る。										
₩.	せつつ生 中	· 拉布 / 汽车中 4 / / C /		非常	こ良い		C 悪い	١		
' 	以44十岁	E評価(行革担当)(C)	V	良い	(計画どおり)		D 非常	に悪い		
所管語	果評価に									

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い							
十100.224皮計圖(本即安俄)(C)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い							
行革担当評価に同じ。									
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高〈評価する意見等)							
行革委員会個別意見(C)	□ 要改善(事業が遅れている、改善)	□ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)							
	□ その他(上記に該当しない個別	意見)							
具体的意見·要望(A)									
(取り組み内容に対する意見や、来年	度に向けての要望がある場合に記載)								

記入	ΛĦ	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	 行革委員会		
	2日)	平成23年7月1日	平成23年7月1日		平成23年7月19日	平成23年8月1日		個別意見 有		
取組	内容	一元管理できる体制の)見直し	·実施	体制コード		4	1-2-2-3		
所	管	財政行政経	営係		担当者·内線番号		高橋洋	一(内線327)		
	H21	見直し		H21	-		H21	-		
取	H22		目	H22	-	成	H22	-		
組 時	H23	実施	標 数	H23	-	果 数 値	H23			
期	H24		値	H24	-	値	H24			
後期 (単位:人、%、円など) (単位:人、%、円										
平成21年度取り組み内容(D)										
平成22年度に行財政改革推進プロジェクトでワーキング部会を組織し、見直しすることとしました。										
平月	以22年度	[中の実施目標(P)								
組織己	女革ワー	キング部会で見直しを	行います	5 .						
平月	成22年度	取り組み内容(D)								
担当部署の一元化は行わず、H23組織機構改革に合わせた見直しは行わなかった。										
取り	組みに	ついての成果(C)								
特にな	ιl									
₩.	まっつ午 由	三並(形容)(C)		非常	こ良い	>	C 悪い			
'' '	以22年度	評価(所管)(C)		3 良い((計画どおり)	に悪い				
部制 <i>が</i> たため。		への変更を主とした組	織機構	改革にお	らいては、大幅な業務の)異動は	行わず、	見直しを行わなかっ		
取以	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)					
見直し	にあた	っては、担当課のヒアリ	リングな。	ども必要	と考える。					
平月	成23年度	中の実施目標(P)								
今後予定される組織改革等に合わせ、検討を行っていきたい。										
<u> 77</u>	ポクク午 府	評価(行革担当)(C)		↓ 非常	こ良い	\	C 悪い	<u> </u>		
+ /	ルムム十 反	·····································		3 良い((計画どおり)		D 非常	に悪い		
所管詞	果評価に									

┃ 平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	C 悪い
十成22年及計劃(本部去議)(()	□ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事 □ 要改善(事業が遅れている、改 □ その他(上記に該当しない個別	善が見られないことを指摘する意見等)
具体的意見·要望(A)		
一定のルールや制度設計が不足して	いる感がある。	

記力	λ 🗆	担当者	所属長		行革担当	本部	会議	行革委員会			
	忍日)	平成23年6月30日	平成23年7月1日			平成23年8月1日		個別意見 有			
取組	内容	保育園の年度別統廃	合の検言	寸	体制コード		4	4-3-1-1			
所	 ·管	 福祉課子育て	支援室		担当者·内線番号						
	H21	検討		H21	-		H21	-			
取	H22		目	H22	-	成	H22				
組 時	H23		標 数	H23	-	果数	H23				
期	H24		値	H24	-	値	H24				
7.10	後期		i.	(単	位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)			
平成21年度取り組み内容(D)											
- 平成22年度中の実施目標(P)											
		内での統廃合時期の	陝 訶。								
平月	成22年度	題取り組み内容(D)									
後期計画期間内での統廃合時期の検討を行う。											
Ħ∇ι	組みに	 ついての成果(C)									
		統合保育園」建設にむ 育園等施設整備計画第				り方につ	いてのか	情報収集を行い、検討			
平原	成22年度	を評価(所管)(C)			こ良い (計画どおり)		C 悪い D 非常	\ なに悪い			
計画的	りに進む)ことができず成果(C)。	とした。		,						
取点	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)						
計画的に取り組む中で、課題が発生した時の調整・修正が欠けていたことが反省点である。											
平成23年度中の実施目標(P)											
平成23年度保育園等施設整備計画の中で統廃合の時期等を検討する。											
亚目		要評価(行革担当)(C)		非常	こ良い		C 悪い	1			
T).	~~ <u>~</u> ~	си і іщ (і J Т ј= ⊐ <i>)</i> (С)		8 良い	(計画どおり)	✓	D 非常	は悪い			
平成2 なお、		『の実施目標よりも後退 な)荒川統合保育園』建				的に取り)組んで	ください。			

┃ 平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
十成22千度計圖(本部去議)(()	□ B 良い(計画どおり)	☑ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事業 □ 要改善(事業が遅れている、改業 □ その他(上記に該当しない個別)	善が見られないことを指摘する意見等)
具体的意見·要望(A)		
未就学児の処遇について遅れがちで	あり、地域づくりの根幹を置き去りにして	ている 。

記力	\日	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会			
	2日)	平成23年6月14日	平成23年7月1日			平成23年8月1日		個別意見 有			
取組	内容	荒川地区3保育園の約	充合·新記	殳	体制コード		4	1-3-1-2			
所	管	福祉課子育て		担当者·内線番号	渡辺明美 241						
	H21	計画		H21	-		H21	-			
取 組	H22	設計	目標	H22	-	成甲	H22	-			
時	H23	工事	数 数	H23	-	果 数	H23				
期	H24	開園	値	H24	-	値	H24	//			
後期 (単位:人、%、円など) (単位:人、%、円など											
新年度への測量(基本計画)業務委託料の予算化。 平成22年度中の実施目標(P)											
設計盟	設計監理業務委託契約の締結。										
平月	成22年度	関リ組み内容(D)									
荒川地区に計画されている「(仮称)荒川統合保育園」について、測量並びに敷地調査、基本計画業務委託を行い、実施設計に向けた基本計画書を作成した。											
取以	組みに	ついての成果(C)									
		画作成業務委託の成界 :民が不安に感じている					区長等に	数回にわたり説明会			
平石	∜22年度	要評価(所管)(C)		非常		\	C 悪い				
1 /3	W 1 /S	ен іш (// ш / (с /		8 良い	(計画どおり)		D 非常	なに悪い			
て導入	する指定	こついて、面積が狭く、2 E管理者制度導入につい が困難となったため。									
取以	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)						
市が初めて導入する指定管理者制度導入についての考え方を説明するが、地元議員をはじめ保護者の方々から、理解を得ることが困難であった。											
平反	平成23年度中の実施目標(P)										
を行い、	建設検討委員会を立ち上げ、荒川地区の子育て支援施設にふさわしい統合保育園を建設するために必要な協議を行い、実施設計に反映するための提言をいただく。 更に、プロポーザル審査委員会を立ち上げ、実施設計業者の選定を行い、実施設計業務を着手する。										
平月	成22年度	要評価(行革担当)(C)		非常1			C 悪い				
				8 良い	(計画どおり)	V	D 非常	は悪い			
		ラ 定から大幅に遅れては 記載されているように、国						f管)や取り組みについ			

印刷日:2011/10/19

┃ 平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
十成22千度計圖(本部去議)(()	□ B 良い(計画どおり)	☑ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事業 □ 要改善(事業が遅れている、改業 □ その他(上記に該当しない個別)	善が見られないことを指摘する意見等)
具体的意見·要望(A)		
未就学児の処遇について遅れがちで	あり、地域づくりの根幹を置き去りにして	ている 。

記入日		担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会		
(確記	忍日)	平成23年6月30日	平成23年7月1日		平成23年7月13日	平成23年8月1日		個別意見 有		
取組	内容	上海府保育園の瀬波 廃合の検討、用地取得		への統	体制コード		4	1-3-1-3		
所	·管	福祉課子育て	支援室		担当者·内線番号		渡辽	Q明美 241		
	H21	検討		H21	-		H21	-		
取	H22		目	H22	-	成	H22	-		
組 時	H23	用地取得	標 数	H23	-	果 数	H23			
期	H24	設計	値	H24	-	値	H24			
7.43	位:人、%、円など)									
後期 (単位:人、%、円など) (単位:人、%、Muxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx										
	用地取得に向けての調査。									
平月	页22年度	医中の実施目標(P)								
統廃部	合の手法	の検討。								
平月	成22年度	取り組み内容(D)								
「(仮称)荒川統合保育園」建設にむけて重点的に取り組んだ為、施設のあり方についての情報収集を行い、検討 を行ったが、保育園等施設整備計画策定にまでは至らなかった。										
平月	页22年度	[評価(所管)(C)		3 良い(計画どおり)		D 非常	に悪い		
計画的	りに進む	ことができず成果(C)	とした。							
取!	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)					
計画的	りに取り	組む中で、課題が発生	した時の	D調整·ſ	修正が欠けていたこと7	が反省点	気である 。			
平月	成23年度	臣中の実施目標(P)								
平成2	平成23年度保育園等施設整備計画の中で統廃合の時期等を検討する。									
平月	成23年度	臣中の実施目標(P)								
平成2	平成23年度中の実施目標(P) 平成23年度保育園等施設整備計画の中で統廃合の時期等を検討する。									
平月	成22年度	[評価(行革担当)(C)		・非常 良い	こ良い 計画どおり)	□	C 悪い D 非常	に悪い		
TZ Ctto	00年由土	の字体日挿上川も後ょ	31 7 113	z 七 从 「	>===/ボレー +_					

平成22年度中の実施目標よりも後退しているため、D評価とした。 なお、保育園の計画は現状どんどん遅れていっているので、整備計画では統廃合の時期等を決定するよう努める こと。

平成22年度評価(本部会議)(C)		Α	非常に良い		C	悪い				
十3,224支計圖(本部安議)(C)		В	良い(計画どおり)	>	D	非常に悪い				
行革担当評価に同じ。 										
		良	好(先進的な取り組みや、事	業内容を	を高	〈評価する意見等)				
行革委員会個別意見(C)		□ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等								
	V	そ	の他(上記に該当しない個別	意見)						
具体的意見·要望(A)										
未就学児の処遇について遅れがちでる	あり、:	地垣	ばづくりの根幹を置き去りにして	ている。						

こと。

記入日		担当者	所属	属長	行革担当	本部会議		行革委員会			
(確認日)		平成23年6月30日	平成23年7月1日		平成23年7月13日	平成23年8月1日		個別意見 有			
取組内容 市中心部の3保育園の		D集約の	検討	体制コード			1-3-1-4				
所	·管	 福祉課子育て	支援室		担当者·内線番号		渡辽				
	H21	検討		H21	-		H21	-			
取	H22		目	H22	-	成	H22	-			
組	H23		標数	H23	-	果 数	H23				
時 期	H24		数 値	H24	-	数 値	H24				
後期 (単位:人、%、円など) (単位:人、%、円など)											
平成21年度取り組み内容(D)											
今後の村上地区の保育園のあり方について検討を行った。 平成22年度中の実施目標(P)											
+7.	以22十点	を中の天心日信(「)									
集約日	集約についての検討。										
平月	成22年度	と取り組み内容(D)									
後期計画期間内での統廃合時期の検討を行う。											
型1247 はついての世界(C)											
取り組みについての成果(C)											
	「(仮称)荒川統合保育園」建設にむけて重点的に取り組んだ為、施設のあり方についての情報収集を行い、検討を行ったが、保育園等施設整備計画策定にまでは至らなかった。										
平月	成22年度	を評価(所管)(C)	□ <i>A</i>		こ良い (計画どおり)	✓	C 悪い D 非常	に悪い			
計画的	計画的に進むことができず成果(C)とした。										
取!	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)						
計画的に取り組む中で、課題が発生した時の調整・修正が欠けていたことが反省点である。											
平成23年度中の実施目標(P)											
平成23年度保育園等施設整備計画の中で統廃合の時期等を検討する。											
平月	 成22年度	藝評価(行革担当)(C)		・非常1 3 良い	こ良い (計画どおり)		C 悪い D 非常	い なに悪い			
	课評価に 保育園		 遅れてl	ハってい	るので、整備計画では	 統廃合(の時期等	穿を決定するよう努める			

印刷日:2011/10/19

┃ 平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	C 悪い
十成22年及計劃(本部去議)(()	□ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事員 □ 要改善(事業が遅れている、改員 □ その他(上記に該当しない個別	善が見られないことを指摘する意見等)
具体的意見·要望(A)		
未就学児の処遇について遅れがちで	あり、地域づくりの根幹を置き去りにして	ている。

記入日 (確認日)		担当者	所属	属長	行革担当	本部会議		行革委員会			
		平成23年6月30日	平成23年	₹7月1日	平成23年7月13日	平成23年	₹8月1日	個別意見 有			
取組内容 朝日地区5保育園の		朝日地区5保育園の第	集約の検討		体制コード		4	4-3-1-5			
所	 管	福祉課子育て	支援室		担当者·内線番号			□明美 241			
	H21	検討		H21	-		H21	-			
取	H22	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	目	H22	-	成	H22	-			
組	H23		標数	H23	-	果 数	H23				
時 期	H24	数 <u>H23 - </u> 数 数 值		H24							
期											
平成21年度取り組み内容(D)											
- 平6	- 平成22年度中の実施目標(P)										
集約日	集約についての検討。										
平月	平成22年度取り組み内容(D)										
後期計画期間内での統廃合時期の検討を行う。											
取り組みについての成果(C)											
	「(仮称)荒川統合保育園」建設にむけて重点的に取り組んだ為、施設のあり方についての情報収集を行い、検討 を行ったが、保育園等施設整備計画策定にまでは至らなかった。										
₩.	世22年氏	[評価(所管)(C)		非常	こ良い	>	C 悪い	١			
+ /-	以22十15			3 良い	(計画どおり)		D 非常	さに悪い			
計画的	計画的に進むことができず成果(C)とした。										
取以	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)						
計画的に取り組む中で、課題が発生した時の調整・修正が欠けていたことが反省点である。											
平历	成23年度	医中の実施目標(P)									
平成2	平成23年度中の実施日標(下) 平成23年度保育園等施設整備計画の中で統廃合の時期等を検討する。										
平日		[評価(行革担当)(C)		非常		V	C 悪い				
, ,,				3 良い	(計画どおり)		D 非常	官に悪い			
所管証	所管課評価に同じ。										

なお、保育園の計画は現状どんどん遅れていっているので、整備計画では統廃合の時期等を決定するよう努める こと。

┃ 平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	C 悪い
十成22年及計劃(本部去議)(()	□ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事員 □ 要改善(事業が遅れている、改員 □ その他(上記に該当しない個別	善が見られないことを指摘する意見等)
具体的意見·要望(A)		
未就学児の処遇について遅れがちで	あり、地域づくりの根幹を置き去りにして	ている。

	記入日担当者			属長	行革担当	本部会議		行革委員			
(惟言	認日)	平成23年6月23日	平成23年	F6月23日	平成23年7月13日	平成23年8月1日 個別		個別意見	無		
取組	内容	集落集会施設の移譲	の検討		体制コード	4-3-2-1					
所	f管	朝日支所地域振興	課自治振	室興家	担当者·内線番号		岩沢	深雪(207)			
	H21	検討		H21	•		H21	•			
取	H22]且	H22	-	成	H22				
組時	H23		標数	H23	-	果数	H23				
期	H24		値	H24	-	値	H24				
	後期 (単位:人、%、円など) (単位:人、%、円など)										
平月	平成21年度取り組み内容(D)										
	・施設改革シートの作成(特に建設時の補助金等の名称)により、対象施設の見極めを行った。 平成22年度中の実施目標(P)										
1 /	JWEE - 134										
	・施設移譲に向けた具体的なスケジュールを検討、これに基づき指定管理者(27集落区長)に周知を図る。 ・譲渡先(法人格等の有無)の調査実施。										
平月	成22年度	夏取り組み内容(D)									
·ワーキ 成。)	・集落集会施設検討ワーキング部会の設置。 ・ワーキング部会の取り組み。(施設移譲に向けた取り組み整理。施設個別概要表・移譲に向けたスケジュール作成。) ・指定管理者へ移譲に向けた市の方針を説明。(法人格の取得、登録免許税等)										
取り	取り組みについての成果(C)										
	・平成24年度施設移譲予定先である17集落について、地縁団体の認可手続きを完了することが出来た。 ・国県と補助事業に係る「財産処分報告」の事前協議、或いは事前協議前の協議を完了すること出来た。										
平月	成22年度	要評価(所管)(C)	\vdash	4 非常に			C 悪い				
			✓ E	3 良い(計画どおり)		D 非常	に悪い			
	・平成24年度施設移譲予定先17集落について、市の取り組みを十分に理解していただき、認可地縁団体設立、登録 免許税の確保等相手先としての体制を整えることが出来た。										
取!	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)						
・集落集会施設の移譲において、指定管理者(集落区長)の理解が十分得られたことは大変有難いことであった。それが円滑な認可地縁団体設立に繋がったと思う。											
平成23年度中の実施目標(P)											
·補助·行政	平成24年度施設移譲予定17施設について ・補助事業財産処分手続きの完了 ・行政財産用途廃止手続き ・市有財産譲与仮契約										
址 F	式22年度	要評価(行革担当)(C)		非常に			C 悪い				
1 /	-~ TIS	CHI IM (13 — J— —) (C)	✓ E	3 良い(計画どおり)		D 非常	に悪い			
所管語	課評価に	:同じ。									

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い									
十成22千发計圖(本部安徽)(で)	✓ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い									
行革担当評価に同じ。											
	□ 良好(先進的な取り組みや、事業	養内容を高〈評価する意見等)									
行革委員会個別意見(C)	□ 要改善(事業が遅れている、改善	□ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)									
	□ その他(上記に該当しない個別)	意見)									
具体的意見·要望(A)											
(取り組み内容に対する意見や、来年)	度に向けての要望がある場合に記載)										

記力	\日	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会				
	2日)	平成23年7月1日	平成23年	F7月1日	平成23年7月19日	平成23年	₹8月1日	個別意見 無				
取組	内容	集落集会施設の移譲の	の実施		体制コード		4	1-3-2-2				
所	管	財政課行政約	圣営係		担当者·内線番号		高橋洋	一(内線327)				
	H21			H21	-		H21	-				
取	H22		目	H22	-	成	H22	-				
組 時	H23		標 数	H23	•	果数	H23					
期	H24	実施	値	H24	-	値	H24					
	後期 (単位:人、%、円など) (単位:人、%、円など)											
平月	平成21年度取り組み内容(D)											
- 平6	- 平成22年度中の実施目標(P)											
ワーキ	ワーキング部会を設置し、検討を行っていく。											
平月	成22年度	と取り組み内容(D)										
「集落集会施設検討ワーキング部会」を設置し、H24.4月の移譲に向け、市で必要となる手続きや集落において負担することとなる経費、地縁団体の設立等を協議し、該当集落等への説明を行った。												
取り組みについての成果(C)												
	移譲対象施設:72施設 うち H24.4移譲予定対象 61施設											
ΨF	ポクク年 度	を評価(所管)(C)		・非常	こ良い		C 悪い					
Τ/	1X,44+1S		✓ E	8 良い((計画どおり)		D 非常	は悪い				
当該隽	当該集落で対応していただ〈必要があるものなど、一定の方針をもって説明を行うことができた。											
取点	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)							
市の方針説明などにおいて対応が遅れたところがあったが、多くの集落で移譲する方針を受け入れていただい た。												
平成23年度中の実施目標(P)												
財産処分及び登記事項の手続きを進め、H24.4月の移譲を行っていく。												
377	平成22年度評価(行革担当)(C)											
+ /	以44十万	zaTIW(1] 半5일러)(C)	V	良い	計画どおり)		D 非常	で悪い。 で悪い				
	□ B 良い(計画どおり) □ D 非常に悪い □ D まの □ D まの											

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
十成22千度計劃(本部去議)(()	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事 □ 要改善(事業が遅れている、改 □ その他(上記に該当しない個別	善が見られないことを指摘する意見等)
 具体的意見·要望(A)		感光)
	度に向けての要望がある場合に記載)	

記入	\ \ 日	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会				
	平成23年7月1日		平成23年7月1日		平成23年7月22日	平成23年8月1日		個別意見 無				
取組	取組内容 再利用可能施設の利用			寸·実施	体制コード		4	1-3-3-1				
所	管	財政課			担当者·内線番号		須貝	l民雄・325				
	H21	検討		H21	-		H21	-				
取 組	H22		目	H22	-	成	H22	-				
時	H23	実施	標 数	H23	-	果数値	H23					
期	H24		値	H24	-	値	H24					
	後期 (単位:人、%、円など) (単位:人、%、円など) (単位:人、%、円など)											
平月	平成21年度取り組み内容(D)											
	用途廃止した施設の把握及び市民の有効利用のための貸付。 平成22年度中の実施目標(P)											
+7.	以22年总	を中の夫加日信(ア)										
再利用	再利用施設の全体把握を行う。											
平月	成22年度	取り組み内容(D)										
財産台帳の整備を実施した。計画的な解体処理を進めるため、普通財産(建物)解体処理計画を作成し、対象建物のリストを作成した。												
取り組みについての成果(C)												
リスト	リストを作成したことにより物件数等が把握でき、計画的な解体を実施するための基礎資料とすることができる。											
亚F	廿22年度	を評価(所管)(C)		非常			C 悪い					
, ,-	~ 1 <i>3</i>	curim (m m) (c)	✓ E	3 良い((計画どおり)		D 非常	に悪い				
計画と	どおりに	行っ た 。										
取点	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)							
緊急雇用創出事業を活用し、業務委託等により、集中的に作業を行ったことで取り組みが適切に行われた。建物が残存しているため、不動産の売却が敬遠されるケースもあることから、老朽化が進んだ建物については解体を行い、土地の売却を図る必要がある。												
平成23年度中の実施目標(P)												
倒壊や壁が落ちるなどの危険性があり、老朽化の進行した建物から優先して解体を進める。												
<u>11</u>	ポクク年 E	要評価(行革担当)(C)		↓ 非常	こ良い		C 悪い					
T).	ルムムナル	cp 叫(] 「]ニコ)(C)	₹ F	8 良い((計画どおり)		D 非常	なに悪い				
所管詞	果評価に	こ同じ。										

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
十成22千度計劃(本部去議)(()	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事 □ 要改善(事業が遅れている、改 □ その他(上記に該当しない個別	善が見られないことを指摘する意見等)
 具体的意見·要望(A)		感光)
	度に向けての要望がある場合に記載)	

記		担当者	所属	属長	行革担当	本部会議		行革委員会
(確記	忍日)	平成23年6月14日	平成23年	€6月20日	平成23年7月15日	平成23年8月1日		個別意見 有
取組	内容	協働のまちづくりについ	ハての暦	別	体制コード	5-1-1		
所	·管	自治振興課 自	治振興	室	担当者·内線番号		佐藤憲昭(331)	
	H21	実施		H21	•		H21	-
取	H22		目	H22	-	成	H22	-
組時	H23		標 数	H23	•	果数	H23	
期	H24		値	H24	-	数 值	H24	
	後期				位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)

平成21年度取り組み内容(D)

- ・H21.5.2号市報で、行政改革大綱の一方策として周知。
- ·H22.1.8 村上地区分館長会議において市民協働のまちづくり概要を説明。
- ·H22.2.18 各地区公民館長、公民館職員会議において市民協働のまちづくり推進プログラム(試案)を説明。
- ·H22.3.17 村上地区区長会役員会議において市民協働のまちづくり推進プログラム(試案)を説明。

平成22年度中の実施目標(P)

平成23年度から本格検討に入ることから、「協働」の意義やまちづくり協議会といった組織や人的・財政支援を含め、市報等により周知すると同時に条例や要綱を策定する。

平成22年度取り組み内容(D)

- ·H22.4.9~21 村上地区各区長会に市民協働のまちづくり推進プログラム、スケジュール説明
- ·H22.5.24 市職員向けメルマガ配信
- ·H22.6.18 村上地区公民館·分館長会議(協働のまちづくり推進スケジュールについて)
- ・H22.6.22 地区公民館・担当職員研修会(まちづくり組織、財政支援、地区公民館及び分館業務の考え方)
- ·H22.7.9 市ホームページに「市民協働のまちづくり」ページ立ち上げ
- ・H22.7.13 市議会会派「村上未来」勉強会(市民協働のまちづくり推進手法について)
- ·H22.7.20~28 各地区公民館·地域振興課との打合せ(自治振興室の業務量把握のための地区公民館業務調査)
- ·H22.7.30 村上地区公民館との打合せ(分館業務との棲み分けについての確認)
- ·H22.8~9月 各地区地域審議会(地域まちづくり組織設置区域について)
- ·H22.8.25 村上商工会議所青年部との意見交換会(村上地区の中心市街地での進め方について)
- ·H22.9.1 市報による市民協働のまちづくりについての周知
- ·H22.11.4 市職員(係長以上)研修会:元気な村上とするために~地域の一員として何をすべきか~(講師:小田切 教授)
- ・H22.12.17 市議会全員協議会(村上市地域まちづくり組織及び地域まちづくり交付金の交付に関する条例の骨子案)
- ·H23.2.21 市議会全員協議会(同条例の概要について)
- ·H23.3.25 定例会(同条例議決)
- ·H23.4.1 同条例施行

取り組みについての成果(C)

- 市組織再編に向けた調整及び市民協働のまちづくりに向けた市職員のスキルアップが図られた。
- ・市民への情報公開については、市報やホームページを利用した情報提供を実施してきたが、「協働」の言葉が先 行する形になったことは反省すべき点である。

平成22年度評価(所管)(C)		Α	非常に良い	С	悪い
平成22年及評価(別官)(C)	V	В	良い(計画どおり)	D	非常に悪い

・新たな取組みでもあり、市民に誤解を招かないように配慮したが、市民サイドに立った周知方法を工夫すべきであった。

取り組みについての感想(成功理由·反省点など)(A)

・合併への不満や行政内部の組織機構改革の中で、本市の重点施策である「市民協働のまちづくり」をどのように周知し、機運を高めていくかが、大きな壁であり、大変なエネルギーを必要とすることが改めて実感した。交付金という市税を利用し、地域や住民が輝くまちづくりは、地域力にかかっていることはゆがめないが、行政としてすべての職員が本気になり同じ汗をかくことが大切であり、また、やり直しがきかない大きな事業であるため、地域の意見に基づいたまちづくりを進めなければならない。

平成23年度中の実施目標(P)		
・市報や回覧のほか、地域毎に作成し ・各地区毎にフォーラムを開催し、協働	た広報やホームページによる協働意識 加意識や参画意識の醸成を図る。	の醸成をさらに推進する。
平成22年度評価(行革担当)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
, , ,	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
所管課評価に同じ。 なお、市報やホームページでの周知 に努めること。	が、当初に比べだんだん減ってきている	るので、内容の充実と周知方法の工夫
亚代00亿度证((大切人类)/(()	□ A 非常に良い	□ C 悪い
平成22年度評価(本部会議)(C)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
	☑ 良好(先進的な取り組みや、事業	美内容を高〈評価する意見等)
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善	喜が見られないことを指摘する意見等)
	☑ その他(上記に該当しない個別類	意見)
具体的意見·要望(A)		
なく取り組んでいると感じられた。	市民に協働の本質を伝えられる工夫を れている。また、職員間の理解度・スキ。 ない。	

・協働のまちづくりを推進していく上で、それぞれの地域や集落の歴史・風土などを十分尊重した議論、考査を要望したい。それには、広く市民への周知を行うとともに職員が積極的にその考え方を実践すべく地域にその力を注ぎ、地慣らしをして欲しい。人事交流などで市全体を俯瞰できる職員の養成も必要ではないか。

≐ ⊐ 1	\	担当者	新層	属長	行革担当	木의	会議	行某禾昌스	
記力 (確認	7.日 忍日)	平成23年6月14日		考 区 6月20日	1J 単担 ヨ 平成23年7月15日		<u> </u>	行革委員会 個別意見 有	
<u> </u>	内容	「市民協働のまちづく」			体制コード	1 130		5-1-1-2	
所	 管	自治振興課 自	治振興3	 室	担当者·内線番号	佐藤憲昭(331)			
	H21	作成		H21	-	H21 -			
取	H22		目	H22	-	成	H22	-	
組 時	H23		標 数	H23	-	果 数	H23		
期	H24		値	H24	-	値	H24		
	後期			(単	位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)									
	・H21.11「市民協働のまちづくり指針」を策定。 平成22年度中の実施目標(P)								
		,	. <u>ち</u> キ	ト み ##	進に向けた行動計画に	- 盗オ 2			
, th EC	けが関リリン	よりノバル性ノログノ	ム」でよ	この、1年	進に円17/217割計画は	- 貝 9 つ)		
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,							
·市民協	・市民協働のまちづくり推進プログラム策定 ・市民協働のまちづくり推進プログラムをよりわかりやすくした「はじめの一歩の考え方」を作成								
取り	組みに	ついての成果(C)							
·各種詢	税明会に	おいて、指針~はじめ	の一歩の	の考え方	ӯを使用し、できる限り∤	つかりや	すい説印	月に心がけた。	
平原	成22年度	[評価(所管)(C)		4 非常I 3 良い(こ良い (計画どおり)		C 悪い D 非常) ぎに悪い	
				200.	(шпсол)		7 7 7 7 7 7	, IC/6.V .	
に行革		「民協働のまちづくりの			たため、本市の独自性 行財政改革のツケを回			科の作成を行った。特ないことの誤解を払拭	
取以	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)				
	・指針をよりかみ砕いて、市民協働のまちづくりが行財改革の手法ではないことを、市民に周知したことにより、少しでも行政の下請けでないことを理解していただけるよう配慮した。								
平月	成23年度	性中の実施目標(P)							
・なし									
<u> </u>	ポクク午 柱	[評価(行革担当)(C)		非常	こ良い		C 悪い	1	
十八	ν-∠- - ΙΣ		V	8 良い	(計画どおり)		D 非常	官に悪い	
平成2	2年度中	ロの実施目標に定めた	計画通り	実施され	れたため、B評価とした	·			

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い			
十成22年度計劃(本部去議)(で)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い			
 行革担当評価に同じ。					
1] 单担当部侧に同じ。 					
	□ 良好(先進的な取り組みや、事業	業内容を高〈評価する意見等)			
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等				
	☑ その他(上記に該当しない個別	その他(上記に該当しない個別意見)			
具体的意見·要望(A)					

・市民協働のまちづくり、この考え方は新しい公共の考え方であり、市民が公共をつくり市民の利益につなげていかなければならない。公共は行政の都合で行うのではなく市民がやりたいと思う事を実行していく。また、行政は市民に見せたくない部分に、積極的に市民を参加させることが協働のまちづくりにつながっていくものと考えている。また地域の中に公共を支える民の力があることを認識しなければならないし、市民がコントロールできる行政が望まし

い。

・重要課題としている割には非常に遅れている。また、職員間の理解度・スキルの差が大き〈、そもそも論として、市としての取り組み姿勢がはっきり見えない。

・協働のまちづくりを推進していく上で、それぞれの地域や集落の歴史・風土などを十分尊重した議論、考査を要望したい。それには、広く市民への周知を行うとともに職員が積極的にその考え方を実践すべく地域にその力を注ぎ、地慣らしをして欲しい。人事交流などで市全体を俯瞰できる職員の養成も必要ではないか。

記》	入日	担当者	所原	属長	行革担当	本部	会議	行革委員	会
(確語	認日)	平成23年6月14日	平成23年	₹6月20日	平成23年7月15日	平成23年	₹8月1日	個別意見	 有
取組	l内容	協働のまちづくりにつ の開催	いての記	说明会	体制コード		5	5-1-1-3	
所	管	自治振興課 自	治振興	室	担当者·内線番号		佐藤:	憲昭(331)	
	H21	検討		H21	•		H21	-	
取	H22	実施	且	H22	-	成	H22	-	
組時	H23		標 数	H23	-	果数	H23		
期	H24		値	H24	-	値	H24		
	後期			(単1	位:人、%、円など)		(単1	位:人、%、円	など)
平月	成21年度	取り組み内容(D)	•	-					
		くりについての周知と同	司じ。						
+);	双22年5	関中の実施目標(P)							
市民I	こ対し、i	市報等による周知のほ	か、説印	用会を開	催し協働のまちづくり <i>の</i>	必要性	と参画意	意識を醸成する	,) _o
平月	成22年度	夏取り組み内容(D)							
· H22.7. · H22.8. · H22.9. · H22.1	.9 市ホ .26 朝E .1 市報 1.26 神村	寸上地区各地域区長会ームページへ市民協働 日地区嘱託員会議(市民 日地区属民協働のまちによる市民協働のまち 本地区区長会(市民協 地区区長会(同上	かペー! 民協働の づくりに	ジを立ち)まちづく ついて周	上げる りと地域審議会の意見]知	ŕ	て)		
取	ク組みに	ついての成果(C)							
の説明	会につい	し、本市の目指す市民 Nては、推進スケジュー 検討することとした。							
_	D -			4 非常(<u> </u>	V	C 悪い	1	
\\ }	戏22年度	を評価(所管)(C)		B 良い((計画どおり)		D 非常	に悪い	
し、不特	・現時点において想定される周知や説明会を行ってきたが、市民に対する説明が不足していたように思える。しかし、不特定多数への説明は、説明後のフォローアップ等を考慮しないと、誤解や感情論が先行することになりかねないことから、慎重に行う必要があると感じた。								
取「	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	<u>(点な</u> ど)	(A)				
・単なる市民協働のまちづくりに関する説明会では、市民参加の機運が薄いため、今日までの市民と行政の信頼関係、また、旧自治体毎にその手法も違っているようであるため、合併したとはいえ地区ごとの考え方や周知方法に一考を投じる必要があると感じた。									
平月	成23年度	要中の実施目標(P)							
·各自治	台振興室	職員による、地元説明	や意見	交換会を	E集落単位等で実施す	る。			

平成22年度評価(行革担当)(C)		Α	非常に良い	>	С	悪い	
十成22千度計圖(1] 半担当)(C)		В	良い(計画どおり)		D	非常に悪い	
所管課評価に同じ。							
平成22年度評価(本部会議)(C)		A	11 - 12 - 24 -	V		悪い	
		В	良い(計画どおり)		D	非常に悪い	
行革担当評価に同じ。							
	П	良	好(先進的な取り組みや、事	業内容を	高	(評価する意見等)	
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)						
	V						
具体的意見·要望(A)							
・重要課題としている割には非常に遅 としての取り組み姿勢がはっきり見えな		13,	, また、 職員間の理解度・スキ	ルの差	がフ	てきく、そもそも論として、市	
・協働のまちづくりを推進していく上で、		,ぞ∤	この地域や集落の歴史・風土	などを十	-分]	尊重した議論、考査を要望	
したい。それには、広く市民への周知る	を行う	とと	もに職員が積極的にその考え	た方を実	践	すべく地域にその力を注ぎ、	
地慣らしをして欲しい。人事交流などで	で市全	144	を附瞰できる職員の養成も必要	要ではな	£6 17	י'מ,	

記。	<u>入日</u>	担当者	所原	属長	行革担当	本部	会議	行革委員	会
	認日)	平成23年6月14日	平成23年	F6月20日	平成23年7月15日	平成23年	₹8月1日	個別意見	 有
取組]内容	先進地の協働の取り	組みの研	FI修	体制コード		Ę	5-1-1-4	
所	·····································	自治振興課 自	治振興:		担当者·内線番号	佐藤憲昭(331)			
***	H21	検討	103107	H21	<u>- 12 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1</u>		H21	-	
取	H22	実施	目	H22	_	成	H22	_	
組	H23	大ル	標	H23	<u>-</u>	果	H23		
時	H24		数	H24	-	数	H24		
期	後期		値		<u> </u>	値			ゔ゚゚ヹ゚゚゚゚゚
77.0		<u> </u> 関リ組み内容(D)	<u> </u>	(半)	エ・人、70、口なこ)	<u> </u>	(丰)	区、人、70、口4	<u>, ()</u>
市職員	市職員に対し、講演会および研修を検討し、H22年度に係長級の市職員を対象とした講演会を計画できた。								
平月	成22年度	医中の実施目標(P)							
		きちづくりの推進にあた あることから、職員を対				也域の耶	战員参加	および行政のん	バック
平月	成22年度	夏取り組み内容(D)							
·H22.1	・H22.11.4 市職員(係長以上)研修会 講演:元気な村上とするために~地域の一員として何をすべきか~ 講師:明治大学農学部 小田切 教授 小田切教授の許可を得て、DVDに講演を収録し、本庁及び各支所に配付した。								
取	り組みに	ついての成果(C)							
·時期的	りにタイ.	ムリーな講演内容で参	考になっ	たと思れ	つれる。				
\ <u>\</u>	式22年度	を評価(所管)(C)		4 非常に	こ良い		C 悪い	١	
1 /	JX∠∠ <u>+</u> <i>I</i> S	を計1叫(<i>門</i>)目)(C)	V I	3 良い(計画どおり)		D 非常	に悪い	
		差はあるものの、現在 こなったものと思われる		動きや先	進都市の事例が聞け	たのは、	これから	ら協働のまちづ	くりを進
取	り組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)				
級以上	・研修については、講師の都合で1日1回の研修となったことから、日中の研修として業務を比較的空けやすい係長級以上となったことは、反省すべき点である。なお、このことを補完する目的でDVDを配付したが、その利用も少なかったようである。								
平月	成23年度	関中の実施目標(P)							
	・実際に協働事業に携わった人を招致して、生きた研修を一般市職員以上を対象に実施を予定 ・担当する自治振興室職員については、先進都市視察を実施する。								
平月					こ良い		C 悪い		
			V I	3 良い(計画どおり)	Ш	D 非常	に悪い	
所管語	課評価に	三同じ。							

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い							
十成22千度計劃(本部云議)(C)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い							
行革担当評価に同じ。									
	□ 良好(先進的な取り組みや、事業	業内容を高〈評価する意見等)							
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善)	善が見られないことを指摘する意見等)							
	☑ その他(上記に該当しない個別	意見)							
具体的意見·要望(A)									
	れている。また、職員間の理解度・スキ	ルの差が大きく、そもそも論として、市							
としての取り組み姿勢がはっきり見えた									
	それぞれの地域や集落の歴史・風土								
したい。それには、広く市民への周知を行うとともに職員が積極的にその考え方を実践すべく地域にその力を注ぎ、 地慣らしをして欲しい。人事交流などで市全体を俯瞰できる職員の養成も必要ではないか。									
地限りしてして欲しい。入事文派なこ	・ 中主体を俯瞰できる戦員の食成で必っ	をいるないか。							

		le vi da		==	/= 	1 40	4 +++		
	入日	担当者		属長	行革担当		会議	行革委員会	
(惟記	忍日)	平成23年6月14日		6月20日	平成23年7月15日	平成23年	F8月1日	個別意見有	
取組	内容	職員の意識改革のため 実施	めの研修	多会の	体制コード		Ę	5-1-1-5	
所	管	自治振興課 自	治振興	室	担当者·内線番号		佐藤	憲昭(331)	
	H21	検討		H21	•		H21	-	
取	H22	実施	目	H22	-	成	H22	-	
組 時	H23		標 数	H23	-	果 数	H23		
期	H24		値	H24	-	値	H24		
	後期			(単1	位:人、%、円など)	.—	(単·	位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)									
市職員に対し、講演会および研修を検討し、H22年度に係長級の市職員を対象とした講演会を計画できた。									
平月	页22年度	医中の実施目標(P)							
		tし、月2回のメールマカ 台活動への参画意識の				市内の	事例を紹	介するなど市職員の	
平月	成22年度	関リ組み内容(D)							
·H22.5.24~から月2回のメールマガジン配信及び意見徴収を実施。職員間においては温度差はあるが、協働への 意識付けに寄与できた。									
取り	組みに	ついての成果(C)							
・協働に	対する	職員の意識の高揚							
亚目	ポクク年 度	を評価(所管)(C)		↓ 非常し			C 悪い	1	
7-72	X22+1S		☑ B 良い(計画どおり)			□ D 非常に悪い □ □ □ □ □ □ □ □ □			
・継続し	て、情幸	Bの受発信が出来たこ。	とは大き	いと考え	ેઠ.				
取以	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)				
整いつ		ノにより、職員間に情報 のの、参画する職員が 。							
平月	成23年度	医中の実施目標(P)							
・メールマガジンについては、その情報の発信を本庁のみでなく、各支所からも行い、その情報の共有化を図る。 ・協働のまちづくりを推進するためには、市職員が一枚岩となりその力を十二分発揮することが重要であることから、さらなる情報の共有や交換の場を図るために「ツイッター」を取り入れを検討する。									
777	北つつ年中	前海(汽车中坐)(C)		非常	こ良い		C 悪い	1	
平力	以22牛店	を評価(行革担当)(C)	V E	3 良い((計画どおり)		D 非常	は悪い	
なお、		に同じ。 マガジンについても、当 共有に努めること。	初よりも	配信頻原	度が減ってきているの ^っ	で、継続	または新	fたな手法を行うなど、	

印刷日:2011/10/19

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い							
十成22千度計劃(本部云議)(C)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い							
行革担当評価に同じ。									
	□ 良好(先進的な取り組みや、事業	業内容を高〈評価する意見等)							
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善)	善が見られないことを指摘する意見等)							
	☑ その他(上記に該当しない個別	意見)							
具体的意見·要望(A)									
	れている。また、職員間の理解度・スキ	ルの差が大きく、そもそも論として、市							
としての取り組み姿勢がはっきり見えた									
	それぞれの地域や集落の歴史・風土								
したい。それには、広く市民への周知を行うとともに職員が積極的にその考え方を実践すべく地域にその力を注ぎ、 地慣らしをして欲しい。人事交流などで市全体を俯瞰できる職員の養成も必要ではないか。									
地限りしてして欲しい。入事文派なこ	・ 中主体を俯瞰できる戦員の食成で必っ	をいるないか。							

	入日	担当者		属長	行革担当		会議	行革委員会
(催言	忍日)	平成23年6月29日	平成23年	¥7月1日	平成23年7月11日	平成23年	₹8月1日	個別意見 有
取組	l内容	徹底した情報公開の推	進進		体制コード	5-2-1-1		
所	管	政策推進課 企	画政策	室	担当者·内線番号	竹内和広・5 3 1		
	H21	実施		H21	-		H21	-
取	H22		目	H22	-	成	H22	-
組 時	H23		標 数	H23	-	果 数	H23	-
期	H24		値	H24	-	値	H24	-
203	後期		,	(単1	位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)
平月	成21年度				,			,
とはい <i>;</i> 平原	えない状 成22年度	報で行政改革大綱の一態であり、積極的な情野中の実施目標(P)	報公開の	の意義等	を行政内部に周知さ t	せる必要	がある。	
る。		.ページのさらなる充実 	を図ると	تحوادر	職員に別し(も積極的	る情報	前水で12	5達月の回上を推進9
平月	成22年度	取り組み内容(D)						
なし	なし							
取点	ク組みに	ついての成果(C)						
特に国	双組みに	t実施しなかったが、政	策推進詞	课の所管	営業務は積極的な情報	公開を運	€施した。	
77.0	ポック年度			↓ 非常Ⅰ	こ良い	>	C 悪い	١
+ /:	以22 11 15			3 良い	(計画どおり)		D 非常	に悪い
		の呼びかけは実施した						
取点	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など	(A)			
評価できる成果及び指標が不明 情報公開の推進は主たる公開ツールを所管する政策推進課の取組みでな〈、全課共通の取組みとなる 全課の個別計画をホームページに掲載するよう本部で指示するべきと思う								
平月	成23年度	型中の実施目標(P)						
	全課の個別計画をホームページに掲載する。(全課共通の取組みとして)							
717	 ポククケF 庄	要評価(行革担当)(C)		↓ 非常し	こ良い	>	C 悪い	1
+ /	以44片	▗▄▘▗▗▗▗▗▗▗		3 良い((計画どおり)		D 非常	に悪い
情報名	公開の推	達については全課共 i	通の取り	組みとに	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	<u>-</u> 評価とし	<u></u> た。	

 平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	C 悪い						
十八,22千万計四(本印云硪)(C)	□ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い						
行革担当評価に同じ。								
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高〈評価する意見等)						
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)						
	□ その他(上記に該当しない個別	意見)						
具体的意見·要望(A)								
・情報公開にあたり、予算の透明性、正当性をよりいっそう図るため、意思決定のプロセスについても、推進して欲しい。人事や給与といった個人情報との兼ね合いが深いものについても、今後の検討課題として議論してもらいたい。 ・情報公開やそれに向かった取り組みは遅れている。								

記力	\ \ 日	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会	
	2日)	平成23年6月29日	平成23年	₹7月1日	平成23年7月11日	平成23年	₹8月1日	個別意見 有	
取組	内容	広報・広聴組織の充実	Į.		体制コード		Ę	5-2-1-2	
所	·管	政策推進課 企	画政策	室	担当者·内線番号		竹内]和広·531	
	H21		1	H21	-		H21	-	
取 組	H22	実施	目標	H22	-	成甲	H22	-	
時	H23		数	H23	-	果 数 値	H23	-	
期	H24		値	H24	-	値	H24	-	
	後期			(単1	位:人、%、円など)		(単·	位:人、%、円など)	
平成21年度取り組み内容(D)									
	- 平成22年度中の実施目標(P) 本庁各課の広報協力員や各支所の広報広聴担当者との協力体制の充実を図り、市民へ分かりやすい情報の提								
供を行									
平月	成22年度	題取り組み内容(D)							
本庁· 平成23	広報協力員会議 平成22年4月開催 本庁・支所広報担当者会議 月1回開催 次号編集内容の打合せ 平成23年2月 平成23年度の編集内容(コーナー)、市政懇談会、暮らしの便利帳等								
取り	組みに	ついての成果(C)							
定期的	りに会譲	は開催したが特に際ご							
平月	成22年度	を評価(所管)(C)		非常			C 悪い		
		,		3 艮い(計画どおり)	Ш	D 非常	だに悪い	
会議る	そのもの	が連絡会議的であり、「	職員の厄	広報編 集	ミスキルの向上に繋が	らなかっ	たため		
取り	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)				
	会議時間が1時間程度で短かった。 研修要素を取り込めなかった。								
平月	成23年度	医中の実施目標(P)							
	本庁·支所担当者会議に研修要素(構成、写真等)を取り組む 県協議会開催の研修会に積極的に参加する								
777 =	ポクク年氏	要評価(行革担当)(C)		非常	こ良い	\	C 悪い	1	
'' '	以22干店	2両1叫(1] 早担ヨ)(し)		3 良い((計画どおり)		D 非常	官に悪い	
所管語	果評価に	 に同じ。							

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	C 悪い
	□ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高〈評価する意見等)	
	☑ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)	
	□ その他(上記に該当しない個別	意見)
具体的意見·要望(A)		
・情報公開にあたり、予算の透明性、正当性をよりいっそう図るため、意思決定のプロセスについても、推進して欲しい。人事や給与といった個人情報との兼ね合いが深いものについても、今後の検討課題として議論してもらいたい。 ・情報公開やそれに向かった取り組みは遅れている。		

	く 日	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会
(確記	忍日)	平成23年6月29日	平成23年	₹7月1日	平成23年7月11日	平成23年	F8月1日	個別意見有
取組	内容	ホームページの充実			体制コード		Ę	5-2-1-3
所	管	政策推進課 企	画政策	室	担当者·内線番号		高橋	章宏·533
	H21	実施		H21	-		H21	-
取	H22		目	H22	-	成	H22	-
組 時	H23		標 数	H23	-	果 数	H23	-
期	H24		値	H24	-	値	H24	-
743	後期			(単1	位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)
平月	成21年度	取り組み内容(D)		<u> </u>			<u> </u>	,
作研修	を行い、	ページ管理担当者を設 各課でコンテンツを作り を中の実施目標(P)				追加を	図った。	また、ホームページ操
情報 ^ス 実施す		うため、また、タイムリ	ーに情幸	服発信す	るため、ホームページ	管理担当	当者会議	の開催や操作研修を
平月	成22年度	取り組み内容(D)						
	ホームページ担当者会議の開催 1回 ホームページ作成研修会の開催 1回							
取り	組みに	ついての成果(C)						
研修会	会を通し	複数の課で作成するこ	とができ	きるように	こなった			
平原	成22年度	[評価(所管)(C)		A 非常I B 良い(こ良い (計画どおり)		C 悪い D 非常	い なに悪い
課によ	より完成。	度の差が大きく、平準化	とされて	いないた	<u>-</u> め			
取以	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)			
取り組みについての感想(成功理由・反省点など)(A) 研修会を複数回開催する必要がある 新採用職員や異動職員など、対象を絞って研修を行い、ホームページ作成技術を習得させる必要がある								
平月	成23年度	医中の実施目標(P)						
新採用	サ 乗職員 <i>や</i>	9異動して新たに担当す	ることと	≤なった耳	戦員を対象としたホー <i>L</i>	ムページ	作成研修	多会を開催する
<u> </u>	ポ22年 E	要評価(行革担当)(C)		↓ 非常	こ良い	V	C 悪い	1
+ /	以44十5	との「叫(1)半523)(し)		3 良い((計画どおり)		D 非常	だに悪い
各課7	での作成	が標準化し、その中身	につい	て成果、	評価が記載できるよう	になるよ	う努るこ	د .

 平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	C 悪い							
十八,22千万計四(本印云硪)(C)	□ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い							
行革担当評価に同じ。									
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高〈評価する意見等)							
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意								
	□ その他(上記に該当しない個別	意見)							
具体的意見·要望(A)									
・情報公開にあたり、予算の透明性、正当性をよりいっそう図るため、意思決定のプロセスについても、推進して欲しい。人事や給与といった個人情報との兼ね合いが深いものについても、今後の検討課題として議論してもらいたい。 ・情報公開やそれに向かった取り組みは遅れている。									

≐ ⊐ 1	\	担当者	6F E	属長	行革担当	木並	会議	行革委員会	
記力(確認	7日 忍日)			10 10 1			▼ 乗8月1日	個別意見 無	
,	<u>.</u> 内容	市政懇談会や出前講			体制コード	1 /3,20	5-2-1-4		
師	 管	生涯学習課 社会	教育堆i	住安	 担当者·内線番号		平山美穂		
171	H21	検討	が日1年	H21	- -		Н21		
取	H22	実施	目	H22	-	成	H22	5375人	
組	H23	<i></i>	標	H23	-	果数	H23	-	
時 期	H24		数 値	H24	-	· 叙 · 值	H24	-	
7//	後期							位:人、%、円など)	
平月	成21年度	取り組み内容(D)			,	<u> </u>	<u> </u>	,	
	・出前講座については、65講座実施し、参加者数は1,753人であった。 平成22年度中の実施目標(P)								
1 /-	W-L 1 1/2								
市報も	じらかみ	に掲載し、市民へ情報	提供する	る。					
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
175講	175講座実施し、参加者数は5,375人。								
取り	組みに	ついての成果(C)							
市役月 た。	新·消防	·新潟地方法務局·税務	8署·警察	察所·村.	上地域振興局の協力に	こより、2	2年度は	44講座の準備ができ	
	#00/∓ ⊭			+ 非常			C 悪い		
平片	以22年度	を評価(所管)(C)	V E	3 良い((計画どおり)		D 非常	に悪い	
市民⁄	\学習機	後会を提供するという目	的を達ん	成できた	0				
取り	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)				
各課に年末に照会し、実施結果を報告してもらっているが、各課で講座の数え方が異なっていたことが分かった。このため、23年度末に実績を依頼する際は、統一するよう呼びかける必要がある。									
平月	成23年度	医中の実施目標(P)							
同上									
平月	成22年度	を評価(行革担当)(C)		非常[C悪い		
		.,,,,,	V E	3 艮(1)	(計画どおり)	<u> Ш</u>	D 非常	に悪い	
		数も増加しており、所管 層出前講座の内容の充							

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
十成22千度計劃(本部去議)(()	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事: □ 要改善(事業が遅れている、改: □ その他(上記に該当しない個別	善が見られないことを指摘する意見等)
 具体的意見·要望(A)		感光)
	度に向けての要望がある場合に記載)	

記入日		担当者	所属	属長	行革担当	本部会議		行革委員会	
(確記	確認日) 平成23年6月14日 平成23年6月2		6月20日	平成23年7月15日	平成23年	平成23年8月1日 個別意			
取組	内容	地域活動や市民団体	活動の紹介体制コード		体制コード	5-2-1-5			
所	管	自治振興課 自	治振興3	室	担当者·内線番号		佐藤	憲昭(331)	
	H21	検討		H21	-		H21	=	
取	H22	実施	目	H22	-	成	H22	-	
組	H23		標	H23	-	果	H23		
時 期	H24		数 値	H24	-	果 数 値	H24		
八 刀	後期				<u>└</u> 位:人、%、円など)			位:人、%、円など)	
平日		 取り組み内容(D)		(217((70(13:00))		(-	E () (() ((1) (C)	
		ちづくり指針に基づき、	市民協	働のまち	ちづくりプログラム (試案	€)を作点			
平月	成22年度	[中の実施目標(P)							
績や活	動状況を	を市報やホームページ			各種団体の協力が不 可	欠である	ることか	ら、各種まちづくりの実	
平月	戊22年度	取り組み内容(D)							
	·未実施								
取り	組みに	ついての成果(C)							
·該当無	・該当無し								
<u>™</u> F	せつつ任 唐	評価(所管)(C)		非常的	こ良い		C 悪い	١	
† <i>1</i>	X22+13			8 良い([計画どおり)	$\overline{\mathbf{v}}$	D 非常	官に悪い	
·未実旅	色につき)							
取!	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)				
・一部の団体の紹介に偏ったり、逆に紹介することでNPO法人等の活動の妨げになる場合もあることから慎重に対応すべきと判断した。									
平月	成23年度	西中の実施目標(P)							
・なし	平成23年度中の実施目標(P) ·なし								
平月	 成22年度	評価(行革担当)(C)			こ良い :計画どおり)		C 悪い D 非常) なに悪い	
					•		-		

取り組みは行われなかったが、「慎重に対応すべきと判断した」ということであるので、C評価とした。 ただし、趣旨である協働のまちづくりの意識高揚の妨げにならないよう、別の手法を検討するなど、情報の共有化 の推進に努めること。

┃ 平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	C 悪い
十成22年及計劃(本部去議)(()	□ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事 ☑ 要改善(事業が遅れている、改 □ その他(上記に該当しない個別	善が見られないことを指摘する意見等)
具体的意見·要望(A)		
情報公開やそれに向かった取り組みし	は遅れている。	

記》	 入日	担当者	所属長		行革担当	本部	会議	行革委員	.会
	認日)	平成23年6月29日	平成23年	年7月1日	平成23年7月11日	平成23年	≢8月1日	個別意見	有
取組]内容	市政提案制度や市政	懇談会(の充実	体制コード		5-2-2-1		
所	· 管	政策推進課 企	画政策	 室	担当者·内線番号		竹内]和広・5 3 1	
	H21	実施		H21	-		H21	-	
取	H22	7 3,42	目	H22	-	成	H22	-	
組	H23		標	H23	-	果	H23	-	
時期	H24		数 値	H24	_	数 値	H24		
枡	後期		10		L 位:人、%、円など)	但			た ど)
亚		<u> </u> 『取I]組み内容(D)	<u> </u>	(+	<u> </u>		(+	<u> </u>	<u> </u>
·市政	平成21年度取り組み内容(D) ・市政提案制度の充実については、10/1から電子メールでの受付を開始した。 ・市政懇談会については、NPO法人に対して懇談会を実施した。								
平月	成22年度	要中の実施目標(P)							
					の観点から制度や手法 まちづくりの方針や懇話				
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
	是案制度 退談会]	i)受付件数 43件 未開催							
取	り組みに	ついての成果(C)							
	是案制度 退談会】	i】 受付件数 43件 内 H23/4月からの実) 未開催							
च्य	式22年度	を評価(所管)(C)		4 非常1	こ良い		C 悪い	١	
T-1	JX, Z Z + IS			B 良い((計画どおり)	\	D 非常	は悪い	
制 【市政系	恳談会】	:] 善ができなかったため。 なかったため。							
取	り組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など	(A)				
苦 回 【市政懇	【市政提案制度】 苦情や個人(市民、企業)の中傷などの内容の投稿が多く見られる。 回答後の取組みへの検証が実施されていない 【市政懇談会】 テーマ決定が遅れたため日程が確保できず開催に至らなかった。								
		医中の実施目標(P)							
苦 制 【市政懇	【市政提案制度】 苦情と提案の区分が必要なため投函後の処理フローを整理する。 制度の見直し(検証手法)について検討する 【市政懇談会】 各地区、昼夜2回開催する。								
37/ [成22年度			4 非常1	こ良い		C 悪い	1	
7-7	·**	cu		B 良い((計画どおり)	V	D 非常	に悪い	
1									

所管課の評価のとおり、D評価とした。

市政提案制度については、現状機能しているとは思えないので、何のために行っているのかを整理し、見直しが必要。

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い					
十,7,22,4,2,6,1,(4,0)(4,0)(6,1)	□ B 良い(計画どおり)	☑ D 非常に悪い					
行革担当評価に同じ。							
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高〈評価する意見等)					
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改	善が見られないことを指摘する意見等)					
	☑ その他(上記に該当しない個別意見)						
具体的意見·要望(A)							
・広〈住民の意見を収集できるよう、方・市民との情報交換や提言受け入れ、 いように感じる。	策の多岐化を望む。 「協働」と言っている仕組みづくり、 また	-職員の地域理解が全〈遅れて足りな					

記	\日	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会	
(確記	忍日)			個別意見有					
取組	取組内容 パブリックコメント制度の導入 体制コード 5-2-2-2			5-2-2-2					
所	管	政策推進課 企	画政策	<u></u> 室	担当者·内線番号				
	H21			H21	-		H21	-	
取	H22	検討	目標数:	H22	-	成	H22	-	
組 時	H23	実施	標物	H23	-	果物	H23	-	
期	H24		値	H24	-	成 果 数 値	H24	-	
7.43	後期		į	(単	位:人、%、円など)	į	(単	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	取り組み内容(D)							
- 平fi	- 平成22年度中の実施目標(P)								
1 /-	× 1 /3								
導入に	こ向け、	本市にあった制度を検	討する。						
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
各市町村の実施状況及び制度内容の情報収集を実施した。									
取!	組みに	ついての成果(C)							
なし									
77.5	せつつ年 庄	F並体(形質)(C)		非常	こ良い	\	C 悪い	1	
+	以22牛房	[評価(所管)(C)		3 良い	(計画どおり)		D 非常	はに悪い	
		り、制度の検討まで着		·					
取り	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)				
制度	制度構築にあたっては現行業務への影響を充分考慮し進める必要性を強く感じた。								
平月	成23年度	医中の実施目標(P)							
	現行の個別計画での位置付けの確認制度の研究								
₩-	too⊄r ⊭	F====================================		非常	こ良い		C 悪い	١	
平力	以22年度	[評価(行革担当)(C)		3 良い	(計画どおり)	V	D 非常	は悪い	
		たということで、D評価と 年度の実施目標による		結果につ	ついては、今年度中にま	きとめる。	よう努め	ること。	

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い						
十/0.22年及計圖(本品去議)(C)	□ B 良い(計画どおり)	☑ D 非常に悪い						
行革担当評価に同じ。								
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高〈評価する意見等)						
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善)	善が見られないことを指摘する意見等)						
	□ その他(上記に該当しない個別意見)							
具体的意見·要望(A)								
具体的意見・要望(A) ・制度検討に着手しなかった(できなかった)理由、原因の掘り下げがない。 ・行政手続法の努力規定に基づき条例等で定めるということを前提としているのか。 ・市民との情報交換や提言受け入れ、「協働」と言っている仕組みづくり、また職員の地域理解が全く遅れて足りないように感じる。								

±¬ :		担当者	FE E	属長	行革担当	太 立(7	会議	仁艺禾昌人	
	入日 忍日)	平成23年6月14日		5 区 6月20日	7		五哦 ₹8月1日	行革委員会 個別意見 有	
`	内容	市民相互の協働に繋がりの構築			体制コード	1,220 10,312		個別意見 有 5-2-2-3	
師	 ·管	自治振興課 自	治振嗣2		 担当者·内線番号		佐藤	憲昭(331)	
<i>[7]</i>	Ħ21	日/日派突咻 日	/口1/K 54 =	± H21			H21	出 中(331)	
取	H22	 検討	目	H22		成	H22	<u>-</u>	
組	H23	実施	標	H23	-	果	H23		
時 期	H24	\n <u>\</u>	数 値	H24	_	果 数 値	H24		
知	後期		但		<u>└</u> 位:人、%、円など)	世		位:人、%、円など)	
平月		取り組み内容(D)		(, ,	<u></u>		()	<u></u>	
- 平6	- 平成22年度中の実施目標(P)								
「市民 討する。		まちづくり推進プログラ	ム」など	をまとめ	、公表するとともに、関	係各課	と調整を	図り、仕組みづくり検	
平月	成22年度	取り組み内容(D)							
・市民協働のまちづくり推進プログラムを策定・公表・推進プログラムをわかりやすくするため、はじめの一歩の考え方を作成し、説明会等で使用した。 ・各課に「市民協働推進員」の設置を検討し、要綱策定を開始した。 取り組みについての成果(C)									
·成果と	・成果という点では、協働のまちづくりの仕組みづくりには至っていない。								
Ω. F	ポクク年 度	[評価(所管)(C)		↓ 非常Ⅰ	こ良い	✓	C 悪い	١	
7-73	1X,ZZ T 1S			3 良い((計画どおり)		D 非常	は悪い	
·成果 <i>加</i>	いらの判	断							
取り	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)				
・市民協働のまちづくりは、上意下達の手法では成立しないものであるため、その仕組みづくりも多種多様である。 このため、地域に根ざした無理のない仕組みづくりを地域住民と一緒に築き上げて行く必要がある。									
平历	成23年度	[中の実施目標(P)							
·各地区	・各地区における市民協働のまちづくりの仕組みを構築していく。								
平局	成22年度	[評価(行革担当)(C)		4 非常1 3 良い(こ良い 計画どおり)	✓	C 悪い D 非常) さに悪い	
CC 4/4.1	n ÷o /≖ /-								

所管課評価に同じ。

取り組みについての感想に記載されている「地域に根ざした無理のない仕組みづくりを地域住民と一緒に築き上げて行く必要がある」を行っていくためには、市民説明会の開催や、情報の共有化を図っていくなど、まだまだ取り組んでいかなければならないことが多くあるので、スケジュールを定め、計画的な取り組みを行うこと。

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	C 悪い						
十1以22千反計圖(本品安議)(C)	□ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い						
行革担当評価に同じ。								
	□ 良好(先進的な取り組みや、事業	業内容を高〈評価する意見等)						
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等							
	☑ その他(上記に該当しない個別	意見)						
具体的意見·要望(A)								
したい。それには、広〈市民への周知で 地慣らしをして欲しい。人事交流などで	それぞれの地域や集落の歴史・風土を行うとともに職員が積極的にその考えで市全体を俯瞰できる職員の養成も必須協働」と言っている仕組みづくり、また	た方を実践すべ〈地域にその力を注ぎ、 要ではないか。						

記》	\ \日	担当者	所属	重長	行革担当	本部	会議	行革委員会
(確認日)		平成23年6月14日	平成23年6月20日		平成23年7月15日	平成23年8月1日		個別意見 有
取組	内容	職員の地域活動等への	の参加の	足進	体制コード		Ę	5-2-2-4
所	·管	自治振興課 自	治振興3	室	担当者·内線番号		佐藤	憲昭(331)
	H21	実施		H21	-		H21	-
取	H22		目標	H22	-	成	H22	-
組 時	H23		標 数	H23	-	果 数 値	H23	
期	H24		値	H24	-	値	H24	
	後期			(単1	位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)
平月	成21年度	取り組み内容(D)						
		双革、協働意識の醸成に	こつなが	る取り糾	目みの一環として職員向	可け研修	会の開作	崔を検討した。
平月	双22年度	医中の実施目標(P)						
協働の	のまちづ	くりの推進あたっては、	地域職	員の全員	員参加が不可欠である	ため、協	3議会組	織や仕組みづくりを行
平月	成22年度	(取り組み内容(D)						
·未実旅	· ·未実施							
取点	ク組みに	ついての成果(C)						
·該当無	ЩU							
77 5	世22年度	を評価(所管)(C)		非常	こ良い		C 悪い	١
+	以22十点			3 良い((計画どおり)	য	D 非常	官に悪い
·未実旅	色につき	D						
取点	ク組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)			
もの、町	・地域職員の地域活動への参加は、各地区・地域の実情等により違っており、町内・集落の役員等で貢献している もの、町内・集落活動に参加しないもの様々である。しかしながら、地域社会のため貢献したいと願っていることは 事実であることから、参加していない場合はそのきっかけづくりが重要と考える。							
平月	成23年度	要中の実施目標(P)						
·先進者	・先進都市の協働のまちづくりに携わった自治体職員等を講師に招き職員の研修を実施予定							
<u> </u>	ポクク年 庄	要評価(行革担当)(C)		↓ 非常	こ良い		C 悪い	1
T).	ルムトナル	cp 叫(] 「]ニコ)(C)		8 良い((計画どおり)	>	D 非常	官に悪い
所管詞	课評価に	一同じ。						

平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い						
十以22千及計圖(本品云磁)(C)	□ B 良い(計画どおり)	☑ D 非常に悪い						
行革担当評価に同じ。								
	□ 良好(先進的な取り組みや、事業	業内容を高〈評価する意見等)						
行革委員会個別意見(C)	☑ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)							
	☑ その他(上記に該当しない個別意見)							
具体的意見·要望(A)								
・協働のまちづくりを推進していく上で、	それぞれの地域や集落の歴史・風土	などを十分尊重した議論、考査を要望						
	そ行うとともに職員が積極的にその考え							
地慣らしをして欲しい。人事交流などで								
・市民との情報交換や提言受け入れ、 いように感じる。	「協働」と言っている仕組みつくり、また	職員の地域理解が全く遅れて足りな						
いよりに感じる。								

47.1	. –	+0.1/.±2	CC E	2 E	/= \ +□ \/	→ ÷7	' ∧÷	/-+× ^	
記入日 (確認日)		担当者	所属長		行革担当		会議	行革委員会	
(n m)	心口)	平成23年6月14日	平成23年6月20日		平成23年7月15日	平成23年8月1日		個別意見有	
取組内容 補助制度や助成制度の整備 体制コード				!	5-3-1-1				
所	管	自治振興課 自	治振興	室	担当者·内線番号		佐藤憲昭(331)		
H11	H21		_	H21	-		H21	-	
取組	H22	検討·実施	目標	H22	-	成甲	H22	-	
時	H23		数	H23	-	果数	H23		
期	H24		値	H24	-	値	H24		
	後期			(単	位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	と取り組み内容(D)							
- V-		要中の実施目標(P)							
+13	X22+15	を中の天心口信(「)							
		動の拠点となる、集会) 策定する。	施設整係	事業補	助金制度や協働のま	ちづくり扌	進のた	:めの財政支援のため	
平原	成22年度	夏取り組み内容(D)							
・H22.6.15 村上市集会施設整備事業補助金交付要綱施行 ・H23.4.1施行に向けて「村上市地域まちづくり組織及び地域まちづくり交付金の交付に関する条例」「同施行規則」 を検討									
取り	組みに	ついての成果(C)							
手続きの	の流れは							す〈まとめた、概要版と 各支所地域振興課へ配	
ΩZ F	ポック年 氏	要評価(所管)(C)		・ 非常に	こ良い		C 悪い	1	
7/3	W		✓ E	8 良い	(計画どおり)		D 非常	常に悪い	
・評価に	こより判題	新し、計画どおりの執行	テであっ <i>†</i>	たため B	とした。				
取以	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	'点など)	(A)				
・集落施設整備事業補助金交付要綱については、合併前の各市町村要綱にばらつきがあり、合併時に平成23年度から施行の新市要綱を作成されていたが、事業区分が明確でなかったこと、補助率については行革大綱に基づかないものであったこと、集会施設については地域コミュニティの中核を担う大切な施設であることから、地域住民に対し負担軽減を行うことなどを総合的に判断し、補助金の種別、補助金額を設定し、利用しやすくできたと考える。									
平月	平成23年度中の実施目標(P)								
	・村上市地域まちづくり組織及び地域まちづくり交付金の交付に関する条例については、特に交付金の執行に関して公平正等を担保するため、ガイドラインを作成する。								
	ポクク年 産			非常	こ良い		C 悪い	1	
+ //	以44十点	▗▄▁▗▄▗▗▗▗	✓ E	良い	(計画どおり)		D 非常	常に悪い	
所管語	果評価に								

┃ 平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
十成22千支計圖(本部去議)(C)	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	図 良好(先進的な取り組みや、事業 □ 要改善(事業が遅れている、改善 □ その他(上記に該当しない個別:	善が見られないことを指摘する意見等)
具体的意見·要望(A)		
計画通りに施行出来ただけでなく、手続は良いと思う。	続きの一元化など、市民の立場に立っ	た事務処理の効率化まで行っている

記	\	担当者	所属	属長	行革担当	本部	会議	行革委員会
(確認日)		平成23年6月14日		6月20日	平成23年7月15日	平成23年	₹8月1日 個別意見 有	
取組	内容	まちづくりのリーダーと 育成のための支援やそ			体制コード		Ę	5-3-1-3
所	管	自治振興課 自	治振興3	室	担当者·内線番号		佐藤	憲昭(331)
	H21			H21	-		H21	-
取	H22	検討	目	H22	-	成	H22	-
組 時	H23	実施	標 数	H23	-	果 数	H23	
期	H24		値	H24	-	値	H24	
743	後期		į.	(単1	位:人、%、円など)		(単	位:人、%、円など)
平月	成21年度	取り組み内容(D)						
-	N (
平月	成22年度	医中の実施目標(P)						
平成2 を検討 [・]		らの本格実施に向けて	て、まちて	づくり協言	議会の組織や地域リー	ダーの育	育成のた	めの支援や情報提供
平月	成22年度	取り組み内容(D)						
·未実旅	ŧ.							
取!	組みに	ついての成果(C)						
·該当無	≅ υ							
亚F	は22年度	[評価(所管)(C)		非常同			C 悪い	
1 /-	W-L-12			8 良い((計画どおり)	V	D 非常	に悪い
·未実旅	色につき	D						
取!	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)			
・なし								
平月	成23年度	医中の実施目標(P)						
・まちづ	・まちづくり組織の設置に合わせ各地域のリーダー育成を検討する。							
平F	₩22年度	[評価(行革担当)(C)		非常に			C 悪い	
1 /-	~ TIS	-HIIM(IJ —J——)(C)		8 良い((計画どおり)	V	D 非常	はに悪い
所管語	果評価に	:同じ。						

┃ 平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い							
十成22千支計(本部安議)(()	□ B 良い(計画どおり)	☑ D 非常に悪い							
行革担当評価に同じ。									
	□ 良好(先進的な取り組みや、事	業内容を高〈評価する意見等)							
行革委員会個別意見(C)	□ 要改善(事業が遅れている、改善)	□ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見等)							
	☑ その他(上記に該当しない個別	意見)							
具体的意見·要望(A)									
全〈の未経験者をリーダーに育成する 人を講師にしてネットワークを構築する	などと考えずに、現に地域活動をしてい るなどの方法ではいかがでしょうか。	いる人たちがいるわけだから、そういう							

±¬ :	١ ٦	担当者	66 등	星星	行革担当	太	会議	行革委員会	
	記入日 <u>担当者</u> 確認日) 平成23年6月14日		所属長 平成23年6月20日		平成23年7月15日		五哦 ₹8月1日	個別意見 有	
,	<u>内容</u>	自治振興課及び自治技			体制コード	1 13,20		5-3-2-1	
所	 ·管	自治振興課 自	治振興3	₽	担当者·内線番号				
771	H21		7 1 3 1 1 1 1	H21	- -		H21	-	
取	H22		目	H22	-	成	H22	-	
組 時	H23	設置	標数	H23	-	果 数	H23		
期	H24		数 値	H24	-	値	H24		
743	後期		Ĺ	(単1	位:人、%、円など)	,	(単1	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	取り組み内容(D)							
		を中の実施目標(P)	= ^ ~ ~	, _ /. l.	フナン光琴な砂/ニナ/ニンナ	ж 42Е	1 5 1 1 1 1 1 1	- スの進供を完建す	
平成2 る。	は平没に	設置予定の自治振興	珠へのこ	ノームレ	人な美務移行を行うに	め、12 <u>戸</u>	そのとは	こての年個を元結9	
平月	成22年度	と取り組み内容(D)							
・市民協働のまちづくりの取り組む事業の中で関係の深い各地区公民館事業の調査を行った。 ・分館の廃止に伴い、分館事業の引継および村上地区公民館事業との調整を行った。									
取り	組みに	ついての成果(C)							
·分館の た。)廃止に	伴う関係住民の不安を	揺消す	るため、	村上地区区長会に他均	地区区長	長会に先	んじて説明会を開催し	
₩ =	世の2年氏	を評価(所管)(C)	>	非常に	こ良い		C 悪い		
十八	1X44+15	2計1四(<i>F</i>)(日)(C)		8 良い((計画どおり)		D 非常	に悪い	
·関係信	主民の不	安の解消に努めた。							
取以	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)				
・分館を所管する生涯学習課の対応が遅れ、協働のまちづくりによって分館が廃止されるような市の方針であるかのごとく地域住民に受け止められ、協働のまちづくりの推進に支障が生じた。									
平月	平成23年度中の実施目標(P)								
	・地域の特色を活かした魅力ある市民協働のまちづくりの推進と各支所自治振興室・自治振興課の連携を図るため、月に1回のペースで担当者会議を開催する。								
亚目	战22年度	を評価(行革担当)(C)		., .,.,			C 悪い		
十八	ν-∠- Σ	(ロ)	▼	8 良い((計画どおり)		D 非常	に悪い	
予定と	どおり自治	治振興課および自治振	興室の	設置が行	テわれたため、B評価と	とした。			

┃ 平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	□ C 悪い
十成22年及計圖(本部去議)(()	☑ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い
行革担当評価に同じ。		
行革委員会個別意見(C)	□ 良好(先進的な取り組みや、事業 □ 要改善(事業が遅れている、改善 □ その他(上記に該当しない個別	善が見られないことを指摘する意見等)
具体的意見·要望(A)		
説明会に参加したが、説明している職ない。	員が内容をよ〈理解していなかった。担	∄当職員の勉強不足としか言いようが

≐⊒	 入日	担当者	師周	属長	行革担当	本部	会議	 行革委員会	
	スロ 認日)	平成23年6月14日	平成23年6月20日		平成23年7月15日	平成23年8月1日			
取組	内容	支所庁舎を中心としたの団体を結ぶネットワ		や地域	体制コード			5-3-2-2	
所	 f管	自治振興課 自			担当者·内線番号	佐藤憲昭(331)			
	H21	HANAMAN H	1743707	H21	- -		H21	-	
取	H22	検討		H22	-	成	H22	-	
組	H23	実施	標	H23	-	果	H23		
時期	H24	7 4.02	数 値	H24	-	数 値	H24		
2413	後期			-			-	位:人、%、円など)	
平/		- 夏取り組み内容(D)	Į	<u> </u>	•		<u></u>	•	
-	-								
平月	成22年度	夏中の実施目標(P)							
平成2 討を図		こ設置予定の自治振興	課·自治	ì振興室	および行政組織の連携	強化を	図る目的	」として連携体制の検	
平月	成22年度	夏取り組み内容(D)							
	·各庁舎単位で各課に「市民協働推進員」を設置すべ〈要綱等の検討を行った。 ·意識啓発を目的とした市職員に対するメールマガジンの配信を行った。								
により、	本市が				成が必要であるとの判! りの手法や方針等を月				
37.1	成の任用	要評価(所管)(C)		A 非常I	こ良い		C 悪い	l	
	13X, Z Z ** 13		V I	B 良い	(計画どおり)		D 非常	なに悪い	
·計画と	どおりにホ	倹討ができた。							
取	り組みに	ついての感想(成功理	由·反省	(点など)	(A)				
・市職員い。	・市職員の意識付けについては、これからが本番であり、地域のキーマンとなれるよう様々な手法を投じていきた								
平/	成23年度	医中の実施目標(P)							
·各庁台	・各庁舎単位で各課に「市民協働推進員」を設置し、地域の課題への対応の迅速化を図る。								
亚口	成22年度	要評価(行革担当)(C)			こ良い		C 悪い		
17	-~- /S	ch Im (] +]= = / (c)	✓ I	B 良い	(計画どおり)		D 非常	は悪い	
所管	課評価に	E同じ。							

印刷日:2011/10/19

平成22年度評価(本部会議)(C)		Α	非常に良い		С	悪い				
		В	良い(計画どおり)		D	非常に悪い				
行革担当評価に同じ。 										
		Ė	好(先進的な取り組みや、事	業内容	を高	〈評価する意見等)				
行革委員会個別意見(C)	$\overline{\mathbf{Q}}$	☑ 要改善(事業が遅れている、改善が見られないことを指摘する意見€								
		□ その他(上記に該当しない個別意見)								
具体的意見·要望(A)										
取り組みが遅い。										

+7 1		47.44	6C E	₹	汽车 扣业	太 立7	会議	にせること	
記)	7.日 忍日)				行革担当 平成23年7月15日		云硪 ₹8月1日	行革委員会	
取組	<u> </u>	平成23年6月14日 「(仮称) 地域まち の設立と開催		.,,	体制コード	十八,23上		個別意見 有 5-3-2-3	
所管 自治振興課 自治振興室					 担当者·内線番号				
171	H21	日/山派共脉 日	/U 1/K 2 	± H21			H21		
取	H22		目	H22	-	成	H22	-	
組	H23	実施	標	H23	-	果数	H23		
時 期	H24	74,00	数 値	H24	-	数 値	H24		
77)	後期				<u></u> 位∶人、%、円など)		(単1	位:人、%、円など)	
平月	成21年度	取り組み内容(D)			·			,	
		を中の実施目標(P)	<u> </u>	51十 1部	昌のコーディネート力な	き良につ			
すい組織	織の立ち	5上げと、開催をサポー		-J17、 44%	貝のコーティか 「万で	13 C J	1) 6 6	迟浅压式が参加∪℃	
平局	成22年度	と取り組み内容(D)							
・協議会(まちづくり組織)を立ち上げる意味、市民協働のまちづくりの必要性等を十分周知していただくため、市民に対しては、市報やホームページにより情報提供を行うとともに、各地域審議会や区長等への説明会を実施した。 ・職員への対応は、各支所地域振興課との連携会議での検討や職員研修会、メールマガジンなどによる意識の高揚・共通認識の構築に努めた。									
取り	組みに	ついての成果(C)							
・協働の	・協働の意味や認識がまだ十分とは言えない状況もあり、今後においても辛抱強〈意識づ〈りを行ってい〈。								
亚瓦	ポクク年度	[評価(所管)(C)		・ 非常	こ良い		C 悪い	1	
7/3	1X,44 + 1S		V	8 良い((計画どおり)	□ D 非常に悪い			
·行政組 ができ <i>f</i>		編の関係で、1年遅れ	の計画と	となった	が、市民への周知等の)必要性:	から有効	かな時間を費やすこと	
取り	組みに	ついての感想(成功理	由·反省	点など)	(A)				
・市民への周知よりも市職員の意識の統一が大変であるように思えた。「他課のやることだから分からない」という 認識は避けなければならないことであり、そのためにも全職員の意識づくりが重要と考える。									
平历	平成23年度中の実施目標(P)								
·各地区	・各地区においてまちづくり組織を立ち上げる。								
平历	 成22年度	を評価(行革担当)(C)		・非常1 3 良い(こ良い 計画どおり)	✓	C 悪い D 非常	に悪い	
予定。	よりも取り	〕組みが遅れているため	め、C評f	西とした。	,				

 平成22年度評価(本部会議)(C)	□ A 非常に良い	☑ C 悪い						
十,以22千,支計(本部安議)(で)	□ B 良い(計画どおり)	□ D 非常に悪い						
行革担当評価に同じ。								
□ 良好(先進的な取り組みや、事業内容を高く評価する意見等)								
行革委員会個別意見(C)	□ 要改善(事業が遅れている、改善	喜が見られないことを指摘する意見等)						
	☑ その他(上記に該当しない個別意	意見)						
具体的意見·要望(A)								
具体的意見・要望(A) ・取り組みは遅れているが、職員の意識づくりの重要性など、今後の取り組みについてポイントの把握が出来ている。 ・取り組みについての感想は大きな問題である。								

全体を通しての意見・感想

- ・ 自治の原点 地方自治体の基本は自治であり、自治を高めることが原点である。自治の原点は集落にあり、以前は集落で全部出来ていた。この自治の原点が集落の自治で完全自己完結型であった。それが出来なくなった。技術的に出来なくなったとか、また人手が足りなくなって出来なくなった。そこで頼まれたのが市役所です。それがいつの間にか市役所が主役になっていった。このことを分かっていたり知っていれば市役所の考えも変わっていたと思う。地域自治を構成する要素として住民がいて、共通の課題と作業があって、負担があった。そして決定機構も全員で決めていた。それが大前提であった。最終的に実行は誰がするのか、そしてどういう地域でまとまればよいのかこれらが自治の原点である。どのような問題でもこの原点の上に立ち思考することで課題や展望が見えてくるものと思う。・全く取り組みがされていないもの、D評価でありながら、出来なかった理由、原因、反省の記述の無いものもあり、改善が求められる。
- ・計画通りであっても無くても、客観的に問題点や気づきがあった場合、担当部署のみでなく、市行政組織全体でその情報を共有し、組織全体の改善につなげるシステムの構築が必要であると思われる。
- ・行革担当評価が的確である。
- ・市の行政改革大綱の前期実施計画で基本方針であり、非常に大きな課題であります。今後の人口減少に伴い税収減は明らかであり、遊休財産の利活用は急務と考えなければなりません。予想するに、真っ向から対応しているとは感じられません。2-2-4-3~6は、具体的に教えて〈ださい、見落としや精査不足はありませんか。また、4-1-2-2については合理的手法を講じてみたらいかがでしょうか。必ず見つかります。目標を定めた専門的な、資産売却も含む利活用の協議が必要のようです。もし、村上市が民間企業「(株)村上市」だったら、穏やかではありません。今年は、自然災害による甚大な被害が日本列島を揺るがしました。今こそ将来に向けて我が村上市のあり方を考える重要な時と考えます。
- ・職員としての資質向上や意識改革につながる項目についての取組が、遅れているように感ずる。そのことがどういう理由によるものなのか、もう少し掘り下げた検証をいただきたい。
- ・市政を評価・検討するには専門的な知識、時間、信念、責任が必要である。とても困難で膨大な作業となる。また、本来は市議会議員がこうした評価・検討作業を踏まえての議員活動や市政への提言をしていくのであるからにして、外部評価検討は多重のチェックとして必要ではあるが、果たして有効なのか(フィードバックのタイムラグも含め)再度検討する必要があるのかもしれない。(財政他の細部については不勉強のためコメント控えます)
- ・各項目について、所管が評価し、行革担当が評価したことに専門家でない者が意見を申し上げることは、大変むずかしいことでした。組織・職員改革・財政改革の歳入改革に気がついたことを述べさせていただきました。
- ・所管課における評価について、各取組内容ごとに一葉の管理表となっていることから、どうしてもその取組内容中心の評価となってしまうことは、当然なのかもしれない。しかし、それによって、本来なぜその取組内容が行革大綱実施計画に掲載されているのかという本質を忘れた評価になっては、せっかくの取組が生かされないどころか、違う方向へ進む可能性もあると感じた。あくまでも行革は手段であって目的ではないということを、もう一度改めて訴えたい。
- 本来の業務のほか、多忙な中時間を割いて検討し推進している項目も多く、その努力を評価するとともに、今後いっ そう、全市民が「合併してよかった」と実感できる取り組みを期待したい。
- ・行革を進めることにより事務の効率化や経費の節減は進んでいると思われるが、それにより支所の存在感というものが脆弱になっているのではないか。行政改革大綱に記載しているとおり、各支所35人体制を目指し進んでいくことになると思われるが、それにより支所の機能が低下し、公正な住民サービスが受けられないことになっては本来の行政改革ではないはずである。広大な圏域を持つ村上市だからこそ、各地域において支所の果たす役割というものが大きいと思われるので、本庁と支所のあり方を今一度検証し、各地域の特色に合わせて全市民が公正なサービスを受けられるような支所の機能強化にも是非、取り組んでいただきたい。